



大阪公立大学

有恒 yuko

2023 April vol.25



舞いあがれ! 人力飛行機 (写真は堺・風車の会 WindMill Club)

特別企画／舞いあがれ! 大阪公立大学 堺・風車の会 WindMill Club

OB・OG紹介／歌う区長さん 大阪市生野区長 筋原章博さん

大関朝潮夫人 高砂部屋おかみに 長岡 恵さん

社長さん紹介／鍛冶田工務店・鍛冶田八彦さん



さあ、

日本を、世界を旅しよう



心に届く旅
阪急交通社
 Direct to your heart

阪急交通社グループの多彩なサービス

国内旅行	海外旅行	団体旅行	物品販売	個人旅行
ビジネス渡航	地域振興	訪日旅行	送迎サービス	教育旅行



お問い合わせ

【東日本地区】
 ● 海外 ☎0570-08-8689
 ● 国内 ☎0570-03-8689

【中部日本地区】
 ● 海外 ☎0570-06-8939
 ● 国内 ☎0570-05-8939

【西日本地区】
 ● 海外 ☎0570-03-9898
 ● 国内 ☎0570-01-1789

【九州地区】
 ● 海外 ☎0570-08-9052
 ● 国内 ☎0570-08-9007

阪急交通社は阪急阪神東宝グループの一員です

M
E
T
A
S
P
E
E
D[™]
+

自己ベストを目指すためのシューズがさらに進化。
 ストライド型とピッチ型それぞれの
 走法に合ったシューズを選ぶことで
 高いレベルでパフォーマンスを引き出す。
 ASICS史上最速を選択せよ。

asics
 sound mind, sound body



METASPEED™ EDGE+



METASPEED™ SKY+

勝ち方は、ひとつだけか。

Find Your Speed.

巻頭グラビア	2
舞いあがれ! 大阪公立大学 堺・風車の会 WindMill Club	4
大阪公立大学開学2年目、学ぶ環境整備着々 森之宮キャンパスそばに地下鉄新駅設置構想	8
公立大学法人大阪の新理事長に福島氏	9
世界に通じるプロフェッサー 注目教授	10
生田英輔(防災研究) 福島若葉(公衆衛生学) 三宅真実(食品微生物学) 真嶋由貴恵(看護情報科学)	
特別インタビュー「ざっくばらん」 株式会社阪急交通社 代表取締役社長 酒井 淳	14
市大出身の社長さん紹介 株式会社鍛冶田工務店 鍛冶田八彦	16
市大OB・OG紹介 すっかりおなじみ 歌う区長さん! 大阪市生野区長 筋原章博	18
福娘が縁で大関夫人、高砂部屋おかみに 長岡 恵	
市大偉人列伝 喜多又造	20
ビジネスの最前線で活躍する先輩から後輩へ!!	21
第12回ビジネス交流会開催!	21
大阪医史蹟巡り ⑨コロナは第8波で終わるのか。 田中祐尾	22
座談会「新しい時代の同窓会像を探る」	24
学園だより	26
外国人若手研究者によるポスターセッションを開催/開学から1年を振り返って/美しい秋晴れと共に、第1回大阪公立大学ホームカミングデー開催! /ビジネスアイデアコンテスト2022開催 グランプリに商学部古川寛美さん受賞 クラブ紹介:天文部にみる市大・府大部活合併 大学の思い出:白木 稜(商)/鶴村文音(経)/小林なつみ(法)/赤土陽菜(文)/船波寛史(理)/柳本尚紀(工)/湯原歩乃美(生)/中島 健(現)/ 実践的技術者を養成する高専/博物館実習 I 企画展開催/起業部キックオフイベントASEC開催 注目される留学生の活動:大阪公立大学中国留学生学生会が発足/阪南地区中国留学生元旦のつどい開催/関西地区留学生体育祭バスケットボール大会開催 留学生就活講座を初開催/惣宇利紀男・大阪市立大学名誉教授及び宮本良成・大阪市立大学名誉教授が瑞宝中綬章を受章	
同窓会ニュース	33
理学部同窓会総会を開催/理学部同窓会の新しい取り組みについて/《知と心のリレー》「可能性を狭める無意識の偏見:Unconscious Bias」/女性部会(WPC)ニュース 令和4年度総会と第10回交流会(オンライン)を開催/大阪公立大学生生活科学部同窓会発足! /「第18回居住環境デザインフォーラム」開催報告/芽吹く! 結婚願望いろいろ 一般社団法人大阪女子大学同窓会斐文会結婚相談室/2022年度大阪公立大学商友会総会・記念講演会・懇親会を開催/有恒会と陵友会が統合/尾山基前有恒会会長が旭日中綬章を受章/遠藤尚秀・都市経営研究科教授の「黄綬褒章」伝達式/「都市経営研究科・創造都市研究科ホームカミングデー」開催/市大OBOG教員と学生の交流会開催	
論壇随想	40
「干しおり」と「焼きおり」の違いについて/開拓使官有物払い下げ事件 教科書等、五代記述訂正へ/神戸といえばJAZZ!/科学に興味関心を持つ人材育成を目指して 親と子の理科工作教室を開催	
同窓短信	43
鳥居貞義(商昭34卒)/陳麗亜(平27創修)/小橋憧太郎(経3)/狭川綾子(生平18卒)/中ノ亜香梨(生平27卒)/大西基勝(商昭52卒)/北村純一(経昭46卒)	
支部だより	46
北海道支部/東京支部/湘南支部/静岡支部/大阪南支部/南大阪支部/奈良支部/福岡支部/長崎支部/ジャカルタ支部/支部一覧表	
会員のひろば	51
漕艇部OBマスターズ優勝!/市大、府大の漕艇部とOBOG会が統合「紅艦会(こうせんかい)」が発足/第20回香誼会有志の戸隠誼合宿報告/開高健 関西悠々会総会・講演会・交流会開催/銀座有恒会が恒例の行事を再開 ハイキングや新年食事を開催/有恒会への寄付〜生川ゼミナール・生川会〜/大阪市立大学交響楽団「第68回定期演奏会」応援参加/南澤会合唱団第22回定期演奏会/コロナ、統合乗り越え「優勝」一番乗り 硬式野球部が近畿学生秋季リーグ戦で初/山形会ゴルフ(山形休司先生三回忌追悼/第72回大会)を開催/杉本クラブ令和5年新春例会開催	
読者の声	56
鳥居貞義(商昭34卒)	
読者の作品	57
中島裕司(法昭55卒)/福田新之助(耕治)(創平25修)	
同窓生の図書紹介	58
追悼のこぼれ	60
事務局のお知らせ・投稿規定・編集後記	62

有恒Vol.25 Topics



NHK朝ドラ「舞い上がれ」撮影＝南紀白浜空港で



鳥人間コンテスト記録飛行中の2018年機体「AZALEA」＝同年8月、彦根港で(特別企画・4頁)



4代目大関朝潮太郎(7代目高砂浦五郎)が大坂場所で果たした優勝額の前で、夫人の長岡恵さん(OBOG紹介・19頁)



今春卒業の湯原歩乃美さんと仲間たち(学園だより・29頁)



「Global Unity Japan 2022日本大会」で2冠を獲得した狭川綾子さん(同窓短信・43頁)



大阪公立大学森之宮キャンパス前に設置される地下鉄新駅のイメージパース。球体が浮かび上がってくる唯一無二のデザインという。(特別企画・8頁、Osaka Metro提供)



ヨルダンの世界遺産「ペトラ遺跡」で、酒井淳・阪急交通社社長
(ざっくばらん・14頁)



ガンバ大阪、ヴィッセル神戸、セレッソ大阪などでプレーのサッカー元日本代表MF橋本英郎選手(経平15)が現役引退。今後のセカンドキャリアは?(同窓短信・44ページ)



明石海峡大橋をバックに「明治の洋館JAZZLIVE」
(論壇随想・41頁)



東大寺南大門でその歴史を解説する
橋村公英別当(支部だより・48頁)



昨年の近畿学生秋季リーグで大阪公立大学硬式野球部が初優勝、
小林隼矢監督を胴上げして喜びを爆発させる部員たち
(会員のひろば・54頁)



ジャカルタ支部 三商大ゴルフコンペ(支部だより・49頁)



南澗会合唱団第22回定期演奏会(会員のひろば・54頁)

舞いあがれ!

大阪公立大学 堺・風車の会 WindMill Club



2019年度機体「つるぎ」のテストフライトを終え、全員集合。大会でチーム記録19%を保持＝同年6月、南紀白浜空港で

30期生迎え、鳥人間コンテストで7度目の優勝を! NHK連続テレビ小説『舞いあがれ!』に人力飛行機

NHK連続テレビ小説「舞いあがれ!」に撮影協力し一躍有名になった「大阪公立大学 堺・風車の会 WindMill Club」。毎年、人力飛行機を製作し「鳥人間コンテスト」に挑戦し続けている。今春には30期目の新入部員を迎え、7度目の優勝を目指す。2023年度の新機体名称は堺市の木である柳の英訳「willow」。willowが高性能で美しい機体となるよう部員一同魂を込める。「開学2年目を迎えた大阪公立大学とともに舞いあがれ!」と意気込みは熱気に満ちている。

WindMill Clubの工房は中百舌鳥キャンパスの課外活

動棟にある。前田涼真部長(工学部2年)ら約30人の部員が毎日夕方から夜遅くまで人力飛行機の製作に取り組んでいる。今年7月に滋賀県彦根市の琵琶湖で開催される「鳥人間コンテスト第45回大会」に出場し、「琵琶湖の大空に勇姿を描こう」と7大会ぶり7度目の優勝を狙う。

これまで1994年の初出場以来、24回出場し、飛行距離を競うディスタンス部門で3度優勝、1度準優勝。スピードを競うタイムトライアル部門で3度優勝、1度準優勝の計6回優勝、計2回準優勝を誇る。



2021年大会でフライト中の「飛鳥」＝同年8月、彦根市松原水泳場



テストフライト風待ちの中の2022年度機体「鷓鴣(さざき)」＝同年7月、南紀白浜空港で

産官学で町おこし目指し創部 3回目の出場で初優勝を飾る

「堺・風車の会」は当時、堺商工会議所のメンバーだった製造業の工場を営む上野洋三さん(74)や鉄工所を営んでいた栗野興仁さん(76)らが「鳥人間コンテストに出場し人力飛行機を飛ばすことができれば堺が全国から注目される」との思いで、堺の町おこしのために創部。堺市役所や航空宇宙工学課程があった大阪府立大学に呼びかけ産官学一体のチームとなり設立。大阪府立大学でも学生の活動が認められ、「WindMill Club」と名付けられた。



2023年度パイロットのトレーニング=クラブ工房で

「当初は自宅階下の工場で人力飛行機づくりを始めました。学生たちと泣き笑いしながら製作し、青春時代がもう一度蘇った様でした」と上野さん。1994年に鳥人間コンテストに初出場し3回目の96年の第20回大会人力プロペラ機部門でコースレコードを出し初優勝した時は「ほんとうに楽しかった」と振り返る。

この優勝を機に作業場は中百舌鳥キャンパスに移ったが、栗野さんは「人力飛行機の製作経験のある京都の方などに学びに行き、上野さんと会の立ち上げには苦勞しました。しかし学生たちが懸命に努力している姿を見ているのが楽しかった。今も学生たちから相談がありますが、学生たちには日本や世界を担う人材に育ててほしい」と熱いエールを送る。

その後、同クラブは99年第23回大会、2000年第24回大会に様々な新技術を用いた小型・高速機を飛ばし、人力プロペラ機部門で連続優勝、02年の第26回大会では歴代最大の32cmという翼幅の大型・低速機で挑戦、本番直前にクラッシュしたがろうじて準優勝。この後、作業場の火災などに遭い優勝から遠のいたが、07年、08年の31、32回大会で機体屈指の高速機で人力プロペラ機タイムトライアル部門で連覇。15年の第38回大会では大会当日の強風という悪条件を乗り越え、7年ぶりに王座奪還するもそれ以来、優勝から遠ざかっている。



翼の作成作業=いずれもクラブ工房で

毎年新規で最高の機体製作目指す 「つばさ基金」などの寄附が頼り

人力飛行機の製作は、毎年7月の鳥人間コンテストが終わり、夏休み後の9月から2回生が中心となり「これまで以上の最高の人力飛行機を作ろう」と悪戦苦闘の日々が始まる。まずパイロット1人を決定、機体コンセプトをみんなで話し合っ作製。前回の機体の検証も行い、その長所、短所を取り出して、より良い機体づくりに活かす。パイロットは立候補制。機体の状況によっては交代もあり得るが、NHKの朝の連ドラでも登場したトレーニングマシンの固定式自転車、エルゴメーターなどでコンテストまでの1年間、体力作りに専念する。

機体作業班は、まずその年のコンテストで飛ばした機体を1年生も参加して修復し、10月の1カ月、新しいパイロットでテストフライトをし、その経験を活かして新しい人力飛行機の設計が始まる。11月中には設計を終え、部品を発注、本

格的に機体製作に取りかかり、成否を決する主翼をはじめ胴体、プロペラなどを仕上げていく。翌年のゴールデンウィーク明けに完成した機体を大学グラウンドでテスト飛行。この後、和歌山県の白浜空港などでテスト飛行を繰り返し、7月の本番に備える。

機体の特徴は、プロペラの位置が主翼と尾翼の間にある中ペラ機で、前面からの空気抵抗が少ない座って漕ぐリカレント機であること。また、主翼の全重量を胴体接合部1点で保持する片持ち機。前田部長は「すべてはこれまでの経験の積み重ね。11月から翌年4月頃までが製作のピーク。春休み返上でこれまでにない最高の機体実現に向けて追い込みをかける」という。

製作予算は毎年約300万円。機体の重さは約30^キでパイロットを含めると約90^キが目標。資金の捻出は大阪公立大学のふるさと納税窓口である「つばさ基金」や毎年制作する「WindMill Club Tシャツ」の販売、会報の購読料、クラブOBからの寄附で賄う。「人力飛行機にロマンを乗せてその製作に汗を流している部員たちに熱いご支援をお願いしたい」と同クラブ会計や胴体設計を担当した大原拓真さん(工学部4年)。

記録飛行の勇姿をみて連ドラの舞台に 「浪速大学スワン号」で舞いあがる!

NHKから連続テレビ小説「舞いあがれ!」の撮影協力の打診があったのは2021年8月。同クラブが2018年に本大会には書類選考で落選したが、幾多の苦難を乗り越え琵琶湖で地面から自力で滑走して飛び立つ記録飛行に挑戦したことを聞きつけ、取材したいと連絡があったのだ。その時は世界記録どころか墜落してしまったのだが、ドラマ制作の参考

にしたいとの申し込みだった。

21年10月にテストフライトを実施、翌22年3月から機体を貸し出し4月には学内ロケ、5月からNHK大阪スタジオでの撮影、彦根港、南紀白浜空港ロケを経て10月の放送開始となった。実際には中百舌鳥キャンパスには3回、NHKの撮影班が来て大学の授業風景などを撮影し、スタジオには部室を再現して撮影。機体は21年に出場した機体とプロペラを使用、翼は03年のものがたまたま保管されていたことから使い、白浜空港での撮影では、「浪速大学のスワン号」として放映され、部員やOBら約30人がエキストラで出演した。

30期生参入でレベルアップ期待 ロマン溢れる素晴らしい舞台に!

「NHKの朝ドラで取り上げてもらえると思ったときはまたとないチャンスと思い、機体の貸し出しや出演者への作業指導、図面・製法の公開や部室のモデル提供など、撮影協力をさせていただいた。これを機に新生に注目されればと思う」と前田部長。「今春、30期生は多くの人にわが部に入ってきてほしい。部員が多くなればそれぞれ得意分野も広がり、レベルも上がる」とも。



テストフライトを見学して人力飛行機の魅力にとりつかれたという大原さんは「科学技術に頼らず、まさに自分たちの力で飛行機が飛ばせる、こんなロマンは他にない。こんな素晴らしい舞台と一緒に立ってほしい」と呼びかけている。

2000年から同クラブの顧問を務める大阪公立大学工学研究科航空宇宙工学分野教授で研究推進機構宇宙科学技術研究センター長の小木曾望氏は朝ドラ「舞いあがれ!」では「資料提供」でタイトルロールに名前が出たひとり。「NHKの朝ドラに人力飛行機を出すようなことがあるとは思ってもよらなかった。それに協力する機会が来るとは」と話す。

NHK朝ドラでの記録飛行場面の準備作業と劇中に使用された機体「スワン号」=2022年5月、彦根港で

「風車の会」が1996年に優勝し、「当時の学生



青色のTシャツが劇中Tシャツ、後方のえんじ色のTシャツが堺・風車の会の2022年度Tシャツ



「ぜひ同窓生の方々の支援を！」呼びかける「飛鳥」(2021年度)のTシャツを持つ大原さんと「鷗鷗」(2022年度)のTシャツを着る前田部長=大阪公立大学中百舌鳥キャンパスのクラブ工房で

が大学のクラブにしたいというので大学に掛け合いましたが部室がないという理由で断られました。そこで当時、私の指導教員の室津義定名誉教授に頼み込み、なんとか大学のクラブになりました」と小木曾氏は振り返る。

その後、室津先生が高専の校長となって転出され、風車の会立ち上げの宮南啓名誉教授(化学工学科・故人)が顧問を引き継がれたが、その宮南先生が退職されたため、小木曾氏が顧問を引き継いだという。

連ドラの撮影では、人力飛行機は風に弱いので、条件が悪いとクラッシュする可能性が高いため、撮影時間が限られている中、本来なら風待ちしないといけいない状態で飛ばすことがないように、飛ばすか飛ばさないかの判断は学生に決定させることをNHKにお願いしたという。そのため、フライトには予備日を取ってもらったが、すべて予備日の撮影になった。また、授業の場面でもNHKの要請で自ら出演、後ろ姿しか映らなかったが、いろんな人から「出てたね」といわれたと、裏話を語る。

部員たちには「部室をきれいにしなさい」と言っているという。「掃除と飛行機をとばすことはどちらが難しいか、考えたら分かる。掃除もできない人間に飛行機が設計できるわけがない」と小木曾氏。「ぜひ優勝できるチームに立て直してほしい」とエールを送る。

文責:藤山純一(法昭51卒)

※文中の学年は2023年1月現在。

写真は全て「堺・風車の会 WindMill Club」提供



昨年6月、テストフライトを終え部員集合(中百舌鳥キャンパスグラウンドで)

大阪公立大学開学2年目 学ぶ環境整備着々

森之宮キャンパスそばに 地下鉄新駅設置構想

大阪公立大学のメインキャンパスとして注目されている森之宮キャンパス整備だが、予定地での埋蔵文化財発掘調査や不発弾の発見で当初予定していた2025年春の開業が半年遅れ同年9月になる一方、大阪メトロが森之宮エリアに2028年春を目指し新駅設置の構想を発表。また杉本キャンパスで新理学部棟、中百舌鳥キャンパスで新工学部棟などの建設が順調に進んでおり、開学2年目を迎えた大阪公立大学の「学ぶ環境整備」に注目が集まっている。

「森之宮新駅構想」は昨年12月、大阪メトロが大阪城東部地区まちづくりの一環として地下鉄中央線の延伸線として「森之宮新駅」の設置構想を発表。現在、中央線と千日前線列車の日常検査などを行っている森之宮検車場内に設けられ、森之宮キャンパスのすぐ西側に位置する予定。

まちづくりのコンセプトは「大学とともに成長するイノベーションフィールドシティ」。大阪公立大学がその先導役として、多世代、多様な人が集い、交流する国際色あふれるまちを目指す。大阪全体の東西軸強化の起爆剤として、西の拠点となる「夢洲」と「森之宮」を直結させ、地域の活性化を図る意向だ。また鉄道、オンデマンドバスなどに加え、他の輸送モビリティとも連携した次世代交通ターミナルの設置を目指す。

駅舎は球体が浮かび上がるデザイン 構内は開放感のある国際交流の場に

具体的に新駅設置に取り組むのは、2025年に開幕される大阪・関西万博終了後から。万博開催までは中央線が会場となる夢洲へのメインアクセス線となることから、森之宮検車場の留置線を増やし、夢洲への輸送力の増強を図り対応。万博終了後に既存の側線を有効活用して営業線化し、この留置線跡地を利用して新駅を設置する方針だ。

新駅のイメージは、大阪城東部地区まちづくりのコンセプトとマッチするよう「シンボリックかつインテリジェンス(知)・イノベーション(革新)・インキュベーション(新規事

業等の孵化)」を球体が浮かび上がってくる唯一無二のデザインにする意向。駅構内は開放感があり、多世代、多様な人が集い、交流する国際色のある場を創出する予定。

大阪メトロでは今後、需要予測や収支、建設計画、運転計画などについて詳細に検討、関係各機関などと協議していく方針だ。

一方、森之宮キャンパス整備だが、昨年9月26日、地中障害物撤去工事中の学舎建設予定地から第2次世界大戦中に投下されたとみられる米国製1トンの爆弾の不発弾1発(長さ1.8m、直径60cm)が発見され、大阪市、陸上自衛隊、大阪府警などと協議。同年11月6日に半径約300mの住民約3750人(約2200世帯)、約60事業所に避難を求め、信管除去の安全化措置を行い、不発弾を搬出した。



森之宮エリアに新設される地下鉄新駅構内のデザインパース。国際色豊かな交流の場の創出を目指す

またこれまで想定していなかった埋蔵文化財や地下埋設物が発見され、これに加え不発弾発見による工事中断で工事完成が当初より大幅に遅れ、2025年4月開設に間に合わないことが判明。このため森之宮キャンパスは2025年後期からの開設を目指すことになったほか、これに伴い大阪公立大学工業高等専門学校の中百舌鳥キャンパスへの移転は2027年4月となった。



新駅設置図 (いずれもOsaka Metro提供)

来年12月まで新棟建設急ピッチ！ 注目される統合によるレベルアップ

開学2年目を迎え、各キャンパス整備は急ピッチで進んでいる。杉本キャンパスで理学系学舎、中百舌鳥キャンパスで工学新棟、新センター棟、阿倍野キャンパスで看護学部新校舎(いずれも仮称)が今年9月末から来年12月末にかけて次々と完成する見込みだ。

杉本キャンパスの理学系学舎は地上6階、延べ床面積約9200平方メートル、今年12月末の竣工を予定。主に化学系がメインの実験棟などで大学統合に伴い中百舌鳥キャンパスにあった理系部門がここに集約される。1階に学生実験室が設けられるほか、講演会室ホールも新設され、理学系の充実を図る。

中百舌鳥キャンパスの工学新棟は地上7階、延べ床面積約1万6000平方メートル、今年12月末の完成を目指す。中百舌鳥キャンパスと杉本キャンパスの一部の工学系学舎を統合し一部テラス風のおしゃれな外観となる予定。また、新センター棟は地上2階、延べ床面積約5500平方メートル、今年9月にも完成する。建設地の後方にある生産技術センターが移転し、「大型実験基地」となる。

阿倍野キャンパスの看護学部新校舎は地上16階、延べ床面積約1万8000平方メートル。旧大阪府立大学羽曳野キャンパスの看護系と統合されるため、これまでの3倍の広さとなり、医学部との共用フロアも設け、ICUやスキルシミュレーションセンターも移設、看護の発展的、実践的な取り組みを実現する。来年12月末の完成を目指す。



杉本キャンパスの理学系学舎完成パース



中百舌鳥キャンパスの工学新棟と新センター棟の完成パース



阿倍野キャンパスの看護学部新校舎完成パース(パースはいずれも公立大学法人大阪提供)

公立大学法人大阪の新理事長に福島氏

大阪公立大学を運営する公立大学法人大阪の西澤良記理事長(77)が3月末をもって退任し、4月1日から株式会社大阪国際会議場社長だった福島伸一氏(74)が就任した。福島氏の任期は4年間。西澤氏は2019年から同法人理事長。

福島氏は京都大学法学部卒業、松下電器株式会社(現パナソニックホールディング株式会社)に入社、同社副社長を経て2009年関西国際空港株式会社社長、2012年から新関西国際空港会長を務め、2016年から株式会社大阪国際会議場社長。2017年からは大阪府立大学(現公立大学法人大阪)の経営審議会委員を務めている。

福島氏は「大阪公立大学を新たな成長のステージへと飛躍・発展させることが私の役割。まず経営基盤を強化するため役員に民間の経営者や女性の方をお迎えし、『社会と共生する』、『社会に開かれた』大阪公立大学を創っていきたい」と抱負を述べ、西澤氏は「歴史と文化が異なる総合大学の統合が実現できたことに関係者の方々に感謝したい。今後は新理事長の力強いリーダーシップのもと、学生に対して良い教育・研究環境を提供できるよう教職員一丸となって努力を重ねていきたい」とのコメントを発表した。



世界に通じるプロフェッサー

開学2年目を迎えた大阪公立大学。第四弾は「知の拠点」を標榜する同大学ならではの4人のプロフェッサーを紹介。統合の成果を発揮し、わが国ならぬ世界に向けての飛躍を期待したい。

災害発生時に取るべき行動を幅広く研究 「防災研究者は現場第一であれ」を貫く



大阪公立大学
都市科学・防災研究センター
現代システム科学研究科教授
生田英輔氏

東日本大震災から12年、関東では首都直下型地震、西日本では南海トラフ地震の発生に危機感を強めている。しかし近年は地震だけでなく、大型台風の発生や線状降水帯による大雨など水害による被害も目立つ。生田英輔氏(46)の専門は自然災害等に対し、安全な居住環境を実現する居住安全工学だ。災害発生時における避難行動を調査、研究して被害の減少に取り組んでいる。

大学で宮野道雄ゼミに入ったことが、この道に進む大きなきっかけとなった。「地震で住宅が崩壊し、多数の死傷者が発生する。この実態について研究してみてもどうか」と言われ、大学院に進み本格研究の道に入った。まず取り組んだ地震時の住宅被害による人的被害研究では、他分野の研究者なども交え幅広い視野に立って研究を進めた。地震被害研究用のダミーを開発し実験を行ったり、コンピューターシミュレーションにもチャレンジした。阪神・淡路大震災の人的被害発生メカニズムを研究してデータベースを構築、負傷者へのヒアリング、死傷状況の解明なども行った。

しばらくすると東日本大震災が発生。地震発生から約1週間後に現地へ宮野先生らと入り、被害調査を行った。「宮野教授から『防災研究者は現場に行け』とよく言われていたから」。生田氏がリーダーとなった大阪市立大学の調査チームは宮古市と釜石市に入って200人ほどから話を聞き、個人の避難行動や意識をまとめた。一般的には避難においてパニック状態を想像するが、生田氏は「生き残った人の話を聞くと、意外に冷静だった。津波を何度も経験した土地なので、冷静になって訓練通りに逃げていた。生死の境はどこにあるのか、最後は生存本能かと思う」と当時の状況を語る。現場に行き、実験をして初めて分かる課題を研究のテーマにするのが大切だと確信した。

そのうちに南海トラフや大和川の水害が話題に上るようになり、調査にかかる。「大阪人は防災意識が低いと言われるが、それはなぜか」を調べると、災害のリスクが認知されておらず、対策につながっていないことが分かる。他学



家具転倒実験

部の先生も調査に加わったが、総合大学ならではの「都市・大阪」における防災について研究することができた。「防災が専門ではない研究者が防災研究に加わるとどうなるのか、といった発想は他の大学にはない。コラボできるのが総合大学である大阪公立大学の良さ。地盤や建物などハードの面とソフト的な研究を一緒にできるのが強みだ」。2022年4月には都市科学・防災研究センターが設立され、生田氏が都市防災部門の専任教授となった。

現在はコミュニティ防災をキーワードにしている。防災教育の依頼も多く、学校に出かけて授業をしている。また自然災害だけでなく日常的な災害も扱っており、消防局と火災時の研究も行っており、この4月からは北新地のビル街で発生したような避難に課題のある建物での火災について共同研究する予定だ。

研究テーマは地震に限らず水害、火災ととにかく幅が広いが、「最後は人材育成」という。特にコミュニティにおいて防災を担える人の育成だ。ハード対策が多かった日本でも東日本大震災後、コミュニティを大切にするよう変わってきた。地区防災計画制度ができたことで、地域による計画づくりが全国的に具体化しつつある。防災に対する意識が高まり、防災に関わりたいという人も増えてきた。「コミュニティが希薄になりがちな都市部の大阪で、コミュニティ主体の防災ができるのか」といわれたが、都市ならではのコミュニティ防災の進め方を模索している。

今後は防災の取り組みについてエビデンスを出していくことが大切だと言いつつ。「防災教育にどれだけ効果が出ているのか、第三者的に検証するのも研究者の仕事。他の研究者とコラボして、災害だけでなく高齢者問題、健康問題についても縦割りせずに横串を通したい。社会実装が今後のキーワードになる」と熱く語る。「現役学生や同窓生には『まずは災害から生き残ってください』と言いたい。そのためにいかにアクションを起こすかにかかっている」と危機意識を持つことを強調した。

いくた・えいすけ:1976年兵庫県生まれ。専門は居住安全工学。大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程修了、同大学大学院生活科学研究科助手、助教、講師、准教授を経て、2022年4月から現職。著書に「Human Casualties in Natural Disasters: Progress in Modelling and Mitigation」(Springer、共著)、「コミュニティ防災の理論と実践」(大阪公立大学共同出版会、共著)、「住まいの百科事典」(丸善出版、共著)など。

果てしなく続く感染症との戦い ワクチンの有効性や安全性を検証し発信!



大阪公立大学大学院医学研究科
公衆衛生学教授・医学博士
福島若葉氏

変化し続ける感染症を予防するため
開発されたワクチンの有効性と安全性に

ついて、市販後の行司役を担うのが疫学を専門とする福島若葉氏(49)の研究グループだ。治験を経て承認されたワクチンが、現実の世界で「どれくらい効いているのか」、「どれくらい安全か」などを調査する。現在まで、インフルエンザ、ヒトパピローマウイルス(HPV)、百日咳、肺炎球菌、新型コロナウイルスなどのワクチンを評価している。

たとえばインフルエンザワクチンについては、有効性の議論に長い歴史があるという。1980年代後半にインフルエンザワクチン無効論が席卷し、1994年に国の公費対象から外された時、公衆衛生学教室の先代教授、廣田良夫氏(大阪市立大学名誉教授)が適切な疫学手法で効果を検証し、2001年に高齢者対象の公費負担が復活するきっかけをつくったという。

現在、インフルエンザワクチンの株選定は、世界保健機関(WHO)が主導する年2回の会議で行われる。その際、参考にされるのが、各国の保健当局や研究グループから提出される直近のワクチン有効率データである。日本では、厚生労働省研究班で、福島氏が実施責任者となって小児を対象にワクチン有効性を継続的にモニタリングし、結果をWHOに提供している。まさに毎年変異するウイルスとの終わりなき戦いを続けているのだ。

WHOが推奨したワクチン株をもとに、各国あるいは各メーカーがインフルエンザワクチンの製造に取りかかる。日本の場合、国立感染症研究所と国内メーカーがさらに



2017年、共同研究者と共に米国CDCを訪問し、予防接種諮問委員会(ACIP)の審議を傍聴。中央は、ACIPを創設されたJean Clare Smith医師。

詳しい評価を行い、厚生労働省が設置した審議会での議論を経て、国内製造ワクチンに含まれる株が決定される。「現行のインフルエンザワクチンの発症予防効果はおおむね50%程度。ワクチンを打つと発症リスクが半分に下がる。言い換えれば、ワクチンを打たずに発症した人のうち半分は、打っていたら発症しなかった、と解釈できる。とはいえ、国民の皆さんにとって受け入れられる効果であるかは別問題。もっと良く効くワクチンの開発が進められているものの、課題は多いのが現状だ」という。

公衆衛生学とは、「すべての人々(公衆)の健康(生)をまも(衛)る」ことにある。その対象は集団であり、その実践を支えているのが公衆衛生診断学と位置づけられている「疫学」。本学では、1948年に公衆衛生学教室が創設されて以降、疾病の予防、寿命の延伸、健康の増進を図るための研究を行っており、その5代目教授が福島氏だ。

特に昨今、公衆衛生は新型コロナウイルスの流行で一挙に注目されるようになった。世界で初めて承認されたファイザー社製ワクチンの治験で発症予防効果95%という結果が示され、世界中でワクチン接種が広まったことは「公衆衛生上、大きな意義があった」と強調する。

もともと肝胆膵内科(旧第3内科)の出身。実家が医薬品販売をしていて祖父に「医者になれ」といわれ医学部へ。卒業後、いろんな診療科を経験したいと思い、淀川キリスト教病院の公募スーパーローテート研修医として勤務。帰学後、大学院で指導を受けた廣田先生との出会いと「社会の役に立ちたい」との思いが公衆衛生学への道を定めた。2016年には、厚生労働省研究班でHPVワクチンの安全性を評価する全国疫学調査の実施責任者を務め、2022年4月の個別勸奨再開に貢献。「ワクチンの有効性や安全性を

科学的に検証し、行政施策に還元していきたい」と熱い思いを語る。「100%効くワクチンはない。100%安全なワクチンもない。日本人はゼロリスクを求める国民性であるが、リスクと利益を示してもらえれば考える。私たちの役割は、その根拠となるデータを提供すること。今あるワクチンを有効活用していく、それが現代を生き抜く方法だ」と語りは尽きない。

厚生労働省廣田班 6歳未満児のインフルエンザワクチン有効性 (test-negative design) 「接種なし」を基準とした場合の2回接種のワクチン有効率		
調査シーズン(解析対象) 主流株 ワクチン株との抗原性の合致度	接種 回数	調整 オッズ比 [95%信頼区間] (1-オッズ比) × 100 = 有効率 (%)
2013/14 (386症例 435対照) A(H1N1)pdm: 良好	1回	0.47 (0.26 - 0.85)
	2回	0.49 (0.32 - 0.77) 有効率 51%
2014/15 (302症例 555対照) A(H3N2): 良好でない	1回	0.59 (0.33 - 1.07)
	2回	0.50 (0.31 - 0.81) 有効率 50%
2015/16 (424症例 490対照) A(H1N1)pdm: 良好	1回	0.67 (0.36 - 1.24)
	2回	0.40 (0.26 - 0.60) 有効率 60%
2016/17 (369症例 638対照) A(H3N2): 良好でない	1回	0.58 (0.32 - 1.06)
	2回	0.59 (0.40 - 0.86) 有効率 41%
2017/18 (436症例 579対照) 混合流行, B(Yam)が最多 A(H1N1)pdm, B(Yam): 良好 A(H3N2): 良好でない	1回	0.43 (0.25-0.75)
	2回	0.37 (0.24-0.55) 有効率 63%

福島若葉, 他. IASR 2019;40:194-195

ふくしま・わかば: 1973年和歌山県生まれ。1998年大阪市立大学医学部卒業。淀川キリスト教病院に3年間勤務した後、2001年に大阪市立大学大学院医学研究科博士課程入学。2005年に同科公衆衛生学・助手(現:助教)。2015年より同教授、2022年4月より現職。厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会委員、厚生労働省ワクチン生産体制等緊急整備事業評価委員会委員。

食品の安全・安心を求め40年 終わりなき感染微生物との戦い



大阪公立大学大学院
獣医学研究科獣医公衆衛生学教授
三宅眞実氏

食品と微生物に関する学術研究やその成果の普及を図り、食品の安全や機能の向上に寄与する目的で産官学一体となって設立されたのが日本食品微生物学会。その理事長を昨年末まで3年間務め、今も理事の要職にあるのが三宅眞実氏(62)。食品の中に入ってくる微生物がノロウイルスのように病気を起こすものであれば食中毒を引き起こす。それを防ぐために国の基準に合っているかどうかを検査して、その可否を判定するいわば「食の安全を守る番人」だ。

学会では、新しい技術や検査法などの発表やその妥当性を検証し、食品会社向けに講習会なども開催し、その普及に努めている。このため学会の構成は企業との連携を重視して産官学がほぼ同じ割合で参画しており、食品メーカーの研究所員や基準作りもあるため国や都道府県の研究機関なども参画する。

学生時代から日本細菌学会に所属し、細菌学の基礎研究を行ってきた。その経験を活かし、いま研究に取り組んでいるのは数百人規模で食中毒を起こす「ウェルシュ菌」だ。この3年間、新型コロナウイルスの感染拡大で手洗い、アルコール消毒などの感染予防に努める人が増えたため食中毒の件数が激減したが、その中で件数が減らなかったのが、一般的な衛生管理だけでは予防できないウェルシュ菌による食中毒だという。

菌を顕微鏡で見て、時間軸を追いながら動画で観察し、条件を変えながら追跡している。ウェルシュ菌は熱や薬剤に強く極めて耐久性の高い細胞構造である「芽胞(がほう)」を形成する特徴があり、土中にあっても生き続け、食品を汚染したり、人や動物体内に侵入する。カレーやとろみのある餡(あん)かけなど加熱調理でも生存し、熱してすぐに食せば勢いを失うが、病院や学校での調理後の保存状態が不適切だと増殖し、勢いを増している状態で体内に入り食中毒を起こしやすいという。

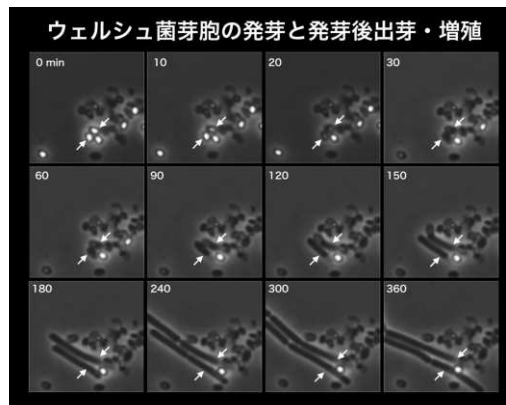
「こういう研究はわが国ではおそらくここだけ。この芽胞を作らせないようにするためにはどうすればいいか、芽が出て増えていくところを抑えることができる添加物などが開発できれば」と語るが、芽胞を作るプロセスはまだあまりよく分っていないのが現状だ。

食中毒を起こす菌は厚生労働省によると約20種類。食

品の中に食中毒を起こす菌が混入し増殖する。その増殖した菌を殺さずに食べると食中毒が発生する。これらの菌には食品の中で増えたときに毒素を出し、それが人体に影響を与えるものと、身体に入ってから増殖し毒素を出すものがあり、これらをいかに食い止めるかが、大きな課題だという。

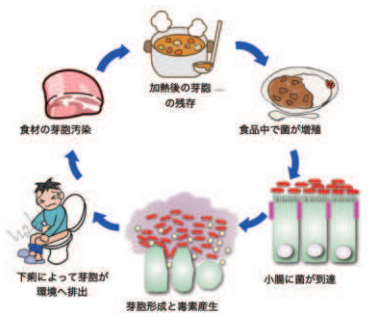
「ただ100%の予防は難しい。食品を清潔に扱うのが一番大事だが、食品に危険な微生物をできるだけ入らないようにする、入ったとしても増えないようにする、さらには食べる前に殺菌する。これらをいかに実行できるかでかなり予防できる」と強調する。

獣医の道に進んだのは、小説家・動物研究家で「ムツゴロウさん」の愛称で知られる畑正憲さんに憧れたから。しかし動物を扱うよりも研究の方に魅力を感じ、たまたま入った研究室が獣医公衆衛生学だったという。そこで細菌感染症の研究をしたのがきっかけで「面白いなあ」と思って病気を起こす菌の研究を始めた。獣医学を学んでも半数以上は小動物を扱う「町の獣医さん」だが、そのほか牛や豚など産業動物を看るドクター、そして食肉の流通を支える公務員の獣医師となる。



食中毒菌(ウェルシュ菌)の芽胞から菌が発芽して増殖する過程のタイムラプス画像

ウェルシュ菌食中毒の発症機序



ウェルシュ菌の感染サイクル

研究歴はすでに40年。食品の安全の研究は社会貢献として重要なものだが、もともとバクテリアの生物としての不思議さに惹かれて研究を始め、その延長で現在の研究を行っている。「細菌学的な基礎研究がこれからも軸足となり、それを続けていきたい。それをやりながらそこで見つかった新しいことを食の安全に広げていきたい」と意欲は尽きない。

みやけ・まさみ:1960年生まれ。専門は食品微生物学、病原細菌学。大阪大学大学院医学研究科博士課程修了。株式会社ヤクルト本社中央研究所、米国コロンビア大学外科内科部門を経て、1993年より千葉大学医学部助手、2002年より大阪大学微生物病研究所講師、准教授。2008年より大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授となり、2022年4月より現職。大阪公立大学食品安全科学研究センター長を兼任。

看護の世界に情報科学を ユニークな教育教材続々



大阪公立大学大学院
情報学研究科教授・特命副学長
真嶋由貴恵氏

地域住民の健康の保持増進に務める保健師出身という異色の教授が真嶋由貴恵氏(60)だ。看護師でもあり、養護教諭の1種免許も持つ。「看護に情報を活用する!そして看護をもっと良くする!」との思いから自分の可能性にチャレンジし、看護のため、世の中のために今も走り続ける。

広島県の看護専門学校を卒業して今は呉市に併合されている当時の豊田郡川尻町で保健師となった。「もともと学校の先生になりたかったが、母が看護の仕事をしていたこともあり、保健師の道に進んだ」と真嶋氏。町では初めての正職員の保健師で採用されたが、ひとりで務めることの難しさもあり看護師に転身したという。

その後、国立呉病院の外科病棟でその忙しさに悪戦苦していたところ、急速に進む情報化の波でワープロに代わりパソコンが普及、「パソコンを使えば、看護師はもっと効率よく働くことができ自分の目指す看護ができるのでは。ぜひ看護や医療に情報を活用し役立たせたい」と香川大学教育学部の総合科学課程情報科学コースに進学。

「看護の世界に情報科学を導入する」。この当時、思い描いたのは具体的には看護師の勤務表と看護記録の改善だ。特に勤務表は師長が膨大な時間をかけて作成しており、看護師の勤務記録を書くのも時間がかかり過ぎていた。いまでこそ看護師勤務表作成アプリや電子カルテは当たり前となっているが、当時は画期的な発想だ。

博士号を取得するために入学した岡山理科大学博士後期課程では、床ずれの新しいケア方法を床ずれの状態からアドバイスできる「褥瘡(じよくそう)ケアのための在宅看護ガイダンスシステム」を褥瘡ケアナースらの助言を受け作成、「乳がんの自己診断」などもネット上に発信し、海外の日本人看護師からコメントが集まったという。

今取り組んでいる研究は看護教育教材を作ること。言葉で説明できない知識である暗黙知に注目、視線カメラを使い看護師と看護学生に装着してもらい、双方の看護作業の映像を比較検証し教材とする。手の動きもセンサーを装着し比較検証する。「熟練の看護師は10回しても同じ視線だが、看護学生は毎回バラバラ。AR(拡張現実)やVR(仮

想現実)も活用しており、自己学習で学べる教材を作るのが課題だ」と話す。

「コツの伝承も大切」という。患者に注射をする時も血管を引っ張る力など熟練看護師にセンサーを付けて両手の動きなどを確認しながらそのコツを学んだりしている。さらに最近では情報技術の浸透が人々の生活をより良い方向に変化させるというDX(デジタルトランスフォーメーション)という観点から、学習内容をこれまでのマスではなく個別に発信し、さらに全国展開すれば、日本の看護の状況が変わると思っている。

電子カルテの活用にも大きな課題があるという。電子カルテを導入する病院の選定委員にもなったといい、「実際は電子化されたデータは溜まっているだけ。そのデータを活用して、疾病予防や治療に活かすことができるが、病院にはその余裕やスキルがない」と手厳しい。

これらのデータを健康診断の結果や母子手帳、学校健診結果などにつなげていき、役立てていけば十分なヘルスケアができると指摘する。これを可能にするのがマイナンバーカードだという。

これから行おうとしているのが大学生を企業の健康経営につなげていく取り組みだ。健康で会社に就職してもらい企業の健康経営に貢献していく。研究生は約20人。4分間の



視線カメラを使い注射の実験

の運動で、30分間歩いた効果があるというチャットボットシステムや大学生の血圧測定を習慣化するためのアプリなど、幅広くヘルスケアに関連する研究やシステム開発を行っている。

「研究に必要なのは新規性、有用性、信頼性」と強調する。「これからは看護で集まったデータをどのような形にしていくかが最大の課題」。女性

研究者支援室の室長も務め、子育て中の女性研究者を支援している。「女性だけでなく若い人たちの研究支援もしていきたい」と目を輝かす。



忘年会でこの1年を漢字に表わす研究生ら＝後列4人目が真嶋氏

まじま・ゆきえ:1962年広島県生まれ。1984年 広島県立広島看護専門学校卒。看護師、保健師、養護教諭1種免許。1994年 香川大教育学部情報科学コース卒、2001年 岡山理科大学博士後期課程了、博士(工学)。神戸市看護大学助手、産業医科大学助教授、大阪府立看護大学助教授、大阪府立大学看護学部准教授を経て2008年 同大総合教育研究機構教授。2016年 同大学院人間社会システム科学研究科教授、2022年4月から現職。看護システム先端技術研究所所長。2007年 第4回e-Learning大賞厚生労働大臣賞、2011年 教育システム情報学会論文賞受賞、2014年 教育システム情報学会研究奨励賞。



心に届く旅! 募集型企画旅行で主導的地位を築き、 培ったノウハウで多様化へ邁進



株式会社阪急交通社 代表取締役社長 **酒井 淳**さん(法昭56卒)

単なる旅行会社でなく、モノを作り出す、創造する、提案する「メーカー」との自覚、自負をもって、さらに業態を変えて社会貢献のビジネス展開まで。今回登場していただくのは、その先導役の酒井淳さんです。旅行業界事情、阪急交通社の特徴ある事業内容、コロナ禍でのBPO事業、地域との連携事業まで手掛ける意欲的な事業運営をざっくばらんに語っていただきました。

■大学時代

市大を選んだ理由は、入試科目が多かったからです。多い科目でバランスよく点数を稼げばよしと思ったのと、学費が安かったことです(笑)。将来は公務員との漠然とした目標もあり法学部を選択し、ゼミは労働法の本多淳亮ゼミでした。ギター部では部長を務め、主にフラメンコやクラシック音楽での演奏活動。現在は廃部になっていますが、当時は20人以上の部員とともに、充実した大学生生活を送ることができました。就職先は心変わりして公務員を諦め、海外出張機会もありそうな期待で阪急交通社に入社しました(笑)。

■事業概要

阪急交通社は阪急阪神ホールディングスグループ会社の一つで、基幹ブランドであるトラピックスをはじめとしたパッケージツアーや個人旅行、そして法人団体旅行、修学旅行、訪日外国人旅行、業務渡航など、多彩な旅行の販売を行っています。

旅行の販売形態は3つあり、一つ目は募集型企画旅行。旅行会社で交通機関、観光地、宿泊施設やレストラン、添乗員やガイドを組み合わせで募集するものです。いわゆる“ツアー”と言われるもので、当社取り扱いの約8割を占めています。二つ目は受注型企画旅行。旅行者が行きたい



ヨルダン世界遺産ペトラ遺跡にて

旅行を計画し、それをもとに旅行会社が交通機関や宿泊施設などを手配します。修学旅行などが該当し、当社取り扱いの2割弱です。三つ目が手配旅行。販売カウンターを窓口で、お客様の要望にそって交通機関や宿泊施設などを手配します。ただ、現在はオンライン販売にシフトしているため、この手配旅行はあまり取り扱っておりません。

一方、外国人の訪日旅行も欧米を得意として展開しています。水際対策が緩和され春の桜シーズンを皮切りに活況です。また、コロナ禍で旅行がゼロとなった事態で新規事業として取り組んだ自治体などを対象としたソリューション事業も今や事業の柱の一つとして大きく成長しました。

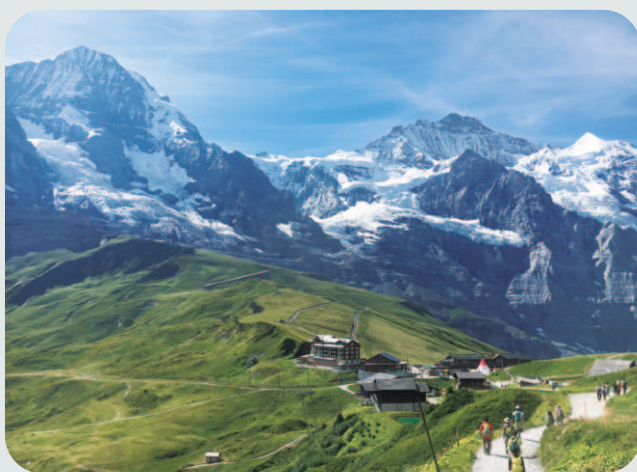
■全国トップレベルの顧客数

当社は約400万人の顧客数を誇り、毎月約200万部の会報誌・ダイレクトメール送付、新聞広告出稿量では全業種で第一位の実績があるなど常に上位を占め、ネットも活用した広告募集の強さは業界で定評があります。顧客のうち約60%が60歳以上とシニア層のお客様が多いため、ダイレクトメールや電話での対応を強化しています。特にコールセンターは全国5拠点に設置し、約600人のスタッフが1日1万件の電話応対をしています。

■グループ内協業やオンラインツーリズム

阪急阪神グループは多様な事業展開を行っているため、グループ内で協力しながら多彩なツアー商品の提供を行っています。例えば、エンタテインメント事業との協業では旅行ツアーの中に阪神タイガース球団の沖縄キャンプ見学や宝塚歌劇の観劇、グループ内ホテルでの宿泊などを組み入れ、他社とは異なる付加価値の提供が当社の強みです。

他にも、全国各地の地方空港から航空機をチャーターし、定期路線以外のルートを作ることで新たな需要を創出したり、豪華バスや安定的に供給される年間契約のバス車両を利用してシリーズツアーなどのバス旅を提供しています。



憧れの山で海外トレッキングも企画＝スイスで



豪華客船で優雅にクルーズ旅行も企画

コロナ禍では、オンラインツーリズムにも取り組んでいます。実際はオンラインとオフラインを融合させ、添乗員やガイドは現地に赴き、お客様はオンラインで観光するスタイルが多いです。地域のお酒と観光地を巡る「オトナの酒学旅行」や、「東京タワー大神宮オンライン参拝ツアー」など、自宅にいながら人気観光地を巡ることができる旅行を提供しています。

■コロナ関連での社会貢献

この分野は当社社員の力量を自負した事業のひとつです。旅行業務で活用している予約受付などの管理システム、コールセンター、添乗経験などで培った接客ノウハウやホスピタリティを生かし、ワクチン接種会場の運営をはじめ、自宅療養者の健康観察や臨時医療施設の運営などを受託することで、医療関係者の負担軽減のお手伝いをし、社会貢献にも繋がっています。

■地域連携事業

当社は全国に営業支店を構えている強みを活かし、各自治体の誘客事業と連携して地域密着型の旅行商品の企画・販売を通じて地域観光支援の役割も担っています。例えば山形県のサクランボ収穫体験ツアーを企画し、観光客が収穫のお手伝いをするすることで、観光客には非日常体験を提供しながら自治体が抱える農業・漁業の人手不足を解消するという課題解決の一役を担っています。

他にも、人口減少問題を抱える地域の魅力を引き出せるような長期滞在やワーケーションのツアーを企画し、その地域への移住促進や観光地としての魅力を再発見できるような仕組みを考えています。

■今後の展望

当社は「心に届く旅」がモットー。旅行代理店ではなく、旅行を創るメーカーという意識で事業を展開しています。単に旅行を提供するだけではなく、地方自治体、交通機関、宿泊施設などと協業しながら、他社にはない付加価値を提供しています。海外旅行や訪日旅行では入国規制の大幅緩和を契機に市場の回復が進みつつあるため、各国政府観光局、各国の提携先や当社海外拠点(駐在員事務所2カ所、現地法人3社)との連携を強化し着実な回復を目指します。コロナ禍で積み重ねた経験を活かし、今後も高付加価値商品や新たな需要に応える商品の開発に取り組み、皆様の「心に届く旅」をお届けしたい。

<インタビューを終えて>

お話をお聞きして、先取りした発想による独創性が阪急交通社の強みと思いました。「安心・快適」、そして「夢・感動」の旅を顧客に提供できる仕事に羨ましさを感じました。「健康経営」は同社のスローガンのひとつ。会社と同時に、旅を通じて世界も健康にしてくれるのではとの期待が膨らむ取材となりました。

インタビュー：奥山正昭(経昭44卒)

文責：加藤菜々子(経令2卒)

トップの意気込み 社長さんご紹介

「下げ振りの心」で100年企業の挑戦続く 持続可能な会社を

株式会社鍛冶田工務店 代表取締役社長 鍛冶田八彦さん(工昭57卒)

鍛冶田工務店は、バブル崩壊前は総売上高100億円の企業でしたが、バブル崩壊後、金融危機・リーマンショックなどの厳しい世界状況の中、同業他社の受注高が下降していたにもかかわらず、受注高・総売上高共に上昇を続け、2021年の創業100周年では受注工事高400億円を達成しました。なぜ、そのような成長を遂げることができたのか、お話を伺いました。



「社会に必要とされていていただける持続可能な会社を目指したい」と語る鍛冶田八彦さん

鍛冶田工務店は世界的な経済危機の時に伸びています。マンション建設が多くなった頃に「カジタでよかった。次もカジタに」と思ってもらえるかどうか大切と考えました。何か相談をしたら何でもすぐに対応してくれる。事業主からは工事の受注に結びつかない可能性がある件について問い合わせてもすぐに回答してくれる。

このように、ちょっとしたサービスを行うことで信用を得ているのではないかと考えています。

社訓としている「下げ振りの心」は父親の座右の銘でした。常に正しい方向を見て、物事を判断してほしいと、現場で働いている社員に「ミスは人のせいにするな。言い訳するな」と言ってきています。おかげで言い訳はなくなったのですが、反対に水を向けなくて「実はこんなことがありまして」といった事実を言ってくれなくなってしまい困っています。

近江商人の「三方良し」と同じで、事業主、近隣の方、協力会社の方、社員の立場を本気で考える、この本気度が大切です。商談等で事業主ともめた後などに今のようなことをつぶやいているか、その言葉を感じとることができる、相手の立場に立て、それに寄り添うことができます。

これを実現するために、協力会社さんと一緒に「6S運動」を2002年から現場の職人さんに行っています。その前には「クリーン運動」を行っていました。マンション建設を始めた頃、マンションの内覧会で前面道路にたばこが落ちていたのをお客様に怒られました。事業主さんが「マンションを買う時に生命保

険を掛けられる方がいらっしゃる。命を掛けて買われるのです。その内覧会で前面道路とはいえ、たばこが落ちていたらどう思いますか。」という話をされました。そこで、若手の協力会社の勉強会の中で、現場を綺麗にする「クリーン運動」をしようとなりました。

その後行っている「6S運動(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・習慣)」の前の4つは形だけ、それを心でできるように育てなければならないという意味で「しつけ・習慣」が大事です。その頃から協力会社さんと一緒に近隣の清掃を毎週1回行っています。最初は協力会社さんから毎日昼前、作業終了後に清掃し、週1回近隣一斉清掃までやらせたら仕事にならないと文句を言われていましたが、今はそんなことを言う人はひとりもいません。ここまでくるのに2002年から2010年くらいまでかかりました。

工事現場では職人さんがつまづかないよう段差を埋めたり、人通り・自転車が多い所に仮設停止線を引いたりといった、現場ができることは自主的にすぐに行ってくれています。

マンションは出来上がる前に購入するので、お客様は必ず、建設中に現場を見に来られます。その時に汚い現場、見苦しい現場を見たら「買わんとこう」と思われます。また、首にタオルを巻かないなど身だしなみがすっきりしていたら印象が良いですね。腕組をしている所を見たら怖いなど思われます。少なくとも我々はマンションを売る邪魔はしてはいけないと思っています。

100周年を迎えて建設現場の近隣の方からお礼のお手



鍛冶田工務店が施工した木造構造が体感できる Modellazione Legno 事務所棟。設計担当は鍛冶田祥尚さん(工平30卒)。ウッドデザイン賞2022受賞、令和4年度木材利用有料施設等コンクール優秀賞受賞。事業主は甲村木材(株)＝奈良県御所市

目指し社会貢献にも尽力

紙をいただいたのは、今までやってきたことへの「ご褒美」だと感じています。建設中に近隣とトラブルを起こしたことで、完成後入居が始まって入居者が建設中のことで近隣ともめることがあってはならない、と考えています。このような積み重ねで信用を得て来られていると感じています。

1997年に採択された「京都議定書」の中で言われている「持続可能な経済発展」という言葉にショックを受け、建設会社は日本にたくさんあるが、「鍛冶田工務店が必要」「鍛冶田工務店がないと困る」と、思ってもらえる「持続可能な」会社になりたい、と願っています。

昨年、大学に多額の寄付をしたことで紺綬褒章の伝達式を学長室で行っていただきました。そもそも大学に寄付をしようと思ったのは、大学時代の友人たちと現ステークホルダー連携推進室のキャンパス案内ツアーに参加し、生協食堂が昔と全然変わっていないのに愕然としたことから始まっています。高校生が生協食堂を見て「この大学に行きたくない」と思われるのは困ると思い、改修に必要な金額を出そうとまで考えていました。高校の一期下の柴田洋氏(商昭57年卒)に大学に寄付をしたいと申し出ると「夢基金」を紹介され、「全天候グラウンドの整備の為の寄附」を行いました。

また、鍛冶田工務店は奈良県御所市で創業したご縁で、奈良県立御所実業高校のラグビー部をサポートしています。その中でラグビーだけではなく勉強でも有名になってほしいと思い、土木施行管理技士2級の合格を目指して、総合資格学院と共に資格取得支援を行っています。今年度から奈良商工高校、奈良南高校にも支援を始めました。出世払いでよい奨学金も行っています。勉強が苦手な高校生の「やる気スイッチ」を入れてあげたいと思います。

県立高校ですのでお金がない。そこでサポータークラブを作り資金を集めています。



どこから見ても美しい意匠を目指したシエリアタワー
大阪福島。事業主は関電不動産開発(株)・日鉄興和不動産(株)＝大阪市福島区

また、鍛冶田工務店は県外から来るラグビー部員に対して今では50人に社員寮を利用してもらっています。地道な活動をしながら、御所実業高校ラグビー部の存在を知ってもらえたらいいですね。

※インタビューを始める前に鍛冶田さんが会報編集委員長の小林さんと同じ高校の卒業生と分かり、一気にアイスブレイクしました。本業のお話もさることながら、社会貢献に尽力されているご様子に社訓「下げ振りの心」を鍛冶田さん自ら実践されて範を示されているのだなと感じました。また、対応いただいた総務部の方の感じが良く、お出しいただいたお茶・コーヒーが美味しかったことなど、こういうこともお客様の立場に立った心遣いと感激しました。

鍛冶田工務店は創業100周年を記念して記念誌を発行されたりして、会社の取り組みを積極的に発信されています。同窓会ももっと情報発信をしないといけないと肝に銘じた次第です。

文責 村上芳子(商昭58卒)



2021年度グッドデザイン賞を受賞したジオ北千里藤白台。事業主は阪急阪神不動産開発(株)＝吹田市

市大 OB・OG 紹介

「異和共生(いわきようせい)」—は街づくりの基本理念 あっ!と目を引くオールホワイト 白スーツスタイルですっかりおなじみ 歌う区長さん! 大阪市生野区長 筋原章博さん(商昭60卒)

—略歴を教えてください

昭和60年(1985年)に大阪市立大学商学部(宮本ゼミ)を卒業後、大阪役所へ入庁しました。大阪市港湾局で20年以上大阪港の管理に従事し、平成22年(2010年)に大正区長に就任、2年後に区長が公募制となりましたが引き続き大正区長、続いて港区長を務め、令和4年(2022年)4月から区長としては3つ目となる生野区長に就任いたしました。

沖縄出身の方が住民の四分の一を占め、おおらかな味わいがある大正区。都心を離れたベイエリアでシュッとスマートな印象の港区。そして昨年4月に就任した生野区は、大阪市24区の中でもものづくりに長けた中小企業がもっとも多く点在する「濃い下町」、町工場ならではの手仕事や高い技術力が評価されて海外からもたくさんの注文がきています。大正・港・生野3区とも、私はその土地に実際に住んで暮らし、住民のみなさまと触れ合い、まちの動きを肌感覚で感じることをいつも大切にしてきました。



—区政に携わる上で大切にしているモットーや理念はありますか?

「異和共生(いわきようせい)」です。わたしはこのことばを街づくりの理念としています。「異和共生」という理念は、大正区の関西沖縄文庫主宰の金城薫さんが提唱されました。区長として在任当時の大正区は、住民の間で沖縄文化と大阪文化の大きな軋轢があり、お互いがどのように共生して行くのが課題となっていました。「異和共生」とは、お互いに立てるべき壁はしっかり立て、違いを大事にすることです。壁を半歩でも1歩でも乗り越えて、壁と壁のすき間で、ともにできることを少しずつ広げていこうという考え方です。そして最も大切なことは、壁の基にある歴史・文化や価値観をお互いにリスペクトしあい大切にすることです。

—「多文化共生(※)」と違いはあるのでしょうか?

多文化共生ではお互いが持つ壁を取り払って一緒にやりましょうと言う事が多いと思います。しかし実際に壁を取り払ってしまうと、強い方が弱い方に勝ってしまうことがあります。マジョリティがマイノリティをのみ込んでしまい、「共生」ではなく「併合」となってしまう現象が起こりうるのも事実です。これに対し「異和共生」は文字通り、異なるものもそのままに、和やかに共に生きていく理念です。今ではたくさんの住民の方が賛同してくださっています。

—これからの街づくりの展望をお聞かせください

現在の生野区は韓国・朝鮮にルーツを持つ方々やベトナム、中国、ネパールなど60カ国以上の国の方々が暮らす、まさに「異和共生」のグローバルタウンです。コロナ禍でも、大阪コリアンタウンには200万人の人が訪れています。人の流れを素通りさせてしまうのではなく、地元をさらに魅力ある場所にして人の流れを受け止め循環させて行かなければ街の活性化はありえません。

私はこれまでに、空き家のリノベーションや、町工場の高い技術力とベンチャー企業や大学の斬新なアイデアを合わせて新製品を作る拠点づくりを行い、大正区、港区ではヒット商品を生み出してきました。住んでいる人がみな、面白い!暮らしてみても楽しい!と感じる実体験に勝るものはありません。街を変えたい、衰退させないという思いでこれからも新しいことをどんどんやって街づくりにかかわっていきます。

—同窓生・卒業生・現役学生にメッセージやエールをお願いします

プライベートを犠牲にしてまで働く時代は完全に終わりました。自分が面白いと思うことに突き進み、プライベートも仕事も充実した人生を送ってほしいと思います。

文責:中村祐子(文平27卒)

※多文化共生:「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」(総務省:多文化共生の推進に関する研究会 報告書 2006年3月より)

すじはら・あきひろ:1963年和歌山県生まれ。1981年和歌山県立桐蔭高等学校卒業、1985年3月大阪市立大学商学部(宮本ゼミ)卒。1985年4月大阪市奉職。区役所勤務を経て、港湾行政に20年以上携わる。2010年4月大正区長に就任、2017年4月港区長に就任、2022年4月生野区長に就任。趣味は音楽活動、執筆活動。歌う区長でおなじみ。

福娘が縁で 大関夫人、高砂部屋おかみに

長岡 恵さん(生昭60卒)



今回登場の長岡恵さんは、市大在学中に今宮戎神社の福娘を務め、それが縁で大関朝潮関(当時)と結婚、そして角界屈指の名門部屋のおかみを経験。角界特有の苦勞を乗り越えながらも、幸せ感が伝わってくるインタビューでした。飾り気ないやさしさが力士たちからも慕われているようです。以下、ご本人の語りをまとめました。

◆市大時代・福娘での経験

もともと子どもが好きだったので、幼稚園の先生を目指し生活科学部児童学科を選択しました。母校大手前高校の知人の誘いで軟式野球部マネージャーに、同時においしいお菓子が食べられるとの理由で茶道部、テニスサークルにも所属しました。

2年生の時、知らない間に茶道部の先輩が応募していた今宮戎神社の福娘に選ばれてしまいました。福娘として福德を人々に授けるだけでなく、私までもが様々な福をいただきました。OG仲間の「いまみや福娘会」の会長を20余年続けており、お陰でいろんな世界の人と交流でき視野が広がりました。

◆朝潮関との因縁

TV中継の福娘インタビューで「昨日、大相撲が始まりました。朝潮が勝ちました。この中でファンの方は？」という問いかけに誰も反応しなかったため、場を持たせるため小さく手を上げたのが私でした。「大ちゃん(朝潮の愛称)のどこが好きですか？」と聞かれて、変なことも言えず「全部!」と答えてしまいました(笑)。当時は、特に相撲に興味はありませんでしたが祖父が相撲好きでした。

そのTV中継を高知から来阪し近大相撲部マネージャー宅でたまたま視聴していた朝潮の両親に好印象だったこと、そのマネージャー宅は偶然にも私の実家と同じ檀家で近かったこと、さらに私の父が近大ボクシング部出身、朝潮は同相撲部出身との奇縁で知らない間に朝潮とお見合いの話が進んでいました。

市大卒業直後にお見合いしてからは朝潮から毎晩8時に電話がありました。8歳年上ということもあり会話が弾むわけではなかったのですが、朝潮の誠実さを感じ信頼できる人だと思えるようになりました。

婚約後、結婚への不安もあり悩んだこともありましたが、祖父が、わたしたちの婚約前に朝潮と写した写真をアルバムで見つけ、そのツーショット写真で強い縁を感じ、翌年1月に挙式しました。

◆高砂部屋のおかみ時代

東京に知り合いもなく結婚生活が辛いと感じる時期もありましたが、朝潮のさりげない優しさに支えられました。結婚後は食事の栄養バランスも考慮し、10品の料理を出すように心がけました。

おかみとしての仕事は、部屋の力士の身の回りの世話から、お金の管理、縁談の準備、時には、辞めようとする力士を自転車で追いかけて呼び戻したり、洋服選びに買い物に付き合ったりと多岐にわたります。親同然に愛情を注ぎながらも、特定の力士への肩入れにならないように、公平に等距離で接するよう心掛けました。辛いこともありましたが、若い力士が頑張っている姿を傍で世話をし、彼らの人生に関わることができたのはかけがえのない経験でした。

今の高砂部屋は、大関経験の朝乃山を筆頭に力士26人です。モンゴル出身横綱(元朝青龍)を出しており、次に日本出身の横綱を出す部屋となることを目標に、これからも若い力士の成長を見守っていきます。

<参考>4代目朝潮太郎:本名/長岡末弘、高知県出身、近畿大学卒、大関在位数36場所、幕内優勝1回、殊勲・敢闘・技能の三賞受賞14回、1989年現役引退後:若松部屋('90~'02)、高砂部屋('02~'20)、日本相撲協会理事('00~'08)、2021年日本相撲協会を退職



元大関朝潮、元高砂親方と



今宮戎神社の福娘として(市大在学当時)

インタビュー:奥山正昭(経昭44卒)

文責:加藤菜々子(経令2卒)

市大偉人列伝

喜多又造 第26代日本綿花社長の人生録

喜多又造氏(1877~1932)は、1894年に大阪商業学校(現大阪公立大学)を卒業後、日本綿花(現双日)に入社し、以降40歳にして同社社長に就任した実業家である。紡績業の先鋭である田中市兵衛からの信任を得て、1896年にはムンバイ支店長として4年間、日本とインドを往来し、綿糸にまつわる知識と経験を育んだ。1903年、喜多氏はわずか26歳にしてムンバイ支店の支配人に就任。類いまれなる商才を発揮し、異例のスピードでインドから日本へ凱旋した喜多氏を築いたものは一体何なのだろうか。あるいは喜多氏を喜多氏たらしめたものは何なのだろうか。

喜多氏が社長を務めた日本綿花、いわゆる双日株式会社は、国内外約400社の連結会社との連携によって、グローバルビジネスを展開する総合商社である。「中期経営計画2023~Start of the Next Decade~」という企業戦略を基に、新たなビジネスモデルの創出や価値創造、事業と社会の共存を目指しており、自動車、航空機、インフラ・ヘルスケア、金属・資源・リサイクルなどの営業本部を設け、多くの地域や国々の発展支援を行っている。喜多氏は1919年、第1次世界大戦終結のパリ講和会議に全権大使随員として参加しており、実業家代表4人のうちの1人として西園寺公望全権に随行、インドの支店長時代や中国市場の開拓に注力していた経験が相まって、今日の国際色豊かな双日の事業スタイルに起因しているのか



と、想像が止まない。

「財界の名士とはこんなもの?第3巻」(事業と人物社、大正14年発行)では、喜多氏をこう評価する。「喜多を忌憚なく評すると、キタなく働いて清く散ずるといふ。至極経済学原理に叶ふた性格を持つてゐる。それだけ彼は親分肌であり、太っ腹である」と。喜多氏に関する史料は多くなく、彼の全容を明らかにすることは困難であるが、彼の人生の軌跡と一部の史料から、彼の人間性を推し量ることは可能である。大正時代の本著では、日本財界を牽引する様々な実業家たちが登場しており、その仲間として語り継がれる喜多氏の功績は、いずれも天賦の才や生半可な努力によって成せるものではないだろう。世間に認められるまでキタなく(愚直に)努力すると評される喜多氏の商魂は、日本経済が長きにわたって列強各国に勝るとも劣らぬ勢いで成長していった理由そのものであり、部下の矢面に立つ喜多氏の壮大さを物語っている。

今日の日本経済が時流に乗って得たものは技術力、合理的な生産管理、サステナビリティなど、地球規模で必要とされるものも多い。ならば、バブル崩壊以降の失われた30年時代に突入した日本が同時に欠けているものは一体何なのか。どのような努力も惜しまない喜多氏の行動原理を考えることが、そのヒントにつながっているのではないか。

文責 坂元俊介(商学部2年)



将来のために
投信自動積立を
はじめませんか？

スマホで申込みOK! 来店不要

毎月千円から積立できる!



詳しくは
コチラ



京銀 投信積立

京都銀行

ビジネスの最前線で活躍する 先輩から後輩へ!!

「民間企業に務める卒業生と現役学生との交流会」を2022年11月26日(土)、対面、リモート併用で開催しました=写真=。対面は3年ぶりのこと。卒業生17人(リモート3人を含む)が久々にキャンパスに戻り、市・府・公大の40人を超える学生と熱心に本音のトークを繰り広げてくれました。



6、7人の小グループに分かれて3セッション行ったあとはフリーに交流会。社会人としての基本姿勢から進路の決定、企業訪問、面接時の心構え、失敗やハプニング、職場環境やコロナ禍での変化等々、先輩後輩ならではのフランクな関係もあって、大いに盛り上がりました。リモート併用によりインドやシンガポールからの参加もあり、海外勤務に関心を強めた学生も多かったようです。学生の皆さんにはこれを機会にビジネス業界への関心を深め、広い舞台で大いに羽ばたいてほしいと願っています。

参加学生からは「企業のイベントでは得られない情報を聞くことができた」「春秋年2回開催してほしい」「アットホームな感じで質問しやすくいろいろな話が聞けた」「理系の人にもっと参加してほしい」「他の学生の質問の仕方や内容も勉強になった」「来年も楽しみにしています」などの声が聞かれました。

参加した卒業生からは「やはり対面が一番。会社説明会では聞きにくい質問に先輩が本音で答える機会になっていたらうれしい」「あっという間に時間が過ぎた。他の企業の方と同じグループで交流する機会にもなり、新鮮だった」「初心に戻り自分を見つめ直す機会になった」といった感想が寄せられ、双方にいい機会になったかと思えます。

今後も、反省も活かしつつ、一層役に立つ交流会にしていきたいと思えます。

【卒業生の勤務先】

■対面:三菱商事、オービック、NTT東日本、NTT西日本、東京海上日動火災保険、住友倉庫、フコク生命保険、農林中央金庫、近鉄GHD、阪急阪神不動産、南海電鉄、東洋紡、三菱UFJ銀行、タカラベルモント ■リモート:NTTデータ(インド)、パナソニック(東京)、IHI(シンガポール)

(文責:校友会 北村吉文)

第12回ビジネス交流会開催!

コロナ禍で中断していた対面での交流会でしたが、1月28日、3年ぶりに大阪公立大学文化交流センター(大阪市北区梅田、大阪駅前第2ビル6階)でリモートを併用しての開催となりました(前回は昨年1月にリモートのみで開催)。

会場には約35人、リモートで6人、現役の大学院生から70代半ばまで、府大、市大、大阪女子大の同窓生が集まり、とても賑やかなイベントになりました。

今回は新大学スタート後初の会でもあり、第一部では講師に辰巳砂昌弘学長をお招きし、1時間半、たっぷり話を聞くことができました=写真=。ご自身の理系を目指した動機や大学生活のこと、大学院に進みその後の40年以上にわたる研究者としての生活や全固体電池をはじめとする専門研究分野のことなど、研究者としての素顔がふんだんに感じられる興味深い話の数々でした。

講演の後半は大阪という地に根差しつつ世界を視野に入れた新大学の将来像、2030年を見据えたビジョン、森之宮を本部とする大学キャンパスの具体的なイメージ



など、加えて、同窓会に期待することも熱く語っていただきました。

第二部はグループに分かれての交流会で、今回は「人生に大きな影響を与えた瞬間(絵にして)」と「死ぬまでにしたい100のこと」がテーマ。思いもよらないテーマで参加者には戸惑いがあったようですが普段使わない脳の一部分が活性化され、仲間と交流できる絶好の機会になったと思います。リモート組も一つのグループとして画面を通して活発なやりとりができました=写真=。



コロナ前は恒例になっていた交流会後の懇親会は今回は取りやめにしましたが、次回は行う予定です。この会は年2回開催を目指しています。工夫を凝らしより面白い企画を考えますので、会員の方々の参加をお待ちします。

(文責:校友会・北村吉文)

大阪医史蹟巡り

⑨ コロナは第8波で終わるのか。

前号からコロナ感染症の変遷について執筆を始めましたが、時時刻刻と様変わりするため止められなくなりました。すっかり嵐が去るまで出来る限り解説を続けます。これも当地における「医の歴史」の一環としてお読みください。

今回のコロナ感染は2023年1月現在の第8波で3年目を迎え、日々の感染者数が25万とピークを迎えつつある。(図1) 我が国におけるコロナに因る死者の累計は66,358人(1月25日現在)、入院中の重傷者は圧倒的に75歳以上の高齢者に多く588,806人(同日)。因みに統計可能な国の中で米国が死者数一位で既に130万人超え、我が国は最小のシンガポールに次いで最下位に近い。

今回のコロナウイルスは季節性インフルエンザと違って3年以内に8回も変異を繰り返し、第4波のアルファ株、第5波デルタ株以後第6波オミクロン(ギリシャ語のO)株に変わってからは肺炎などへの重症度が減る一方、BA-1やBA-2、更にBA-4、BA-5ときて、第7波でBQ-1とBQ-1-1、第8波ではBA-2-75やXBB(1-5型が米国で急増中)といった複雑な変異を繰り返す。治療薬は従来の抗ウイルス薬の中から3種(後述)が認可されているが、いずれも根治的ではない。

唯一コロナワクチン(前号記載)が今のところ防御の決め手だが、最近変異株の中にヒトの免疫を弱めるタイプがあるとの報告あり。

コロナ感染に対処する現状と考えかた・治療法などについて、嘉糠洋陸(慈恵医大・国立PCRセンター長)・忽那賢志(国立国際医療センター・感染症学)・宮沢孝幸(京都大ウイルス研究所・動物学)の三氏の対談から検証をしてみよう。

■「ウイルスの多くは病原体だ」という先入感は改める必要あり。平素ヒトの身体に入って病気を起こさないウイルスが野生動物の蝙蝠・鳥・サル・飼育ブタ・時にはペットなどを経て突然牙をむく(コロナに限らない)のであって、普段からこれら宿主動物に目を向けること、反面ヒトにとって有用なレトロウイルスなどがなぜ進化を重ねたり、胎盤の作用に巧く影響するのかなどの解明が必要です。特定のウイルスばかりを追い求めてはいけません。それには医学部のほか獣医学部、理学部、農学部、薬学部の連携が要ります。(宮沢)

■ 臨床の医師たちも特定の科だけでコロナを捉えきれません。パンデミックには感染症科と呼吸器内科だけでなく、循環器内科が心筋障害を神経科が神経症状を、産婦人科小児科など始めからチームを組んで対応すべきです。ECMOなどの装置には医工学士が関わるといった具合です。(宮沢)

■ 2003年日本に襲来しかけたSARSや2009年の新型インフルエンザ、2014年のデング熱のウイルスは防御陣が万全の態勢だったにも拘わらず、なぜか数週後急速に減衰して参考になるデータを遺しませんでした。この事実からコロナを含むウイルスの蔓延は、気まぐれに過ぎ去ったり、ロングスパンでの「流行り廃り」があるようです。(嘉糠)

■ コロナウイルスの感染後の症状を経て回復した健康な若いヒトの血漿を採血し、中和抗体活性値の高いヒトの分70人分を保存しています。女性より男性、重症度またはPCR値が高かったヒトほど抗体値が高い傾向にあり2~3か月で抗体値は下がります。これを治療に用いるべく臨床実験が始まっています。(忽那)

■ 重症化したヒトの方が抗体価が高いということは、抗体ができすぎの方が重症化することであって、事実上コロナウイルスの毒性に拠る直接障害なのか、それとも免疫系に拠る間接障害なのか、いわば暴走なのかどうかがよく解らない。(宮沢)

■ 感染後のコロナウイルスの体内での状況は千差万別で、集団でヒトの細胞を破壊してサッサと次の個体へ移る(写真①)といった単純なものばかりでなく、長い時は数か月間体内で消えない症例もある。COVID-19の大きな特徴の一つで、治癒までの入院が長引く原因です。(嘉糠)

■ COVID-19患者の治療過程で最も危険かつ致死率が高い症状はサイトカインストームであります。ウイルスの毒素または薬剤の副作用などにより、炎症性のcytokine(分子量の小さい糖蛋白質で細胞間情報伝達物質)が大量に放出され、多くは呼吸器組織の浮腫で呼吸逼迫、以後多臓器不全で死に至るのですが、此処でただ一つデキサメタゾンの投与で劇的に病的ウイルスが減って救命に至ります(全例というわけではない)。そもそもステロイド系薬は免疫を抑制する薬のはずなのに此処でも矛盾があり、この場合本来の免疫機構は一体何をしていたのか不思議です。(嘉糠)

■ 日本での感染症の蔓延と行政機能との関係は、此処数十年間日本は米国のCDC(Center for Disease Control and Prevention)が世界の司令塔でここを手本にし続けていた。ところが今回のCOVID-19の米国上陸によって2022年11月現在107万5千人(日本は2023年1月で6万6千人)の死者を出した国をモデルにできなくなりました。早急に我が国独自の中立で科学的な感染症対策センターを立ち上げる必要があります。(嘉糠)

■ 第8波のコロナと従来型のインフルエンザの襲来とが重なったときどうするかについて。「重症化のリスクが倍増する」という英国の論文が問題となった。日本政府はこの場合同時に両者のワクチンを施注してよいと明言している。ただし混注せず両腕に各々行うこと。

■ 2023年1月現在承認済の治療薬は以下の3種でいずれも内服薬。重症には向かず感染初期の軽症または中等症が対象

ラゲブリオ

米国メルク社／2021年12月承認／1日2回、5日間
*大きなカプセルで飲みにくい

パキロビッドパック

米国ファイザー社／2022年2月承認／1日2回、5日間
併用できない薬40種

ゾコーバ

日本塩野義製薬／2022年11月承認／1日1回、5日間
併用できない薬36種

■ ワクチンについては2023年1月現在、メッセンジャーRNAそのものの抗オミクロン株タイプを3～5回接種中で、すべてが米国ファイザー社と米国モデルナ社からの輸入品。

■ 現在のコロナ患者の症状の特徴は、全般的に病勢が減衰しつつあって若い人たちなどではいつの間にか罹って、自然に治ってしまう例が見られる。その一方高齢者の死者が毎日20人前後発表され続けている。従来型のインフルエンザの反復の仕方(波の形)と明らかに違いがあって今後第9波が来ない保証はない。

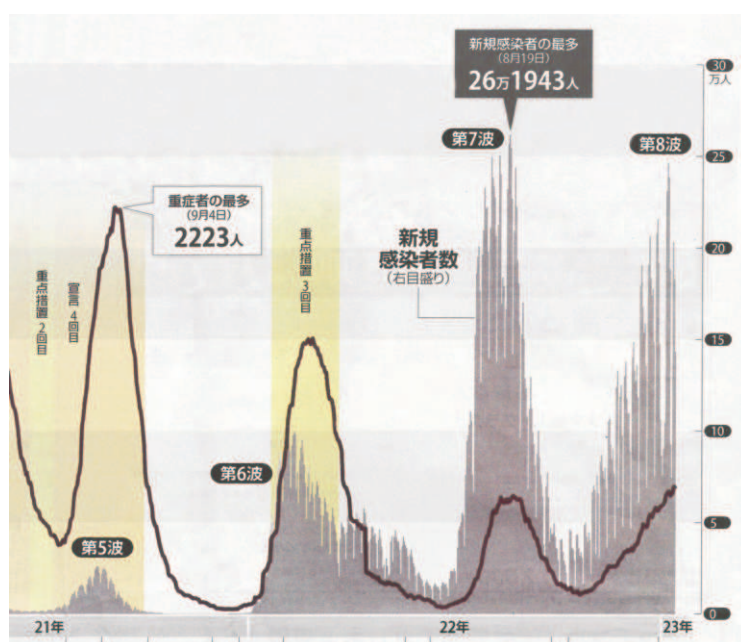
■ 後遺症については初期にあった味覚と嗅覚の麻痺が殆ど訴えられず、有ってもごく軽い。

頭痛や吐き気、倦怠感、筋肉痛などはほぼ同じように続き、咽喉部痛や咳も2～3週続くことがある。症状治癒と思われる2週間後にもなって、一分間120にもなる頻脈が突然襲いびっくりして訪医する人が時々あって本人はコロナ感染とは別だと思っている。

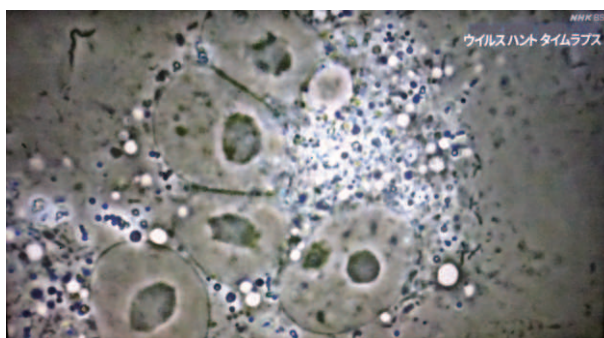
■ 政府は5月8日にコロナ罹患者の待遇を2類から5類、即ち季節性インフルエンザと同じ扱いに切り替える旨を表明した。コロナウイルスそのものが減弱するわけではない。

隔離が解かれる医療の中で特に高齢者の注意力の緩みが春とともにやってくる。

田中祐尾(医昭44卒)



【図1】令和5年1月21日読売新聞朝刊より



【写真①】ヒトの健常組織細胞集団(細胞が五つ見える)に白く光る細胞内に密集したコロナウイルス(見えない)の集団がヒトの細胞を分解死滅させている光学顕微鏡動態写真(阪大微研)

座談会「新しい時代の同窓会像を探る」

(2022年12月3日・於:有恒会事務局)

人と人の繋がりやリアルな交流が希薄化する中、同窓生同士の交流と母校・在学生への支援を目的とする同窓会活動への参加者も高齢化もあって減少の一途をたどっています。130年の歴史を誇る有恒会もその例外ではありません。そこで今後魅力ある同窓会を創造していくために、幅広く意見を集約し大胆な改革への着手を目指し、若手の同窓生、現役生ら6人に集まっていただき「新しい時代の同窓会像を探る」をテーマに座談会を開催、「現役生も卒業生にも役立つ活動を展開し情報発信力の強化」を求める意見が相次ぎました。

出席者:(順不同、敬称略)

- ・下中隆嗣(法平22卒)=有恒会委員
- ・井澤裕仁(法平23卒)=産経新聞社大阪本社
- ・兪 靖涵(商平20卒)=有恒会運営委員
- ・堀之内卓(経平10卒)=社会保険労務士
- ・渡邊雅子(院令4修)=大阪府立大学卒業生・Hijicho
- ・大川矢真人(法2)=Hijicho

現在の同窓会活動について率直な意見をお聞かせください。



下中 私自身の現在の活動は、同窓会のイベントに参加する程度で、全体が掴んでいるわけではないのですが、動きが硬直化しているのではないかと思います。本当に若者が同窓会離れしているの

かも不明であるように思われます。

井澤 率直に言えば縁遠いという印象です。私は2、3年前から同窓会に関わり始めたばかりで、まだどういった活動しているのか明確には理解していません。特に現役生の時は何をしているのか分からなかったですね。活動のきっかけは、有恒会の方に声をかけていただいたことからで、それがなかったなら今も同窓会に関わっていなかったと思います。

兪 私は卒業後に上海で働きました。そこで母校との繋がりを持ちたいと思い、この有恒会に参加しました。現役生の時は留学生だったこともあり、有恒会の存在は知りませんでした。現在はビジネス交流会や事務局の手伝いなどをするようになり、今は同窓会の活動を現役生に伝えることが多く、とても素晴らしいと思います。しかし、同窓会の発信力が弱くインスタグラムなどの媒体を積極的に利用していくのが良いのではないかと思いますね。また、実際に現役生への直接の声掛けをすることも効果的であると思います。

堀之内 私はあまりイベントには参加していませんが、アイセックの繋がりや、今回の会議にも参加させてもらっています。率直に、同窓会での“交流”が弱いように感じますね。サークルのOB会などと連携することで、少なくともそのサークルの卒業生の所在は分かりますし、そこから多様なアプローチも生まれてくるのかなと思います。



渡邊 現役生の立場から言いますと、あまりどういった活動をしているのかピンと来ないです。卒業生だけでなく、現役生にも情報を発信してほしいと思います。

大川 同窓会自体の存在を知らないという学生が非常に多いように思います。有恒会と現役生との関わりが希薄であるように感じます。僕自身、新聞部に入っていなければ、おそらく有恒会と関わることもなく、その存在も知らなかったと思います。

時代に即した情報発信強化を 現役生と卒業生の交流拠点に

同窓会の役割・目的は、また同窓会に何を期待し、何を求めるのかをお聞かせ下さい。

下中 同窓会の役割・目的は、同窓生同士の交流と母校・現役生への支援の二本柱と思いますが、さらにそれに加え、今の生活に潤いを与えられるかどうかだと思います。卒業生が何かメリットを感じないと、会員は増えないように思います。忙しい若い人を惹きつけるだけの魅力が必要であると思います。例えば、育児で忙しい人に育児のためになるイベントを開くなどのほか、これまで縁のなかった地に移った時に、知り合いがいる場所があると凄く助かりますし、そういう同窓会が全国各地にあれば良いと思います。



井澤 同窓会の概ねの役割は、やはり“交流”であると思います。そこに一つ付け加えるのであれば、現役生と卒業生の橋渡しという役割であると思います。卒業生には社会的に成功されておられる方も

多く、そのような方との接点がほとんどないというのは問題だと感じます。同窓生同士の交流拠点と、現役生と卒業生との交流拠点となるのが大事な役割です。ビジネス交流会に参加していますが、そこでは自分自身も良い影響を受けますし、そういった場で現役生をサポートしたいという方は他にも沢山いらっしゃると思います。そういった方々へのアプローチが現状を変える一手になるのではないのでしょうか。



兪 同窓会の目的や役割は、現役生にとっては、彼らの価値観の形成に役立つことだと思います。そして卒業生に対しては、有意義な情報の提供であると思います。しかし、本人自身が求めるという姿勢

や熱意も大切ですし、1から10まで全部同窓会がする必要はないと思います。人生の先達が、“道”を教えてあげることが大事であると思います。

堀之内 やはり、“交流”が大事だと思います。特に、現役生は自身の夢や目標などがあると思いますが、その目標などを決めることの基礎となる情報は、非常に限られた範囲の狭い情報だと思います。そこで、実際に社会に出て活躍している人がリアルな生の情報を提供することで、学生たちの視野も広がります。また、同窓会を招集する際は、どういった人が参加するのか分かるようにすればよいと思います。例えば、高校や中学の同窓会のように、卒業10周年の集まりといった具合に。ここに行ったら、誰かに会えるというのが必要であると感じますね。

渡邊 卒業生と現役生との交流の場をもっと増やしてほしいです。私の興味のある分野で活躍されておられる方も多くいらっしゃると思うので、そういった方々と話せるような、気軽に参加できる茶話会などを開いていただけたらいいです。



大川 昨年の有恒会総会の後に開催された茶話会では、社会経験が豊かな卒業生の方々と会話させてもらい、本当にいい刺激をいただきました。私はグローバル経営論という講義を受講しているのですが、毎回別の経営者の方が来てくださり、社会での自身の経験談、ひいては自身の人生について語ってくださり好評です。その方々と、学生のニーズが講演会という形で噛み合うのではないかと思います。その講演会の後に、茶話会などを行うと良いのではないのでしょうか。こういう形で現役生の時から参加していたならば、卒業後もスムーズに同窓会に参加できると思います。

どのよう活動があれば、同窓会に参加したいのか具体的に聞かせ下さい。

義務でなくメリットある同窓会に 相互発信のオープンチャットを

どのよう活動があれば、同窓会に参加したいのか具体的に聞かせ下さい。

下中 職業生活や家庭生活における現役世代にもメリットを感じられる企画を増やしていくことが、一番大事であると思います。そのためにも、まずは様々な意見を聞くことが必要です。

井澤 まずは、情報発信の強化が必要であると思います。インスタグラムであったり、それこそ学生は全員が学籍番号から始まるメールアドレスを持っているのですから、卒業の際に個人のメールアドレスを登録するという作業を自身でし

て貰えば、実質的に本人の了解を得た、かなり多数の個人情報が集まるのではないのでしょうか。そして、その人たちが集まる機会を同窓会が作ることで、同じ経験を持つ同窓生として、彼らの間に一種の連帯感が生まれると思います。そういう場の提供こそが同窓会の役割になるでしょう。また、若手の方が実は年上の方と話す場を望んでいるデータもあり、私の周りでもそういうふうに感じます。その呼びかけを同窓会がやるべきで、その時大事であるのは、義務感や責任感を感じさせないということだと思います。

兪 有恒会の中で、サークルのようなものを作るというのはどうでしょうか。まずは、今あるサークルなどの支援を行うと良いと思います。共通の趣味を持った人たちの集まりの支援が、ひいては同窓会自体の活性化に繋がると思います。また、同窓会に参加することによる特別感を作るとよいと思います。



堀之内 学生の現在のメールアドレスを将来も使えるように交渉するなどの必要があると思います。メールアドレスなどを作ったり、変更したりするのは面倒であるため、学生の時に使ってるメールアドレスが将来も使えるのであれば、ほとんどの人が使い続けるでしょう。そうすれば、大学側がずっと卒業生のメールアドレスを管理できるので、情報発信力が格段に上がるでしょう。

これは、大学側との問題になるかもしれませんが、絶対に同窓会が取り組むべき課題でしょう。

渡邊 会員になることのメリットを、積極的に発信していく必要があると思います。また、個人が気軽に集まれるために、チャット機能がついた、現役生、卒業生混合のオープンスペースを作るとよいと思います。茶話会や講演の日程などを相互発信のオープンチャットで行うと、日程の打ち合わせや、講演の内容などが充実するのではないのでしょうか。

大川 会員増を図るためにはターゲットの年齢層を絞るべきだと思います。卒業生の方々は忙しいこともあり、新たに同窓会に入会することは難しいと思います。そこでまずは、今の現役生が卒業しても同窓会活動に積極的に参加できるような形を目指すべきだと思います。

【座談会に参加して】座談会では、現在の有恒会を見つめ直す非常によい機会となったと思います。今回浮き彫りになった有恒会の課題は、情報発信力でしょう。有恒会がこれまでも様々な魅力的な活動を行ってきたことは間違いありません。これらの活動を広めるための情報発信の媒体を時代の変遷と共に変化させ、今回の座談会の内容を吟味することで、より一層の活躍が期待できるのではないのでしょうか。(大川)

司会：藤山純一(法昭51卒)
文責：大川矢真人(法2)



開学から1年を振り返って

有恒会の皆様。平素より大学運営にご協力くださり、誠にありがとうございます。
大阪公立大学が開学して1年が経ちました。多くの卒業生の方に新大学をご紹介いたしたく2022年11月5日に大阪公立大学初のホームカミングデーを開催いたしました。メイン会場を午前中は中百舌鳥キャンパス、午後は杉本キャンパスに設定したところ、「両キャンパスともに参加したい」という声に参加希望者から多く寄せられ、市大・府大卒業生が相互に交流する良い機会になったのではないかと考えております。今後も、市大・府大の卒業生が活発に交流いただけるような行事を引き続き企画してまいります。

また、新大学の基金制度として誕生した「大阪公立大学・高専基金」へ多数のご支援を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。大阪公立大学が、大阪の「知の拠点」として存在感を世界に示すための教育・研究活動に有効活用させていただきます。引き続き皆様からの力強いご支援をお願いいたします。

(広報課ステークホルダー連携推進室)

外国人若手研究者によるポスターセッションを開催

国際交流課・女性研究者支援室の共催で日本学術振興会の外国人特別研究員を中心に、日本国内外のフェローシップにより本学で研究活動をしている若手外国人研究者が企画したポスターセッションが1月26日、ツクルマにて開催されました＝写真＝。



研究分野が異なる、フランス、イタリア、ドイツ、スイス、フィンランドからの研究者が一同に会し、この場を盛り上げました。自身の研究分野を中心に、専門外の学生にもわかりやすい表現でポスターを作成し、訪れた学生や教職員に熱心に内容を説明しました。

今回のポスターセッションの発案者である、イタリア人研究者のLaura Barbieri博士(医学研究科)は、「私たちの研究に興味を持ってくれる学生や研究者にたくさん出会えてうれしかった」と語りました。

坪田誠国際交流担当副学長は冒頭の挨拶で、若手研究者の皆さんの尽力に感謝を述べ、自身も若手研究者の説明に熱心に耳を傾けました。(国際交流課)

※『有恒vol.24』でご紹介させていただいたシンガポール南洋理工大学でMBA取得を目指していた大曾拓也さんは、2022年11月に無事にMBAを取得されました。

美しい秋晴れと共に、第1回大阪公立大学ホームカミングデー開催!

大阪公立大学初のホームカミングデーが2022年11月5日、杉本キャンパスと中百舌鳥キャンパスで開催。杉本キャンパスではこの日午後2時から1号館講堂で応援団による力強い演舞披露の後、交響楽団の透明感のある繊細な演奏があり、爽やかな幕開けとなった。

その後、院生や学生が活動発表、院生による前庭ワーキングチームの才覚溢れる発表や学生による「カメイチメロンパン誕生の秘話」、「ビジネスを用いたスラム支援」、「ビジネスによる社会問題解決を目指して大阪公立大学起業部設立」というテーマの活動発表が続いた。全ての発表において、既知から未知を見出す柔軟な発想と、現実的かつ論理立てた緻密な思考力が見受けられ、本学生の未来に大いに期待を感じさせるものであった。

最後に辰巳砂昌弘学長による講演が行われた＝写真＝。



市大と府大を合併したことによるスケールメリット等の利点についての再確認の後、本大学の現状の再認識が行われ、今後の活動予定の話でホームカミングデーは締められた。

生徒の精力的な態度や、学長による本大学の展望は、第1回ということも相まって正に、「大阪公立大学の夜明け」が晴々しいものであると感じさせるものであった。

(大川矢真人:法2)

一方、中百舌鳥キャンパスでは午前10時から学術交流会館多目的ホールで開催され、「白鷺祭(大学祭)」=写真=も同時に開催されたことから多くの人でにぎわった。

応援団による演舞のほかエヴァコールによる合唱や辰巳砂学長の講演、2025大阪・関西万博に参画するプロジェクトチーム「HonaiKude」の活動報告などが披露され、来

場者には、大学オリジナルグッズのプレゼントや大学オリジナルカレーなどの販売もあった。

栗原政二(府大経昭52卒)



ビジネスアイデアコンテスト2022開催 グランプリに商学部古川寛美さん受賞



グランプリ校友会賞を受賞した古川寛美さん(左)と津戸校友会会長代行

高度人材育成推進センター主催のビジネスアイデアコンテストが2022年11月5日、中百舌鳥キャンパスで開催。従来府大の行事だったが、今年度より市大も加わり30人の応募の中、予選を経て11人が決勝に残りそれぞれ発表の後、審査を経てグランプリなどの入賞者が表彰された。

新しいビジネスのアイデアとして斬新な試みのものや、すぐに実現しそうなアイデア等、学生にとっても良い刺激のある行事となった。出席者は、辰巳砂昌弘学長、松井利之副学長、唐沢力教育後援会常務理事、津戸正広校友会会長代行ら。受賞者は次の通り(敬称略)。

グランプリ校友会賞=「ねこちゃんに教えてあげて」古川寛美(商学部)▽教育後援会賞=「モクサス」川本創大(工学部)▽有恒会賞=「1週間で3倍勉強できる個人契約家庭教師のプラットフォーム」竹森洸征(理学部)▽中百舌鳥電気クラブ賞=「テキサイテキシヨ」平井宏明(生命環境)▽オーディエンス賞=「学長薦茶」山田智子(工学部)▽レヴィ賞=「つながりからできる相互安心生活システムのデザイン」藤西訓子(看護学部)

クラブ紹介

天文部にみる 市大・府大部活合併

市大と府大が統合したことによって、部活やサークルの合併は多々見られた。その中でも、合併の影響が顕著に見られるであろう運動部について、前回は取材を行った。今回は前回とは異なり、完全に合併はせずとも市大・府大統合によって生じた影響を、文化部である天文部所属のNさんに取材した。

まず、他の文化部全般にも当てはまるが、ほとんど影響がなかったというのが率直なところだという。メリット・デメリット以前の問題の話で、市大・府大が統合したところで、学生がお互いの大学を行き来することは、ほとんどないといったことが原因と見られる。

しかし、全く接点が新たにできなかったというわけでもないようで、統合したことで、顔合わせをする機会が多少なりともできたという。まず、文化祭でのお互いのサークルの顔合わせが活発になったようだ。Nさんは府大生であるが、統合するまでは市大の天文部のメンバーはほぼ知らなかったという。また統合後は、市大生の天文部が主催してい

る一般対象の星の解説をするボランティアに、府大側の天文部も参加するといったこともあるようだ。

「統合の影響を受けていないようで、それなりに変化はありましたねえ」とNさんはしみじみとつぶやいた。

大川矢真人(法2)

遺言・相続 借家・ガレージ賃料回収・立退

大小路法律事務所

大阪弁護士会所属

弁護士 保田友久 (法平20卒)

弁護士 保田友大 (法平21卒)

事務所 〒590-0075

堺市堺区南花田口町2丁3番20号

三共堺東ビル9階

TEL 072-275-8777 FAX 072-275-8780

URL: <http://oshoji-law.main.jp/>

大学の思い出

充実の4年間

白木 稜(商学部)

人に恵まれ、たくさんの学びを得た、あつという間の4年間でした。



4年間のブランクを経て入部した準硬式野球部では、仲間と白球を追う楽しさを感じるとともに、自らに足りないものを自覚し練習に取り組むことの重要性を学びました。投手として試合を作れず悔しい思いをすることも数多くありましたが、マウンドから見た景色は脳裏に焼き付いています。

生徒の伴走者として試行錯誤した予備校でのアルバイトでは他者を思う大切さを知り、エシカル消費をテーマに学んだゼミ活動では社会や将来について思考を深めました。

成功と同じだけ、いやそれ以上に失敗も経験しましたが、それぞれの場面で友人や先輩・先生方に助けられ、乗り越えることができました。入学時少しばかりのネガティブな感情を持っていた私ですが、今では「市大に入って良かった」と心から思います。これからは市大の卒業生としての誇りと周囲への感謝を胸に、相応しい活躍ができるよう励んで参ります。

コロナ禍での学生生活

鶴村文音(経済学部)

大学生活4年間での1番大きな学びは、自分で選んで飛び込んだ機会にこそ良い縁がある、ということだったと思います。



もともとなんとなく国際交流に興味があり、入学後は国際系の学生団体に所属しました。そのことをきっかけに海外と関われる機会を積極的に探すようになり、タイや韓国に渡航するプログラムや留学生のサポート活動など学内外で様々な機会に参加しました。

英語で上手く意見が話せず笑われてしまったり決して楽しいことばかりではありませんでした。しかし、振り返ってみると参加を後悔したことは一つもなく、挑戦しようと踏み出した一歩が後から大きな力となって自分に良いものをもたらしてくれたと思います。

また学生団体やプログラムで出会った人達は尊敬できる人ばかりでした。頻繁に会えなくとも「世界のどこかでこの人が頑張ってるんだな」と思うだけで自分も頑張れる存在がいることをうれしく思います。

「コロナがなければ」と何度も思ったイレギュラーな大学生活でしたが、その中で得た経験や思い出を大切に春から新社会人として頑張りたいと思います。

市大法学部での4年間

小林なつみ(法学部)



大学生活を通して大切な人たちに出会うことができた4年間でした。法学部で出会った友人とは悩みを相談し合ったり趣味で意気投合したりと、私にとって本当にかげがえのない存在となりました。コロナ禍で制限はありましたが各地へ旅行に行くこともでき、大学生を十分満喫できたなと感じています。

また3年次の経済法ゼミでは独占禁止法という法律について深く学びました。毎回模擬裁判やディベートといった討論形式の授業だったので、人前で話すことに苦手意識があった私はゼミを通して少しずつ自分に自信を持てるようになりました。話合いや発表の機会を多く経験したことは後の就職活動における面接でも役立ちました。

ゼミ以外にも民法や行政法、商法など多様な法律を勉強し、授業での学びから将来の進路や目標を決めることもできました。振り返ってみれば市大の法学部で学べて良かったと心から思います。法学部で得た多くの知識や経験、そして周囲への感謝の気持ちを忘れずにこれから社会人として精進していきたいです。

変化を乗り越えて

赤土陽菜(文学部)

過酷だった大学受験を乗り越えて大阪市立大学に入学してから約1年経ち、大学生活にも慣れてきた矢先に、コロナの流行で生活が一変しました。特に、所属していたアカペラサークルでは長い間活動制限を強いられました。



しかし、その中でも「1年生の時に憧れたサークルライブを復活させたい」「コロナ禍で入部した後輩たちにもみんなで歌う楽しさを味わって欲しい」という思いで、ライブ復活に注力しました。そして今年度の1月には、コロナ禍以前と同形式でライブを開催し、3年ぶりにサークル員約100人での全体歌唱も披露することができました。ライブでの感染者ゼロで幕を下ろすことができ、大きな達成感を得ました。

思うようにいかず悔しい思いをすることもありましたが、サークルや学部での活動を通して、仲間と共に変化に立ち向かいながら多くの経験ができました。4年間で学んできたことを活かし、これからもさまざまなことに挑戦していきたいです。

塞翁が馬なんよ

船波寛史(理学研究科数物専攻)

振り返ってみると物理に没頭したり、逆に距離を置いてみることで新しいことに出会ったりと全体的に良い学生生活になりました。というのも基礎物理に興味があり入学しましたが、夏休み前に物理が分からなくなり、逃げるように友人に勧められた塾講師に時間を費やしていきました。教えるのは楽しくてやりがいもあり、お金は趣味の服に費やし、デザイナーに会いに行くほどのめり込んでいました。



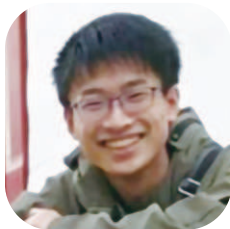
1年程経過したある日、「講師なのに自分は物理から逃げてないか」とふと思い、服ではなく専門書を買ってみました。これがきっかけで物理への興味が徐々に戻り、気付けば他学部授業にも通っていました。やる気が戻ったおかげで院生では国際会議などで発表もしました。

全部は語れないですが物理と向き合う中で他分野への興味が増え、来年からは物理学とは異なる研究分野で働くことになりました。物理から離れて今後どうなるか楽しみです。目標に向かいながらも、時には流れに身を任せ、ふとした「きっかけ」を大切にしていきたいです。

出会いに恵まれた大学生活

柳本尚紀(工学部)

1年生、期待と不安が入り交じった学科顔合わせ。新たな仲間たちとは直ぐに打ち解け合い、不安は一気に晴れた。専門的な授業、サークル、アルバイトはどれも新しい経験で、振り返ると長い1年間でした。



2、3年生は、まさに挑戦の年。「国家公務員になる」。入学前にそう心に誓った私は、コロナにより制約された期間を勉強時間に充てました。家族や友だち、先輩後輩や大学職員の方々からいただいた励ましの声やアドバイスが、最大のモチベーションとなりました。また、毎日のように通話をし、支え合い、そして笑い合った仲間たちが、周囲との直接的な交流を遮断されたことによる孤独感を打ち消してくれました。

4年生は、研究に励みつつも、久々の会食や旅行をして楽しい日々を過ごすことができました。4年間いつも支えてくれた仲間たちには、特に感謝を伝えたい。またこの春からは、国家公務員としてその職務を全うし、卒業生として相応しい活躍ができるよう精進する所存です。

人に出会い、人に恵まれた4年間

湯原歩乃美(生活科学部)



私の大学生活を彩ってくれたのは、間違いなく周りの人たちです。入学時には想像もしていなかったほど、多くの人に出会うことのできた4年間でした。サークルやアルバイトはもちろん、学生団体や地域のボランティアなど、“大学生だからこそ”挑戦できたことがたくさんありました。こうした機会を得ることができたのは、周りの人に恵まれていたからだ実感しています。



なかでも、人間福祉学科の仲間存在はとても大きなものでした。コロナ禍での実習や、就職活動、国家試験対策など大変なこともありましたが、励まし合いながら乗り越える仲間がいたことで、かけがえのない学び・思い出となりました。また、少人数教育だからこそ先生方との距離も近く、どんな時も温かく熱心なご指導で私の挑戦を後押ししてくださいました。市大の人間福祉学科で過ごせた日々は、これからの人生の糧になるものだと確信しています。周りの人への感謝の思いを胸に、次の挑戦に向かいたいと思います。

開かれた世界での経験

中島 健(現代システム科学域)

出会いに恵まれた学生生活でした。その中でも、国際ボランティア学生団体「TABLE FOR TWO」での4年間の活動は、私の大学生活の柱となったものであり、その団体の全国幹部を3年間務めた経験は私の学生生活をより濃密なものにしました。特に、当団体の活動をより良いものにするために、幹部同士で長期的に創意工夫を凝らして施策を練り出し、一心不乱に取り組んだ経験は貴重な経験でした。



他にも語学研修や農業ボランティアなどの課外活動の中で沢山の出会いがあり、貴重な経験をしました。今振り返れば、どの出会い、思い出も私を大きく成長させてくれたと感じています。

大学生活はそれまでの高校生活と比べて大きく社会に開かれています。この4年間では、その開かれた挑戦機会を存分に掴むことができたように思います。そして、その機会を与えてくれた両親、ゼミでお世話になった先生、職員の方々、友人への感謝を忘れずに、これからの人生も挑戦することを忘れずに生きていきたい。

実践的技術者を養成する高専

法人・大学統合を経て、系列校のひとつとなった「大阪公立大学工業高等専門学校(以下、「高専」)」についてご紹介します。

大阪公立大学工業高等専門学校は、大阪府寝屋川市幸町に所在しています。1963年に大阪府が設置する「大阪府立工業高等専門学校」として開校し、2011年に大阪府から公立大学法人大阪府立大学に移管され、2022年に大阪公立大学が設立したことに合わせて「大阪公立大学工業高等専門学校」と改称し、現在へと至ります。

5年間の教育課程「本科」の上に、さらに専門を深める2年間の教育課程「専攻科(学士課程)」を設置しており、学生数は約850人。本科ではエネルギー機械、プロダクトデザイン、エレクトロニクス、知能情報の4つコースがあります。産業の生産現場での中堅的役割を果たす技術者の養成を目指しており、求人企業数は例年数百社を超え、求人倍率は本科で20倍前後、専攻科は100倍前後と、企業から非常に高い期待が寄せられています。



高専正門

学生による活動も非常に活発で、NHK主催の「高専ロボコン」では4年連続で全国大会に出場しています。また最近のトピックスとしてはNHK朝ドラ「舞いあがれ!」に登場する航空学校の校門として、ロケ地にもなりました。(広報課)

博物館実習I企画展開催

とき : 令和5年1月30日(月)～2月3日(金)

ところ: 高原記念館

博物館実習Iの授業では、毎年後期に企画展を行っています。今回は、高原記念館にて開催しました。

2022年度の企画展のタイトルは「朝ドラと歩く公立大学一場所、人、そして未来へ」です。2021年秋から放映された「カムカムエヴリバディ」では、市大の前身である大阪商科大学が舞台として登場し、「舞いあがれ!」では、府大の中百舌鳥キャンパスが撮影地となっています。これらのNHK朝の連続テレビ小説を通して、2022年度に統合した両大学のつながりが感じられたことが、本企画展の背景となっています。

今回は、例年よりも大規模な企画展を開催することができました。これほど内容の充実した展示を作ることができたのは、大学史資料室やNHK大阪放送局の方々、インタビューを受けてくださった部活・サークル団体の方々、そして在学生・卒業生の皆さまなど、多くの方のご協力を賜ったおかげです。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

(博物館実習生一同)

起業部キックオフイベントASEC開催

とき : 令和5年2月11日(土・祝)

ところ: I-site難波

大阪公立大学起業部(以下、公大起業部)キックオフイベントASECをI-site難波で開催しました。公大起業部は、五代友厚基金寄付講座「国際ビジネス演習」(担当:二宮麻里商学部准教授)を受講したメンバーが中心となり、昨年に創設された大学公認の団体(部員14人)で、2023年4月から本格的に起業活動をしていきます。

ASECとはAssociation of Students Entrepreneurship Clubの頭文字で、私たちが今後作りたいと考えている各大学起業部間での交流を活発化させるための全国組織の略称です。本イベント第一部では部員によるビジネスプラン発表、ゲストの各大学等の起業部・サークルから活動紹介がありました。第二部の各起業部代表等によるパネルディスカッションでは、ASECについて議論を深め、まず関西地区でのASECを立ち上げようとの提案がありました。本イベントには関学、和大、神大、香大やユニコーン起業部(高・大学生がメンバー)のゲスト、大学関係者、OBOGの方々など約50人が参加しました。イベント終了後の懇親会では、様々な方との対話を通して多くのことを学びました。この場をお借りしまして、大学並びに同窓会の皆様にお礼申し上げます。今後ともご支援よろしくお願い致します。

起業部副部長 武田美佳(法1)



起業部メンバーによる記念写真。前列右端が筆者



注目される 留学生の活動

大阪公立大学中国留学生学友会が発足

大阪公立大学中国留学生学友会は、在学中の中国留学生たちのためにイベント活動、生活・就活支援、国際交流、社会実践を幅広く展開することを目的として、日中国交正常化50周年の2022年に新しく発足しました。



「浙江省輸出商品(大阪)交易会」の翻訳業務にも参加

生や一般の日本人友人たちとのよりよい交流環境の促進に積極的に貢献したいと思っています。コロナ時代であっても日本での快適な勉学生活の構築のために毎日前向きに進んでいます。今後ともぜひ本会の活躍にご期待ください!

学友会では日中両国の大学生同士がともに楽しめる文化交流イベントを考案し、「ちまき作り大会」や「月餅作り大会」を開催。日中両国の経済往来を感じていただくために、学友会経由でインテックス大阪にて同年9月14～16日に開催された「浙江省輸出商品(大阪)交易会」の3日間の翻訳業務に応募できるチャンスを紹介しました。

本会は学生自治により高い自由度、自発性と自主性を発揚し、だれでも気楽に参加でき、満足度の高い有意義な活動を行います。中国の留学生たちの課外活動を最大限に充実させ、大阪公立大学校内キャンパス(中百舌鳥、杉本)の日本人大学



馬 瑞辰(ま・ずいしん)

(大阪公立大学中国留学生学友会会長・工学域機械系学類4年)

阪南地区中国留学生元旦のつどい開催

中国では2023年1月21日に新年を迎えましたが、大阪公立大学中国留学生学友会は1カ月前倒して2022年12月23日、「阪南地区中国留学生元旦のつどい」をサンスクエア堺(堺市)で開催しました＝写真＝。

この元旦のつどいは、大阪産業大学、近畿大学、和歌山大学、桃山学院大学の中国留学生と共同で開いたもので、現役留学生120人以上が参加、中国留学生を支援する日中友好協会、企業の代表など計20人以上が来賓として臨席されました。

上村修三(商昭53卒)



関西地区留学生体育祭バスケットボール大会開催

留生活活動の一環として関西地区留学生体育祭のバスケットボール大会が2022年12月24日、大阪青山短期大学体育館(大阪府箕面市)で開催され、大阪大学、京都大学、関西大学、近畿大学、立命館大学、桃山学院大学など17校が参戦し、大阪公立大学は杉本チームと中百舌鳥チームが参加しました＝写真＝。

学部を跨(また)いだチーム形成は留学生間の交流を活発させ、チーム内練習や他校との交流試合を通してチームワークを高めていくことによってメンバー間の交流を深めることもできました。

大会では桃山学院大学が優勝し、大阪公立大学チームは練習不足もあり、入賞を果たすことができませんでしたが、これからもバスケットボールチームが継続して行けるように持続可能な体制を整え、新生大阪公立大学と一緒に

成長していけるようサポートしていきたいと思っています。

俞 靖涵(商平20卒)



留学生就活講座を初開催

大阪公立大学公認団体「アジア経済経営研究会」は1月14日、大阪公立大学文化交流センターホールで留学生のための就活講座を開催した。初めての試みで「大阪公立大学中国留学生会」も協力して、杉本および中百舌鳥キャンパスの留学生・院生と日本人・留学生OBOG55人が参加した＝写真＝。

開催にあたって、主催者を代表して同研究会顧問の王東明・大阪公立大学商学部経営学研究科准教授より挨拶があり、川上陽・同大学非常勤講師が基調講演。矢崎グループの祖父江大輔人材開発部長と株式会社サンパークの



惣宇利紀男・大阪市立大学名誉教授及び宮本良成・大阪市立大学名誉教授が瑞宝中綬章を受章

令和4年秋の叙勲受章者の発表が2022年11月3日であり、いずれも大阪市立大学名誉教授の惣宇利紀男(そうりのりお)氏と宮本良成(みやもと・よしなり)氏のお二人が、長年にわたる教育研究への多大なる功労が認められ瑞宝中綬章を受章されました。

惣宇利氏は1967年4月、大阪市立大学大学院経済研究科博士課程に入学され、77年4月大阪市立大学助教授、89年4月には教授となり2000年4月から02年3月まで副学長を務められました。07年3月に定年退職、4月に名誉教授

に就任されています。宮本(よしもと)正樹取締役から企業紹介があった後、「未来を切り開くキャリアプラン」をテーマに大野長八・大阪市産業局IAG審査委員が解説、質疑応答では「就活に準備すること」「会社選びの基準」「面接の心得」「ブラック企業の見分け方」「大手とベンチャー企業、どちらを選ぶか」など、活発な議論が行われた。

アジア経済経営研究会は、2013年に創造都市研究科アジアビジネス研究分野の現役生・OBOG中心で発足し、夏セミナー合宿、フィリピンや香港などの海外WS、町工場見学(大阪市生野区)などを開催してきた。2019年以来、コロナ禍の影響を受けて活動休止を余儀なくされていたが、「全学の留学生・日本人学生・院生とOBOGがアジアのビジネスを研究、討論する場」として昨年8月に再スタートした。留学生・院生とOBOGとの就活交流は初めての開催、今後も日本人学生・院生・研究者も含めたWS実施やアジアのビジネス研究を中心に活動する予定だ。

安藤根八・大阪公立大学
アジア経済経営研究会会長

に就任されています。

宮本氏も同じく1967年4月に大阪市立大学大学院経済研究科博士課程に入学され、75年4月大阪市立大学助教授、89年4月に教授に就任。2000年4月から02年3月まで教務部長を務め07年3月定年退職、4月に名誉教授に就任されました。

お二人の受章を皆さんでお祝いするとともに、今後のご健勝をお祈りいたします。

世瀬義久(経昭53卒)



山口法律会計事務所

所長 弁護士 **山口 健一**
(法学部 昭和49年卒)

事務所 〒530-0047
大阪市北区西天満 1丁目7番20号
JIN・ORIXビル6階
TEL. 06-6361-3234 FAX.06-6361-0096
E-mail office@yamaguchi-law.jp
URL : <https://yamaguchi-law.jp/>

物流を通じて豊かな明日に挑戦

 **株式会社 杉村 倉庫**

杉村グループ: 杉村運輸株式会社
杉村興産株式会社

本 社 : 〒552-0013 大阪市港区福崎1丁目1番57号
Tel. 06-6571-1221 Fax 06-6574-8595
東京事務所: 〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目2番10号
Tel. 03-3272-2441 Fax 03-3272-2446
営 業 所 : 関西圏 4営業所、首都圏 4営業所
ホームページ: <http://www.sugimura-wh.co.jp/>

同窓会ニュース



理学部同窓会総会を開催

大阪市立大学理学部同窓会・大阪公立大学理学部同窓会総会が、2022年11月5日に田中記念館3階同窓会交流室において開催された＝写真＝。コロナの関係もあり、出席者は8人と少なかったが、マスク着用とフェイスガードで感染防止対策をして対面で行われ、同窓会活動活性化に向けての新しい事業について検討された。

最初に畑徹会長より、開会の辞、会長挨拶と合わせて現状報告等があり、三田村宗樹副会長より2021年度会計報告の説明を受けて承認をされた。また、2022年度の予算案についても、説明を受けて承認された。

2022年度の主な活動は以下を予定している。

- ・大阪市立大学史編集への協力
- ・全学同窓会報への援助
- ・理学研究科・理学部への援助
- ・同窓会活動活性化への新規事業

「5人以上の集まり、会食等が行われた場合、年1回、5人当たり1万円の補助を行う。補助を受ける場合には、ホームページ掲載用の原稿と集合写真、領収書を理学部同窓会に提出するものとする(補助上限枠50万円)。ただし、卒業旅行等は当面对象外とする」。

なお、詳細は以下の理学部同窓会のホームページを参照ください。



[報告] R3.11.05 (土) 大阪市立大学理学部同窓会・大阪公立大学理学部同窓会総会を開催 | 大阪市立大学全学部同窓会 (osaka-cu.net) 曾我部 健(理昭45卒)

理学部同窓会の新しい取り組みについて

私は昨年より大阪市立大学理学部同窓会および大阪公立大学理学部同窓会の会長に就任いたしております。

理学部同窓会はこれまで主に会員への情報提供、大学行事への援助、大学への寄付等の活動を行ってまいりましたが、残念ながら理学部同窓会誌を発行するだけの力量もありませんでした。ただ、大阪公立大学の設立に伴い、学生数が倍近く増えたこと、会費の納入率も上がったこともあり、新しい取り組みを始めます。

そこで、会費の学生、院生及び卒業生への還元を積極的に行う方向で2つの新たな事業を開始することを2022年11月5日の同窓会総会で決定しました(ホームページの総会報告を参照してください)。

一つは、理学部、大学院理学研究科の半公式的であるにもかかわらず、校費支出が困難な行事、例えば新入生歓迎会、歓送会への援助、また、学生、院生の各種表彰などへの援助を積極的に行うこととしました。

現在、理学部長・理学研究科長に援助項目のリストアップをしていただき検討に入りました。ただ、この活動は大阪公立大学への入学生対象ですのですぐの実施とはなりません。数年もたてばそこそこの規模で実施できると考えています。

もう一つは、卒業生の集まりへの援助です。ただ、この原

資は当面、大阪市立大学理学部同窓会の積立金から支出しますので大阪市立大学の卒業生限定です。4年後、大阪公立大学としての卒業生が出る段階では、大阪公立大学理学部同窓会費も原資としますので、これまでの大阪府立大学理学部および理学系の卒業生も対象となります。

具体的には、5人以上の卒業生等の集まりに対し5人当たり1万円の補助を行うものです。すでに、毎年あるいは数年毎、さらには何十年ぶりの集まりが行われていることはよく耳にするのですが、これを同窓会として共有するためにホームページへの掲載を条件に補助することとしました。補助の申請方法はホームページに掲載されていますので、積極的に活用してください。

卒業生のこうした活動が理学部のさらなる発展につながるものになると信じています。また、卒業生からの積極的な提案も期待できると考えています。会誌を発行しない代わりに、これらの活動掲載によりホームページがますます充実していくのではないかと考えていますので積極的に活用していただければと考えています。

畑 徹(理博昭57修)

知と心のリレー



可能性を狭める無意識の偏見: Unconscious Bias

鍋島美奈子

(1999年3月、生活科学研究科後期博士課程修了)

私は1990年に大阪市立大学生活科学部生活環境学科に入学したあと、1994年に大学院生活科学研究科に進学しました。卒業研究以降は永村一雄教授に師事し、住環境・設備分野において研究活動に没頭し、5年間で博士号を取得しました。その後、1999年より大阪市立大学工学部環境都市工学科の助手として働き始め、講師、准教授を経て2019年に現職の工学研究科教授になりました。

現在は都市の熱環境やエネルギー需給システムに関する教育・研究、社会貢献などの業務に従事しています。また、大学の女性研究者支援室杉本センター長として、女性研究者や大学院生のサポートにも携わっています。本稿では、最近テレビや新聞でもよく耳にする「無意識の偏見:アンコンシャス バイアス」について、私自身の経験を交えて解説します。

高校生の頃、建築家になりたいと選んだ学科でしたが、学部4回生の時に研究の面白さを知って、アカデミアの世界をめざすことにしました。大学院前期博士課程から後期博士課程に進学を決めた理由は、実験、データ分析、統計解析、プログラミングなどの研究生活が楽しく自分にあっていると感じ、大学や企業の研究所で働く研究者になりたいと思ったからです。

好きな研究でお給料を貰えるなんて、なんと素晴らしい

い職業なんだろう、そんなやや甘い不純な動機でした。研究者になるためには博士号の取得が必須ですが、博士号を持っているからといって大学や研究所の研究者にはなれるという保証はありません。しかし、生来楽天的な性格なので、研究者としてのスキルさえしっかり身に付けていれば、就職は何とかなるだろうと思っていました。

当時、周りの人からもらったアドバイスの中で一番印象に残っているのは「高学歴女子になると結婚相手を見つけるのに苦労する」という親切でおせっかいなアドバイスです。今振り返れば、大いなる偏見ですが、当時は女性研究者が普通に家庭を持って、仕事と家庭を両立させることができないのか、とたじろぎました。実際にこれが当時の一般的な認識だったかもしれませんが、このようなある種の偏見に惑わされて、博士号取得をあきらめていたら、今のキャリアパスはなかったと考えると、無意識の偏見は人の将来の可能性を狭めてしまう極めて危険な考え方だと言えます。

「無意識の偏見(Unconscious Bias)」は2000年前後から着目されてきた比較的新しい概念です。誰もが潜在的に持っているバイアス(偏見)のことであり、育つ過程で知らず知らずのうちに脳にきざみこまれ、固定観念となっています。無意識の偏見は自覚できないので自制することが難しく、特に、採用や昇進人事の判断に影響することがあるので注意が必要です。「無意識の偏見」がいつ、どこで、どのように現われるかを知ることで、「評価や判断」に際してその影響を最小限に抑えることが可能です。

今後も微力ながら、個々の可能性を狭めることのない、多様な生き方が尊重される社会の実現に貢献したいと考えています。

女性部会(WPC)ニュース 令和4年度総会と第10回交流会 (オンライン)を開催

大阪市立大の全学同窓会女性部会(WPC)は、2022年11月27日、総会と懇親会をZoomによるリモートで実施しました=写真=。世話人を中心に9人が参加、23年春に予定している交流会の内容や会員拡大の施策などについて熱心な意見交換が続きました。

最初に、北村佐津木代表から、22年度の活動や決算、23年度の活動予定などが報告され承認されました。22年は交流会2回、世話人会7回といずれもリモートでしたが、情報交換を重ねました。また、大阪府立大学

校友会とも意見交換、公立大学の統合の状況を踏まえたWPCの方針についても改めて確認しました。

交流会では、自己紹介と近況報告のあと、コロナ禍でしばらく休止せざるを得なかった懇親活動の再開に向け、活発に討議。世話人会では、経験豊かな卒業生が集うことで、さらにお互いの仕事やプライベートを充実させられるWPCでありたいと考え、ワイナリーの見学や和菓子作り、新聞社見学など多様な企画を検討、今後、詳細を詰める方向です。

また、課題となっています若い世代の参加についても、予定時間を超えて議論。若手、子育て世代などの参加を促すために、SNSなどの情報発



信ツールをいかに効果的に使うかなどについても様々な意見が出ました。

大学統合により、卒業生は出身大学について、改めて考えることが増えたと思います。WPCは、大阪公立大の女性在校生の支援も視野に、幅広い世代を対象に気軽に楽しい活動を心がけています。参加を検討される方は、いつでもwpc@osaka-cu.netまでご連絡ください。

女性部会(WPC)世話人会

大阪公立大学生生活科学部同窓会発足!

2022年7月9日(土)に大阪公立大学生生活科学部同窓会設立総会が開催されました。生活科学部、大阪公立大学校友会より来賓のご臨席を賜り、大阪公立大学生への同窓会活動を開始しました。今後は大阪市立大学生生活科学部同窓会と大阪公立大学生生活科学部同窓会が並走します。これまでの同窓会活動を引き継ぎながら、大学、校友会と連携しつつ新たな活動を進める予定です。

同窓会が後援する活動として2022年度「第18回居住環境デザインフォーラム」が9月10日(土)に開催されました。大学院生が中心になって企画・運営するイベントで、居住環境学を学ぶ学生による学習成果の発表と専門家の講演に触れる場となっています。建築家の島田陽氏の記念講演と22人の設計作品のプレゼンテーションが行われ、参加者はオンラインで105人、現地に52人でした。今年のテーマは「100年先の暮らし」で、先の見えない社会状況の中、居住環境学を学ぶ学生にとっての未来を考える機会となりました。

生活科学部同窓会は引き続きこのような活動を後援して参ります。

生活科学部同窓会副会長 篠田美紀(生昭61卒)

「第18回居住環境デザインフォーラム」開催報告

2022年9月10日に18回目の居住環境デザインフォーラムを開催しました。生活科学研究科の大学院生が中心になって企画・運営するイベントで、居住環境学を学ぶ学生による学習成果の発表と専門家の講演に触れる場となっています。今年のテーマは「100年先の暮らし」で、先の見えない社会状況の中、居住環境学を学ぶ学生にとっての



学生の課題作品プレゼンテーション



居住環境学を学ぶ学生による学習成果の発表

未来を考える機会となりました。

記念講演では、建築家の島田陽さんに話しいただき、自身の住宅作品について、距離という切り口で解説していただきました。初心者には高度な内容の部分もありましたが、学生からは「めっちゃ面白い建築空間」などのコメントがありました。設計作品の発表では、22人の学生が、課題作品のプレゼンテーションを行い、下級生からは「先輩方のアイデアは素晴らしく、これからの課題のイメージが膨らんだ」などのコメントが届きました。終わりには、優秀な発表をした学生の表彰を行いました。同窓会からの支援により、副賞は講演者の島田陽さんのサイン入り作品集です。

今年のデザインフォーラムは、オンラインと対面の併用で実施し、久しぶりの対面開催を実現できたことに安堵の声があがりました。参加者は、オンラインで105人、現地に52人でした。オンラインのため、建築関係の社会人や他大学の学生の参加も多く、近畿以外のエリアや海外からの視聴、高校生や保護者の参加がありました。

生活科学部居住環境学教授 小池志保子

「第18回居住環境デザインフォーラム」開催概要
テーマ「100年先の暮らし」

記念講演●島田陽氏「距離の設計」

設計製図課題+卒業設計などの発表と講評+記念講演会

日時●2022年9月10日(土) 13:00-18:00

場所●大阪公立大学杉本キャンパス学術情報総合センター
(大阪市住吉区)

オンライン●Zoomウェビナーでも同時配信
会費●無料

主催：大阪市立大学大学院 生活科学研究科

後援：大阪市立大学生生活科学部同窓会



建築家の島田陽さんの記念講演



22人の学生が、課題作品のプレゼンテーションを行った



芽吹く! 結婚願望いろいろ

一般社団法人 大阪女子大学同窓会 斐文会結婚相談室

◆ 結婚できない? したくない? したくなった!

令和の現在、結婚や家庭の姿は変化・多様化しています。「令和4年版男女共同参画白書」によると、2020年の30歳時点での未婚割合は、女性40.5%、男性50.4%とのこと。また、50歳時点で配偶者のいない人の割合は、男女ともに約3割です。その理由はさまざまですが、「結婚できない人」のみならず、「結婚したくない人」が増えています。

しかしながら、同居以外の親・兄弟姉妹に会えないコロナ禍が続いた昨今、同じ屋根の下で絆を深められる相手を求めて「結婚しなくなった人」が増えたようです。「斐文会結婚相談室」でも入会者やお見合い・カップル誕生が増えつつあるのは、嬉しい傾向です。

◆ お世話になって幸せに! 当結婚相談室メンバーも!

多くの親御さまがご息やお嬢様の「結婚」についてご心配なさるのは、昔も今も変わりません。実は、当結婚相談室メンバーもここで縁を得て結婚しました。聞けば、斐文会会員の母上の勧めで入会したとのこと。ところが、お見合い相手に勧められたのが10歳も年上だったので躊躇したけれども、会わずに断るのだけはやめようと……。

そして、今ではご主人と大学院生のお嬢様との3人で幸せな家庭を築き、相談員としても励んでいます。

◆ 信頼の賜物? 親子二代・兄弟お二人も!

開設以来半世紀余り、学縁繋がりでの結婚相談室としての「信頼」を頂戴していることも、昔も今も変わりません。少し前、こんなお便りをいただきました。

「私が帝塚山の大阪女子大キャンパス内にあった斐文会結婚相談室を訪れたのは、1970年頃でした。登録直後に現在の妻と巡り会って、2人の息子に恵まれました。約30年余りの歳月を経て、長男の結婚のために西中島の現事務所を訪ねました。相談室の方の行き届いた対応も嬉しく、入会手続きを行いました。ほどなく良きお相手が見つかり結婚し、今では2人の子ども(私にとっても可愛い孫)もいます。続いて次男もと思ったのですが、30代半ばに欧州赴任となり40歳前に帰国。相談室の方が『大丈夫ですよ』と励ましてくださって、ご紹介いただいた方と昨年挙式にいたりしました。近々孫も生まれる予定です」と。

親子二代・兄弟お二人が、当相談室でご結婚ということでも嬉しいお便りでした。

◆ ご縁で結ばれて! 旧大阪市立大学の皆さまとも

昨年4月の大阪市立大学と大阪府立大学の統合を機に、ご縁が広がりました。下欄の「斐文会結婚相談室」のご案内をご覧のうえ、お気軽にお問い合わせください。全員が斐文会会員の相談室役員・相談員一同、お待ちしております。



斐文会結婚相談室の石津英子理事長(前列中央)を囲んで役員・相談員一同

「一般社団法人 大阪女子大学同窓会 斐文会結婚相談室」のご案内

55年前に誕生しました 当結婚相談室は1967(昭和42)年10月、大阪女子大学(旧制大阪府女専)卒業生の斐文会会員とその関係者の結婚をサポートする組織として始動。準備会議には学長・事務局長・教授も参加され、大学敷地内の「斐文会館」で活動を始めた「斐文会結婚相談室」は、同窓生の結婚支援という奉仕的活動を通じて、それ以来ご縁を繋ぎ続けています。

ぐんのご縁が広がりました 昨年4月の大阪市立大学と大阪府立大学の統合により、大阪市立大学ならびに大阪公立大学の皆さまとその紹介者にもご入会いただけることになりました。折しも同月、当結婚相談室も組織の強化とさらなる躍進をめざして法人格を取得。「一般社団法人 大阪女子大学同窓会 斐文会結婚相談室」を、どうぞよろしくお願いたします。



入会金 20,000円 年会費 15,000円 開室日時 水・土・第1日曜日 10:30~16:30



一般社団法人 大阪女子大学同窓会 斐文会結婚相談室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-4-25 フルーレ新大阪506号

お問合せはお気軽に Tel:06-6390-1518 <https://hibunkai-soudanshitsu.jimdosite.com/>



2022年度大阪公立大学商友会総会・記念講演会・懇親会を開催

とき：令和4年11月12日(土)

ところ：ホテル「都シティ大阪天王寺」

当日は、約30数人が出席し、第1部「記念講演会」では、ロシアのウクライナ侵攻前に、一時日本に帰国され、NHKほかTVニュース番組にもご出演の「現ウクライナ財務大臣アドバイザー」を務められている田中克(たなか・まさる)氏に、ウクライナの厳しい現実と今後の復興復旧に関して、他で聴けない詳しい情報をお話いただきました。

第2部「総会」では、奥田幸治氏(商昭53卒)の司会で、花井健会長(商昭52卒)のご挨拶、報告事項、審議事項が承認され、有恒会の世瀬義久事務局長(経昭53卒)から「有恒会報告」がありました。

第3部「懇親会」では、久保俊雄氏(商昭58卒)の司会で、和やかな雰囲気、テーブルバイキングも楽しみ、逍遙歌「桜花爛漫」を大西副会長のリードで、皆で合唱し、出席者の皆さんには、完成の商友会創設25周年記念誌『商友会に集いて』などを配布し、旧交を温めお開きとなりました。

商友会副会長 大西基勝(商昭52卒)



創設25周年を迎え、総会に出席した商友会のメンバーら。前列中央が講演をいただいた田中克氏

有恒会と陵友会が統合

有恒会(岡本直之会長)と陵友会(津戸正広会長)は2022年10月1日付をもって統合致しました。陵友会は同年7月中旬に理事会を開いて有恒会との統合を決議。これを受けて有恒会は9月28日に臨時総会を開催し、上程した統合案を可決・承認しました。総会後には両会の会長が合意書に署名・捺印を行い、統合を確認しました。陵友会は今後「有恒会 陵友会支部」を名乗ります。今回の統合によって大阪公立大学有恒会は会員数7万人を超える同窓会組織となりました。

なお統合に伴い、大阪公立大学商経法文同窓会は2022年11月14日をもって解散しました。同会は2021年3月9日、大阪公立大学の商経法文各学部と大学院、都市経営研究科の入学生から同窓会費を徴収し有恒会、陵友会の活動をバックアップする機関として設立されましたが、統合によって所期の目的は達成したと判断、解散することといたしました。今後新入生からの同窓会費を受け取る機関は有恒会となります。



統合合意書調印式に臨んだ岡本直之有恒会会長④と津戸正広陵友会会長

尾山 基 前有恒会会長が旭日中綬章を受章

2014年から2018年まで岡本直之有恒会会長の前任で有恒会第32代会長として全学同窓会の設立にご尽力され、同窓会活動の活性化を図られました尾山基(おやま・もと)氏が令和4年秋の叙勲で11月3日、旭日中綬章を受章されました。受章おめでとうございます。

尾山氏は商学部を昭和49年に卒業され、株式会社アシックスで2008年に代表取締役社長、11年に代表取締役CEO、17年3月代表取締役会長兼社長CEO、18年に代表取締役会長CEOとして経営に携われ、22年3月25日に取締役会長に異動されております。

産業界では神戸商工会議所副会頭、神戸経済同友会顧問、世界スポーツ用品工

業連盟会長等を歴任、また、2014年10月、オランダ王国オラニエ・ナッソー勲章Officer章を受章されました。

尾山氏は商学部の伊藤淳巳先生のゼミ出身ですが、ゼミで開催した会合で講演いただいたこともあります。会場となったホテルに社用車で少し遅れて到着され、「道が混んでてね」という会話をしながら、ほぼ駆け足で講演会場まで行かれて、お迎えした私が息切れしながら追いかけていった思い出があります。

これからも、健康に留意され、スポーツ産業のさらなる発展に邁進されることをご祈念申し上げます。

村上芳子(商昭58卒)



旭日中綬章を受章された尾山基前有恒会会長

遠藤尚秀・都市経営研究科教授の「黄綬褒章」伝達式

令和4年秋の叙勲・褒章受章者の発表があり、大阪公立大学大学院都市経営研究科の遠藤尚秀教授(研究科長)が業務精励(公認会計士業)として黄綬褒章(※)を受章した。遠藤氏は、日本公認会計士協会本部常務理事(公会計・公監査担当2期6年間)、国際公認会計学会関西西部会長(理事2017年度より現在に至る)などを歴任し、長年にわたる公認会計士業務を通じた社会の健全な発展に貢献してきた。これを受け、令和4年11月10日に大阪公立大学梅田サテライトキャンパスにおいて伝達式が執り行われた=写真=。

遠藤氏の担当科目は「都市経営論」「自治体経営論」。研究テーマはパブリック・ガバナンスに関する基本原則や公共経営・都市経営の理論をベースに、海外や日本の具体的なグッド・ガバナンスを調査研究。客観的なデータに基づく比較検討を行い、制度改革を提言した。

関西学院大学大学院経営戦略研究学科・博士課程後期課程修了。令和4年4月に大阪市立大学大学院都市経営研



究科科長・創造都市研究科科長を経て大阪公立大学都市経営研究科科長に就任。15年の入学実績を持つ創造都市研究科と継承した都市経営研究科そして大阪公立大学都市経営研究科と3つの研究科を束ねる研究科長となった。

3研究科同窓会も「有恒会」の下部組織として新たに改組されたが、教授の甥の名前が「有恒(ありつね)」でもあり、また取材日当日(12月8日)が教授の62歳の誕生日とあって、なにやら因縁を感じているとの感想を話してくれた。学生時代には北海道を自転車一周し、今は柴犬5匹と戯れる毎日であるが、「授業では5回は笑いを取る」ことをモットーとしており、新しい組織作りもゆっくりに行っていくと満面の笑みで話しをしてくれた。

※黄綬褒章(おうじゅほうしょう)とは、農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方に贈られる。

文責 安藤根八(創平30修)

「都市経営研究科・創造都市研究科ホームカミングデー」開催

とき : 令和4年11月3日(木・祝日)

ところ : 大阪公立大学梅田サテライト(大阪駅前第二ビル6階)

「都市経営研究科・創造都市研究科ホームカミングデー」(大阪公立大学大学院/大阪市立大学大学院都市経営研究科同窓会主催、都市経営研究科・創造都市研究科同窓会協力)が2022年11月3日、大阪公立大学梅田サテライト(大阪駅前第二ビル6階)で、参加者が100人を超える賑わいの中、執り行われた。

個別企画はこの日13時より開催、全体企画は14時から16時30分、101教室会場で研究科長の遠藤尚秀先生の開会の挨拶と、院生会代表で都市ビジネスコース院2の幸崎裕さんの挨拶ではじまった。第1部は創造都市研究科アジ



「都市経営研究科・創造都市研究科ホームカミングデー」の講演会

アビジネス分野同窓会役員の住田弘之さんによる講演会、つづいて各コース展示における個別企画の紹介、第2部では在校生と修了生による「社会人大学院のキャリアをどう活かすか?」をテーマにパネルディスカッションが行われた。

大阪市立大学創造都市研究科と大阪市立大学都市経営研究科、そして大阪公立大学都市経営研究科在校生、修了生が集い、交流できたホームカミングデーとして意義深いひとときであった。

大阪公立大学「都市経営研究科・創造都市研究科同窓会」
会長 福田耕治(創都平25修)

 **ツカキグループ**

TSUKAKI ツカキ(株) 塚喜商事(株) 京都和装(株)
マリエクラッセ(株) (株)タムラ (株)京朋

Growing Together

～共に成長を～

社長 塚本喜左衛門(S46 経卒)

グループヘッドオフィス

京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町661番地

〒600-8412 TEL. 075-341-3547(大代表)

<https://www.tsukaki.com/>



市大OBOG教員と学生の交流会開催

2014年から始めた「市大OBOG教員と学生の交流会」は、2021年8月、12月とリモートでの開催が続きましたが、2022年12月24日の開催では久々に対面とリモートを併用し、「職業としての教員」をメインテーマとしました。学生と年齢の開きの少ない、2010年前後に卒業して現在教職にある比較的若手のOBOGの皆さんに焦点を当てて参加を募り、全員が高校勤務の6人の男性が参加(対面4人、リモート2人)しました。

学生は市大、府大、公立大全学生に開催案内の結果、1人(2回生)のみの参加(対面)にとどまりました。しかし参加者全員から約30分の自己紹介、続いて参加学生が前もって寄せてくれた質問にOBが答える形で活発な発言が続き、2時間が短く感じられました。

様々な意見が寄せられ、主催者としてとてもやりがいを感じました。教職課程を履修する市大生は、かつてより減っていますが、実際に教職に就く学生は、毎年20人程度で安定しています。府大の教職就職傾向もほぼ同様ですが、学生たちは少しでも多くの情報を、先輩の皆さんから聞いた

と思っています。次回は、今年8月開催予定です。教職についておられる皆様方、どうぞお気軽にご参加のうえ、近況をお話いただき、また教職を志望する学生諸君への支援を心よりお待ちしております。

扇田 豊(法昭50卒)



久々に対面とリモートを併用した「OBOG教員と学生の交流会」



Mie Kotsu Group

三重交通グループは、安全、安心、安定、快適なサービスの提供を目指します。



貸切デラックスバス「浪漫II」

貸切バス「DREAMシリーズ」

三重交通 路線バス



不動産業

名古屋三交ビル



レジャーサービス業

御在所ロープウェイ



鳥羽シーサイドホテル

三交イン京都八条口



流通業

ハンズ名古屋松坂屋店 (三交シーエルトゥーがFCで展開)

<ul style="list-style-type: none"> 運輸業 不動産業 流通業 レジャーサービス業 	三重交通株式会社 名阪近鉄バス株式会社 三交伊勢志摩交通株式会社 三重急行自動車株式会社 八風バス株式会社 株式会社三交タクシー 三交不動産株式会社 株式会社三交コミュニティ 株式会社三交不動産鑑定所 三重交通商事株式会社 株式会社三交クリエイティブ・ライフ 株式会社三交シーエルトゥー 三重いすゞ自動車株式会社 株式会社三交イン 鳥羽シーサイドホテル株式会社 三交興業株式会社 御在所ロープウェイ株式会社 株式会社三重カンツリークラブ 株式会社松阪カントリークラブ 名阪近鉄旅行株式会社 株式会社三交ドライブングスクール ミドリサービス株式会社 三交ウェルフェア株式会社 三重県観光開発株式会社
 <h2 style="margin: 0;">三重交通グループホールディングス株式会社</h2> <p style="margin: 0;">〒514-0032 三重県津市中央1番1号 https://holdings.sanco.co.jp</p>	
 <p style="margin: 0;">三重交通グループアプリ</p>	

論壇・随想

「干しのり」と「焼きのり」の違いについて



岡井康二 (理院昭52修)

早いもので理学部の学部・大学院を卒業してから約45年の年月が経りましたが、小生は、現在、Stage4の末期前立腺がんながら、まわりの皆様方のおかげでなんとか楽しく自分のペースで生活をさせてもらっています。この度、同窓会役員の先生から何か面白そうな話題があればというご要望がございましたので、小生が、この10年間ほど個人的に興味を持って研究しております食物とお料理の問題についてお話をいたします。

このお話のそもそもの始まりは、3年間ほど米国でがん免疫の研究をしていたのですが、帰国して内定が決まっておりました某バイオメーカーの研究職のポストが、会社側の身勝手な都合で、いわゆるドタキャン内定取り消しという困ったことになり、小生の出身研究室の南浦能至先生(理学部生物学科・酵素化学研究室)が、救いの手を差し伸べて下さり、「岡井君、第一線の研究もおもしろいけれど、人を育てるという教育の仕事もおもしろいよ」と栄養士養成の女子大学の教育職を紹介してくださいました。

結局、これが、私のライフワークとなる研究テーマ「食品と免疫」につながるのですが、約10年ほど前にふとしたことから、なぜアサクサノリには、収穫後、天日ぼしをした「干しのり」とそれを火であぶる「焼きのり」があるのかという疑問にぶつかりました。関東のノリ問屋などでは、干しのりで販売する場合が多く、たとえば江戸落語の話で、長屋のひま人が、通りがかりの夜泣きそば屋に、そばを注文しないで自分の酒のアテにする干しのりを、そばやの火であぶってもらおうという場面がでてきます。またプロのすし職人が、巻き寿司や軍艦巻きのノリを使う時に、軽く干しのりを火であぶるといふ事をします。

一般に、この干しのりを軽く火であぶるといふ操作は、湿っている水分を物理的に除いて食感をパリッとさせるという意味と焼くことによる独特の風味が加わるという調理科学的な理解がされています。そこで私たちは、この火であぶるといふ操作(食品加工の分野では加熱焙煎といいます)が、生活習慣病やアレルギー疾患に影響を与える活性酸素の生成に影響を与えるのか調べる事にしました。驚いた事に、干しのりをある特定の温度で加熱焙煎をすると、いくつかの実験系で活性酸素の生成を著しく抑制する強

いラジカル消去活性が生成されることが判明しました。

さらに興味深い事に、私たちの実験の後で分かったことですが、日本のほとんどのノリメーカーが、干しのりからおいしいやきのりを作る時の加熱焙煎の温度条件が、私たちが見出した最も強くラジカル消去活性を発現する温度条件と見事に一致したのです。そこで、同じ海藻類の昆布やワカメやヒジキで、同じようなことが起こらないか試したのですが、なかなかうまくいかず、大幅に加熱焙煎の条件をかなり強い条件にしたところ、アサクサノリと同様の強いラジカル消去活性が、認められました。ちなみにこの海藻と加熱焙煎についての庶民的なお話としては、我が家のご近所のおばあちゃんが、おいしいワカメごはんを作る即席の方法として、あたたかいフカフカごはんに、乾燥ワカメをフライパンで適当に加熱してそれをそのご飯に混ぜるといふ方法を教えて下さいました。

そのおばあちゃんのお話では、自分が生まれた島根県の漁村では、昔からワカメや昆布をよく加熱焙煎をしてからお料理に使うという事をしていたそうです。おそらく経験的に海藻を加熱焙煎することによって食感や風味が増すとともに健康増進の作用もあることを漁村の人たちは理解していたのかもしれませんが。ちなみにこの加熱焙煎による海藻のラジカル消去活性の増強効果のメカニズムについては、加熱焙煎によりポリフェノール類やタンニン類などの抽出性が増加する事、あるいは海藻特有の多糖類が、加熱焙煎によってその物理化学的性質が変化してラジカル消去活性を示すなどの研究結果を得ています。

今回のお話は、ノーベル賞級の高尚なお話ではありませんが、きわめて庶民的な食品とお料理のお話です。どうぞ皆様方、これからは、昆布やワカメやヒジキをお使いになるときは、フライパンで一度加熱してからお使い下さい。おそらくよりおいしく体のためにも優れた効果(たとえばお通じが良くなります)を実感されると思います。

簡単ながら、小生の近況のご報告と食品における加熱焙煎の効用について御報告を申し上げます。

開拓使官有物払い下げ事件 教科書等、五代記述訂正へ

八木孝昌 (経昭41卒)

大阪市立大学同窓会からの依頼によって執筆した拙著『新・五代友厚伝』が2020年初秋に刊行された。それが契



機となって、「明治14年、政府あるいは開拓長官黒田清隆は政商五代友厚に対して格安の価格で開拓使官有物一式を払い下げようとした」との高校日本史教科書等の記述訂正を求め

る機運が大阪市立大学の中に生まれた。そして2021年11月3日に「五代友厚官有物払い下げ説見直しを求める会」が発足した。同会は教科書会社等への記述訂正の要望、教科書を検定する文部科学省への署名活動、大阪市立大学同窓会と大阪市立大学の共催による「五代シンポジウム」を活動の柱とした。

会は同年12月27日付で各教科書会社と『日本史年表』の岩波書店に対して、五代無実の証拠となる払い下げ政府決定文書の写しを要望書に添付して送付した。続いて、2022年1月22日には「五代シンポジウム」が大阪市立大学田中記念館で開催され、基調報告を受けもった末岡照啓住友史料館研究顧問は五代無実の新たな史料を初公開した。

それは佐佐木高行の日記『保古飛呂比』(東大出版會)第十巻の明治14年9月29日条に丸山作樂の談として、「黒田清隆や山田顕義等に親しく聞く」ところでは、黒田が開拓使事業払い下げを五代たちの関西貿易社で引き受けるよう打診したところ、五代は「今日にては利益もなく」、社の目的にも合致しないという理由で「相断りたる由」が書かれているという事実であった。会はこれを受けて、出版社に『保古飛呂比』の該当ページのコピーを添えた第二次要望書を送った。しかし、各社から芳しい回答は寄せられなかった。

2023年度から従来の『日本史A・B』の教科書が『日本史探究』に模様替えになり、文科省検定済の見本刷が2022年6月に全国で展示された。その中で清水書院の『日本史探究』だけが従来の記述を改め、「黒田は同じ薩摩出身の政商五代友厚の経営する『関西貿易社』に払い下げようとしていると新聞が報じて問題化した」としてあった。訂正箇所は下線部である。この訂正によって、従来の虚偽の記述が少なくとも事実即した記述に変わった。力を得た会は、第三次要望書を各社と執筆責任者に送り、清水書院の記述変更を報告するとともに、各社の再考を要望した。すると今回は、各社から具体的な回答が9月末までにあった。

回答の要点は以下の通り。

山川出版社：「払い下げようとしていると報じられ、問題化した」と訂正する。

第一学習社：五代は当事件に一切関与していないことを明確にする。

東京書籍：学会の動向に注視して判断する。

岩波書店：編纂担当の歴史学研究会と協議した結果、五代は勅裁に関わる史料には登場しないことを確認したので、次回増刷時に修正する。

また未回答で残っていた実教出版からは12月に回答があった。

実教出版：複数の日本史教科書の従来記述を「全体的に見直す」。

以上のうち、山川出版社は日本史教科書シェアの7割弱を有する超大手なので、東京書籍があいまいな態度をとっているものの、業界の大勢は決したと言ってよい。また、岩波書店と日本の代表的歴史学会である歴史学研究会が記述の非を認めたことによって、開拓使官有物払い下げ事件定説見直しの可能性が現実的な色彩を帯びるに至った。

明治14年7月26日の「東京横浜毎日新聞」が誤報を流して以来、実に142年の長きにわたって、五代友厚の名誉は損なわれてきた。ようやく汚名がすすがれ、その名誉が回復されようとしている。会は3月23日に文科省記者クラブでプレス発表し、このことが全国に報じられた。大阪市立大学同窓会と旧大阪市立大学の悲願が成就したのである。

神戸といえばJAZZ!

米津寛司(生昭58卒)

神戸と言えばステーキ!?!いえいえ神戸と言えばJAZZ!です!今から約100年前、ニューオリンズで生まれたJAZZが最初に日本に上陸したのが港町神戸でした。神戸市垂水区にある登録有形文化財「旧武藤山治邸」はアメリカでJAZZが生まれた同時代に建てられた明治の洋館です。そんな文化財建物で毎回ほぼ満席で世界中から素晴らしいミュージシャンをお招きして年約30回、5年でのべ150回近く大好評で行われるようになった奇跡の「明治の洋館JAZZLIVE」についてお話しさせていただきます。



館長の私は1983年有名なバブル好景気の中、市大住居を卒業し積水ハウスに入社しました。技術系として一旦設計課に配属され1級建築士資格をとったにもかかわらず志願して営業の最前線に出ることとなりました。当時、車はソアラ!カバンはビトン!の時代。住宅展示場でもJAZZやクラシックのコンサート等高級志向を狙ったイベントを店長として数多く仕掛け、億単位の住宅が飛ぶように売れた時代でした。そしてバブルを謳歌したのも束の間、芦屋店の店長をしていた1995年の阪神淡路大震災に遭遇して、神戸で罹災された過去数千件のお客様のお家の修繕と爆発的に増えた再建のお手伝いに奔走する日々が数年続きました。ただ無理がたたり過労で体を壊したこともありその後、希望して本社商品開発部・人事部と移動した後、55歳の早期退職制度を利用して天下晴れて自由の身となりました!

その後文化財建物の専門知識の習得をした後、明石海峡大橋のたもとの舞子公園内にある旧武藤山治邸の非常

勤館長に就任して洋館文化財の運営にあたることになりました。が!素晴らしい建物にもかかわらずほとんど人の来ないことが判明!広告宣伝費予算が無いので急遽JAZZを中心としたイベントを企画しました。まず出演者探してLIVEハウスを巡り、神戸の夜の街を徘徊。そして次の難題はLIVEに必須の音響機材の購入予算が皆無で、結局自費でプロ用機材を購入して何とか第一回のLIVEを開催することが出来ました。

それから早5年、今では多くの神戸エリアのJAZZファンやJAZZミュージシャンに愛される人気のスポットとなっております。当初無謀と言われた「土曜日のお昼間、酒抜きで1時間1ステージ」というそれまでのJAZZのイメージと隔絶した「明治の洋館JAZZLIVE」は積水時代のマーケティング&ブランドマネージメントの知識と経験を活用して新スタイルのLIVEとして好評開催することが出来ております。皆様も是非一度「明治の洋館JAZZLIVE」を聴きにきてくださいませ。

科学に興味関心を持つ 人材育成を目指して 親と子の理科工作教室を開催

筒井良樹(理平21卒)

1. 親と子の理科工作教室とは

工作教室は日本機械学会関西支部シニア会⁽¹⁾が実施運営しています。シニア会に入会するには65歳以上が入会条件です。しかし、私は現在40代ですので準会員として活動しています。工作教室を実施する意義はシニア会ホームページ⁽¹⁾に記載されているので興味のある方はご覧ください。

2. 工作教室に参加した経緯

私は以前より日本設計工学会関西支部⁽²⁾に所属しており、関西支部の集まりで工作教室の副代表に協力をお願いされ、日本機械学会に入会後に工作教室に参加しています。



筒井良樹さんが初めて講師を務めた日本機械学会関西支部シニア会の「親と子の理科工作教室」

3. 自己紹介

大阪市立大学理学部物質化学科を平成21年に卒業後、工業高校等で8年間教師として勤務していました。現在は会社員として金属リサイクルに関する業務に携わっています。大学在籍時は恩師より市立大を卒業した学生は社会貢献できるように努力しなさいと教えられたのが心に残っており、何か社会に貢献できることをしたいと考えていました。今後も工作教室にスタッフとして参加することで児童、生徒が科学に興味を持ち将来の科学者育成に微力ながら協力できたらと考えています。

4. 実施内容

今までは先輩方の支援者として教室に参加していましたが、昨年8月20日に神戸市立バンドー神戸青少年科学館⁽³⁾で実施した教室で初めて講師を担当しました。私が担当したテーマは「上手に歩く二足歩行ロボット」の作成で参加者は児童9人(男子6人、女子3人)と保護者でした。残念ながらコロナウィルス感染防止のため、保護者は工作には参加できませんでした。

5. 実施所感

担当時に一番注意したのは安全に関する事です。工作で怪我をしないようにすることが一番大切だと思い支援者と共に見回りをしていました。無事に全員怪我をせずに帰ることができ安心しました。また、全員ロボットを児童自身で作り無事作動することができたことも良かったと思います。反省点は実施後のアンケート結果から工作内容が難しかったという意見もあり、説明不足があると思いました。今後は説明するスライド等を改良し児童にわかりやすい説明を心がけたいと思いました。

また、児童の思いがけない質問に自分自身が気づかされることもあり、大変有意義な経験をしました。また、年輩の支援者が色々助けていただき、今後支援者の時にどう行動すれば良いのか勉強になりました。

6. 最後に

今回、工作教室で講師を担当できたことは本当に良かったと思っています。自分の力だけでは参加すらできない行事に関わる事ができ、一期一会を今後とも大切にしていきたいと考えています。今回「有恒」への投稿に関して、日程の調整をしていただいた大阪公立大学校友会の村上芳子先生に感謝しております。最後に大阪公立大学校友会主催「第12回卒業生のためのビジネス交流会」で辰巳砂昌弘学長が後輩に望むこととして言われた「今、そのときを誠実に生きる。そのとき、与えられた役割を誠実に果たす」の言葉を大切に頑張っていきますので、何かの機会に同窓会の先輩方にお世話になることもあると思いますがその時はよろしくをお願いします。

参考文献 1. <https://jsmekansai.org/Senior/index.html>

2. <https://kansaijsde.or.jp/wp/>

3. <https://www.kobe-kagakukan.jp>

同窓短信

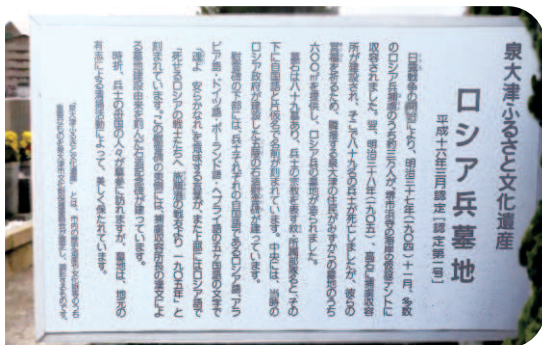
知識と知恵

鳥居貞義(商昭34卒)

政府中心に有識者会議で問題討議される事例が頻繁に行われていた結果、有識者「知識が有っても知恵は無」と揶揄される事例が多くなっている。

日本海海戦で小国日本が大国ロシアに勝利したのは知恵に寄る勝利であった。

その証拠は現在も大阪湾沿岸及び瀬戸内海沿岸に多く残されている。そこには約1万人のロシア兵捕虜が収容され、日本人医者看護婦の治療を受けた記録や墓地も現存している=写真=。



これほど多くの兵が戦わずして捕虜になった理由は、日本には古くから戦中に白旗を挙げた者は戦中でも攻めない習慣があり、この情報をロシア兵に知らせたことによってロシア兵は白旗を挙げて自ら捕虜になることを選んだからだ。ロシア兵に白旗の「知恵」を教えたことで戦闘は終わり大勢の捕虜を介護した記録が残されている。捕虜収容所跡や墓地は現在も残されている。筆者幼少の頃、「直ぐに白旗ロシア兵」「死んでも戦う日本兵」と歌われていた。

日本兵の「白旗の知恵」の歴史を遡れば、白旗は「降参」を意味し、武士が戦う前に自分の出身地を名乗り、互いに万一敗れた時は勝者が敗者の出生地に知らせたと言われている。私が「日本人類学会」に入部したのもこのような視点からで、日本民族を研究し歴史に残したいと考えている。

起業してコンサルタントに 自社ブランド立ち上げを 準備

陳麗亜(平27創修)

私は2008年公費交換留学生として来日しました。その後、大阪市立大学創造都市研究科(現都市経営研究科)に進学



しました。修士課程修了後、私は建材設備メーカーのLIXILに入社し、商品開発の仕事に携わりました。

語学力を発揮し、グローバルな舞台で仕事をするのが自分の理想な働き方だったので、L社での仕事経験を活かし、起業することに決意しました。最初の仕事は技術コンサルタントとして中国現地の会社で洗面化粧台の商品開発をする仕事でした。

そのプロジェクトが終了後、知り合いに声を掛けられ、国際労務派遣のプロジェクトを新規に立ち上げました。中国の専門学校を対象にプロジェクトを推進しました。また、日本人知人のご紹介でインドネシアの人材送り出し機構と繋がり、プロジェクト推進の範囲をさらに広げております。

国際労務派遣のプロジェクトを推進すると同時に、また日本人知人のご紹介で、バングラデッシュで革製品の請負生産工場を経営している方と知り合いました。今はその方と日本で新規販路開拓、自社ブランド立ち上げの方向性として日本法人の設立準備を進めている段階です。

人とのつながりを大事に、これからも経験・知恵を活かし、世界中の人々がより豊かな生活を送るよう貢献してまいりたいと思っております。

川村邦夫先生の講義を お聞きして

小橋憧太郎(経3)

2022年10月21日、有賀敏之先生のゼミに川村邦夫先生がお越しください、20世紀前半の満州と「孫文の『大亜州主義』」について、ご講義をいただき

た。川村先生は昨年度、86歳で創造都市研究科の博士課程を修了されており、学位授与式の模様はNHKテレビのニュースや新聞等でも報道された。今回の講義はご自身の学位論文を基にされたものであり、約25人と多くのゼミ生や社会人大学院生の方が出席した。

私は「戦争」はもちろんのこと、「戦後」さえ知らない世代である。「満州」は歴史の教科書やテレビによって語られるものに過ぎなかった。今回、当時の満州を知る川村先生から語られた現地の姿は、講義を受けた方に強い衝撃を与えたことと思う。また、時間をかけて深く研究された川村先生の知力に驚くとともに、学び続けておられる姿に感銘を受けた。



経済学部学部生から花束を受ける川村先生

今回の講義の内容に関しては、川村先生のご著書『日本人が学んだ中国語と旧満州1906～1945年』(本誌「同窓生の図書紹介」覧参照)で読むこともできる。中国情勢が激動する今、過去を学んでみてはどうだろうか。

美・健康・医療がテーマ のコンテストで圧巻の 2冠受賞

進化し続けるVocal/インフルエンサー
狭川綾子(生平18卒)

こんにちは。ヴォーカリストのAyakoです。いつもたくさんの応援をいただきありがとうございます。普段はライブハウスやライブレストラン等で歌っております私ですが、昨年(2022年)は「Global Unity Japan」という団体が主催する美と健康と医療のビューティーコンテストにチャレンジし、ファイナリストとして活動してまいりました。そして2022年11月6日、リーガロイヤルホテル大阪にて *Global Unity Japan

2022日本大会ファイナルが開催され、オーラ部門(パフォーマンス部門)で、オーラクイーン&アンバサダー賞の2冠をいただく事ができました。



会場まで応援に来て下さいました皆様、そしてSNSにて応援して下さいました皆様、また、共に切磋琢磨したファイナリストの皆様や講師、運営の皆様、本当にありがとうございました。私のこの挑戦は終わりではなく、美と健康と医療のGlobal Unity Japanの西日本マネージャーとしてAyakoはパフォーマー、Vocal、ミュージシャンの経験を活かし、今後も携わらせていただきます。そしてその先には我々パフォーマーやミュージシャン、特に女性特有の悩みを抱える女性ミュージシャンのために出来る事を、少しずつ少しずつ、考えて行きたいと思っています。最後になりましたが、本当に応援していただいております皆様、ありがとうございました。引き続きご支援の程、何卒よろしく申し上げます。

*Global Unity Japan・・・人生100年時代と言われる世の中を、健康で幸せな生き方が

できる日本にしていくことを目標としている団体
Ayako ジャズヴォーカリスト SNS
【Facebook】
<https://www.facebook.com/ayako.sagawa.79>
【Instagram】
<https://www.instagram.com/ayako-chama/>
【Official wdesite】
<http://www.ayako-jazz.com/>

カナダでジェンダーを学ぶ

中ノ亜香梨(生平27卒)

医療ソーシャルワーカーとして大病院で勤務の後、現在、カナダ、バンクーバーの大学でGender, Sexualities and Women's studiesを専攻しています。フェミニズム理論に始まり、文学、歴史、哲学、メディア、社会学など様々な角度から、ジェンダーを巡る固定観念や偏見について分析しています。カナダは、ヨーロッパ移民による先住民族の排除、同化、支配を経て建国されました。その歴史的背景と、植民地主義によってもたらされたジェンダーや人種の力関係はこの国でのあらゆる差別形態を語る際に切り離せません。



な角度から、ジェンダーを巡る固定観念や偏見について分析しています。カナダは、ヨーロッパ移民による先住民族の排除、同化、支配を経て建国されました。その歴史的背景と、植民地主義によってもたらされたジェンダーや人種の力関係はこの国でのあらゆる差別形態を語る際に切り離せません。

学外では、NPO団体で2SLGBTQIA+支援のボランティアをしています。活動を通して、自分のもつ特権は何か、コミュニティへどう貢献していくのか等を強く意識するようになりました。母校で学んだソーシャルワークの理論や

学外では、NPO団体で2SLGBTQIA+支援のボランティアをしています。活動を通して、自分のもつ特権は何か、コミュニティへどう貢献していくのか等を強く意識するようになりました。母校で学んだソーシャルワークの理論や

価値を基盤に、フェミニズム理論との共通点などを探りながら、多くの気づきを得ています。日本へ帰国した際には、ソーシャルワーク実践でジェンダー格差やLGBTQ+の権利擁護に取り組んでいきたいと思っています。

文武両道を貫いたサッカー元日本代表MF 橋本英郎選手が引退

大西基勝(商昭52卒)

天王寺高校・大阪市立大学(経平15)卒業の橋本英郎(はしもと・ひでお)さん=写真=は、ガンバ大阪ジュニアコースからユースを経て、1998年に、ガンバ大阪トップチーム入り。その後、日本代表に選出され、2012年にヴェッセル神戸、2015年にセレッソ大阪に入団。その後、長野バルセロ、東京ヴェルディ、FC今治を経て、去年は、関



協和綜合法律事務所

所長 辯護士 阪口 春 男
(法昭 30 卒)

大阪事務所
〒530-0017 大阪市北区角田町 8 番 1 号
大阪梅田ツインタワーズ・ノース 34 階
電話 (06) 6311-8800 番 FAX (06) 6311-8806 番
東京事務所
〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1 丁目 7 番 1 号
有楽町電気ビル南館 11 階
電話 (03) 3216-1171 番 FAX (03) 3216-1173 番
中国上海事務所 上海大成律師事務所内

すばるスチール株式会社

鋼材加工製品のワンストップカンパニー
小ロット・多品種・短納期の先へ!
Enjoy processing steel!

本 社 : 大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル11F
TEL 06-6635-2330
<http://www.subarusteel.co.jp>
事業所 : 大正物流センター(大阪市)
関東支店(伊勢崎市)
九州営業所(福岡市)

*詳しくはHPで

SUBARU STEEL Co., Ltd

西1部おこしやす京都に、選手兼ヘッドコーチとして大活躍されたが、この度、2022年度でプロサッカー選手を引退。

2019年度の大阪市立大学「商経講座」(田中記念館ホールにて)でも、非常勤講師として、学生向けに「サッカー界の実績と選手のセカンドキャリア」の演題で、講義をしていただき、200人以上の学生が履修するほど好評でした。

橋本英郎さんは、これだけの好人物だけに、引退後は、あちこちからオファーがあるようで、今後は、サッカー指導者、解説者、自身の子供向けサッカー教室(プエンテFC)や、地域貢献、出身大学への恩返しも含めて、彼のセカンドキャリアに大いに期待したい。益々のご活躍をお祈りします。

奈良新聞への小説『西鶴二十面相』連載について

北村純一(経昭46卒)

このたび、奈良県の地方紙である奈

良新聞に小説『西鶴二十面相』を連載する機会を得え、2022年11月から今年2月まで、週5回ペースで計60回余り続けました。

ご承知のように、井原西鶴(1641～1693年)(以下西鶴)は、松尾芭蕉、近松門左衛門と並び、元禄文学を代表する三大巨匠の一人です。

この小説は、2022年1月に文藝春秋から上梓致しました文春新書『伊賀の人・松尾芭蕉』の執筆に当たり、芭蕉と同時代人だったこの西鶴についても触れる必要に迫られたことが機縁になっています。

西鶴は、その代表作である『好色一代男』や『世間胸算用』などで知られている稀有の浮世草子作家、今でいう小説家でしたが、他方、非凡な俳諧師でもあったことはあまり知られておりません。しかし、もともと若くして俳諧師として立ち、談林俳諧の雄として一世を風靡しました。そして、浮世草子に専念し



た一時期を除き、終生俳諧師を通しました。この小説はその俳諧師としての西鶴をクローズアップしたものです。

同窓短信

西鶴は「人は化け物」と形容しましたが、人間の悲喜劇を通して人生の真実を捉える鋭利な眼を持ち、料理人が魚をスパッパッと切るように世相を切り、浮世の毀誉褒貶をくまなく描き尽しました。そして、かくいう西鶴自身も、愛妻家など多くの顔を持つ人間性豊かな人物だったと思われます。「怪人」かどうかはともかく、この物語の表題を『西鶴二十面相』とした所以です。「二十面相」は言うまでもなく、推理小説家江戸川乱歩が創作した架空の大怪盗である、「怪人二十面相」からとったものです。

さて、冷水と熱水を混ぜ合わせてもただのぬるま湯になるだけですが、私たち人間の「喜び」や「悲しみ」は決して混ざることはありません。これは西鶴のそういう物語です。

医療法人 福寿会

かねむら歯科医院

理事長 歯学博士 **金村 福寿**

大阪市立大学 有恒会 副会長
大阪市立大学 同窓会 大阪南支部 支部長
(大阪市立大学商学部昭和56年卒)
(朝日大学歯学部卒)

大阪歯科大学 元非常勤講師
明海大学歯学部 元非常勤講師
日本老年歯科医学会 専門医・指導医

専務理事 金村 光野

歯学博士 金村 直子

医学博士 金村 晋吾

医学博士 金村 英利子

理事 金村 舜

理事 金村 晋ノ佑

〒544-0004 大阪市生野区巽北2丁目17-15

Tel.06-6752-8148

ゴーツー ハイシャ

(介護予防) 特定施設入居者生活介護 サービス付き高齢者向け住宅 **福寿**

“安全安心な介護で笑顔の福寿”

ゆったりとした「二人部屋」もございます。

ご夫婦で自由に、都会生活を楽しませんか。

看護師常駐



〒544-0004 大阪市生野区巽北2丁目13-14

Tel.06-6752-2910

ゴーツー ふくじゅ

支部だより



北海道支部が総会・懇親会を開催

とき：令和4年10月1日(土)

ところ：JRタワーホテル日航札幌

総会としては令和元年以来になります。昨年の春、石黒直文支部長から余命1年との連絡がありました。当地での集まりは秋の総会だけなので、お元気うちに集まると考えておりましたが、コロナ禍で広く参加を呼び掛けるのが難しく、支部長を囲む会との名目で、親しい方々にお集まりいただきました。昨年の春、ロータリークラブの行事で変わらず綽々とした支部長の姿に接し、もしかしたら総会が開けるかと期待し、お盆前にメールを送ったものの返信が無く、もしや体調がすぐれないのか、お盆明けに電話を試みよう、と思っていたところへ訃報が届きました。

本総会＝写真＝では、後任の支部長に私、矢橋を選任いただきました。20年間、幹事長として支部長を支えて昨年、あとを託されましたが、私としては支部長のままお見送りたいと考えておりました。改めて今後ともよろしく願い致します。また、支部名称変更については、前日のオンライン会議での校友会事務局からの話を報告、あわせて有恒会の北村吉文副会長からお話を伺い、当面は公立大学同窓会を名乗らないことに決まりました。大学からは橋本文彦副学長にご出席いただきました。

石黒直文支部長、ありがとうございました。

矢橋潤一郎(経平6卒)



東京有恒会が総会を開催

とき：令和4年10月15日(土) 会場：ホテルグランドアーク半蔵門

令和4年度大阪市立大学同窓会東京支部「東京有恒会」総会が、10月15日(土)、ホテルグランドアーク半蔵門にて開催されました＝写真①＝。参加者数は大阪府立大学東京同窓会会長、副会長をお迎えして総勢66人。遠方からも多数のご参加をいただきました。



平成22(2010)年に有恒会東京支部から独立して設立した東京有恒会は、初代会長の深尾愛二郎氏からこの度、諏訪頼久氏に交代しました。昨年の規約改正により、幹事は理事と役職名が変わりました。

総会には西澤良記・公立大学法人大阪理事長(当時)、辰巳砂昌弘・大阪公立大学学長、岡本直之・大阪公立大学校友会会長が来賓として出席、辰巳砂学長からは新体制における大学の方向性、統合の道筋の説明のほか、直接寄附の「新夢基金」、府のふるさと納税「新つばさ基金」の協力のお願もされました。

続いて写真映像作家の松井みさき氏(経平7卒)が「自分の強みの見つけ方」をテーマに講演＝写真②＝。

東京南澁会からは12月の定期演奏会の紹介、同窓会分科会の紹介に続いて恒例の抽選会を楽しみました。

東京有恒会は皆様方の入会をお待ちしています。お申し込みは、<https://a22.hm-f.jp/index.php?action...> 会費は無料。退会自由。居住地域の制限はありませんのでお気軽にご参加ください。



湘南支部第3回交流会を開催 湘南らしいテーマで会員数増加を

とき：令和5年1月29日(日)

ところ：鶴ヶ岡会館KOTOWA(鎌倉市)

湘南支部では第3回交流会として講演会・懇親会を開催し、コロナ禍で休止していた活動を再開しました＝写真＝。

湘南支部は令和元(2019)年に開高健記念館(茅ヶ崎市)で開催した後、コロナ禍のため休止状態でしたが、昨年11月に今後の運営について意見交換会を実施し、今回はそれを受けて、大阪公立大学からの櫻木副学長、大阪府立大学東京同窓会幹部の参加を得て、16人の出席会員をもって開催しました。

講演会では、鎌倉能舞台を主宰され、シテ方観世流能楽師である中森貫太氏が、能の成り立ちや歴史等を分かりやすく解説され、会場からは発声方法などの活発な質疑が行われました。懇親会では櫻木弘之副学長から母校の現状、府大同窓会の山田昭正会長から市大同窓会との統合検討状況についてお話いただきました。

湘南支部では昨年末、有恒会のご協力を得て会員増強し、会員が従来からの30人から新たに約40人が加わり70人の会員数になりました。今後は府大同窓会の方にもお声がけして、湘南らしいテーマや会場にて事業展開していく予定です。

植嶋平治(商昭51卒)



大阪市立大学全学同窓会静岡支部総会開催～統合後の同窓会組織の在り方の説明を受ける～



とき：令和4年11月13日(日)

ところ：駅前会議室

2022年11月13日、2年ぶりに対面での第6回総会が静岡駅前会場で開催されました＝写真＝。

この間、同窓会としては役員間の協議をZoom等で開催してきましたが特段の催しも行えず、それを受けての総会でした。当日は支部会員13人と黒山泰弘大阪市立大学全学同窓会・大阪公立大学校友会事務局兼務、藤山純一大阪公立大学有恒会副会長にお越しいただき、大阪市立大学と大阪府立大学の統合による同窓会組織の在り方の変更について説明を受

けました。また、会員からの活発な意見に対しても、丁寧にお答えいただきました。

支部としては、今後の支部ニュースを会員相互の情報交換の場とすること、状況が好転すれば親睦を促した取り組みを行うことなどを確認しました。支部役員選出につきましては、ほぼ全員これまでの役員が就任することとなりました。

山本義彦(経院昭48修)

大阪市立大学同窓会大阪南支部総会開催 創立60周年記念事業で山桜4本を植樹

とき：令和4年10月29日(土) ところ：杉本キャンパス高原記念館

大阪公立大学の辰巳砂昌弘学長始め小林俊介有恒会副会長、その他多くのご来賓の方々にご臨席いただき、総勢39人の参加となりました＝写真＝。

総会では支部創立60周年記念事業、およびラストイチャダイ(最後、しかしこれからも続く市大)への思いを込めた山桜4本植樹の報告がありました。講演会では、菅原真弓・文学部教授より、「視覚文化資源論実習」、「最後の浮世絵師月岡芳年」をテーマにした講演、井上ひかるさん(文4)からは1号館とヤシの木をモチーフに、市大生をイメージした「カメイチメロンパン」作成に至る過程についての報告がありました。

3部構成の締めくくりは学生情報センター1階「野のはなハウス」での茶話会。コロナ禍にあってアルコールを自粛しての開催にもかかわらず、コーヒーとお茶菓子だけでご来賓と会員同士で親交を深めることができたことは新たな発見でした。

高山宗和(経平2卒)



南大阪支部総会を開催 ～会員募集中です～

とき:令和4年11月5日(土) ところ:大阪公立大学 杉本キャンパス

令和4年11月5日、ホームカミングデーの一環として、杉本キャンパスにて総会と懇親会が開催されました＝写真＝。当初、令和4年7月に予定していましたが、コロナウィルス感染の影響で延期せざるを得ませんでした。今回は、感染対策を講じた上、皆様のご協力があり無事開催することが出来ました。

この間、南大阪支部は、大阪公立大学校友会の承認を得て、大阪公立大学校友会南大阪支部へと名称を変更することになりました。

総会は、櫻木弘之・大阪公立大学副学長、岡本直之・大阪公立大学校友会会長兼有恒会会長ほか役員の方々にもご臨席頂き、南大阪支部会員33人の参加の下、開催されました。頓花修二支部長より令和3年度の活動報告や決算報告、ならびに大阪公立大学誕生に伴う支部規約の改正の説明があり、いずれの議案も可決されました。



その後、野のはなハウスにて、久しぶりのリアル懇親会が開催され、アクリル板越しではありましたが、会話が弾み、あっといふ間の懇親会でした。面と向かってお互いの近況を確かめ合いながら親睦を深めることは大切だと実感した一日でした。

南大阪支部に入会希望の方は、下記アドレス宛にご連絡ください。大阪府南部(泉北・泉南・南河内地域)及びその周辺地域に在住又は在勤する同窓生の方なら、大阪府立大学、大阪女子大学のご卒業生をも含め、どなたでも大歓迎です。

連絡先アドレス:tomihana.shuji@outlook.jp
阪井千鶴子(法昭57卒)

大阪公立大学校友会奈良支部発足総会 市大同窓会奈良支部30周年祝賀会開催

大阪公立大学同窓会奈良支部設立総会並びに大阪市立大学同窓会奈良支部創立30周年祝賀会が2022年10月10日、奈良市三条本町のホテル日航奈良で市大、府大の同窓生ら約80人が出席して開催され、初代支部長に大阪市立大学同窓会奈良支部長の高橋敏朗氏が就任しました。

設立総会開催に先立ち高橋支部長は「両大学の歴史を引き継ぎ開学した大阪公立大学の支援と市大、府大の卒業生同士の交流を深め、奈良の発展に貢献できるようなワンチームの同窓会を目指していきたい」と挨拶。

来賓の辰巳砂昌弘学長は奈良支部が先駆けとして誕生することに感謝すると共に「府大同窓生と共に母校となる大阪公立大学を世界に羽ばたけるようご支援を」とエール。岡本直之校友会会長は「奈良支部は支部活動のパイオニア、統合のモデルに」と期待を寄せました。また父が市大同窓生だった関係で出席した堀井巖参議院議員(奈良県選出)は大競争時代に力強い大学が誕生したとして「皆さんの力で支えてほしい」と祝辞。

このほか来賓では大阪公立大学校友会事務局次長で有恒会常任副会長の宮川庄一氏、有恒会副会長で経友会会長の塚本喜左衛門氏、有恒会副会長で京滋支部長の藤野正純氏、有恒会副会長で大阪南支部長の金村福寿氏、南大

阪支部長の頓花修二氏、有恒会事務局長の世瀬義久氏が出席。総会の審議を経て校友会奈良支部が誕生しました。

引き続き記念講演が行われ、昭和54年、大阪市立大学文学部卒業の橋村公英・東大寺224世別当が「東大寺と大阪」をテーマに講話。記念祝賀会では市大卒業生で新世紀美術協会会員の原田利明氏の作品展示、三木正義氏企画の三木康子氏(奈良県音楽芸術協会顧問)のピアノ演奏などが披露されました。

また同年11月20日には校友会奈良支部発足して初めての見学会を開催(通算30回目)、34人が参加して東大寺を訪れ、東大寺ミュージアム、大仏殿を見学、奈良ホテル(奈良市高畑町)で会食交流会を開催し、懇親を深めました。南大門、大仏殿では橋村別当が同行し解説、参加者は東大寺の奥深さに感嘆していました。



総会で挨拶する高橋敏朗支部長

大阪市立大学同窓会福岡支部総会を開催 ～3年ぶりの対面総会です～

とき：令和4年9月24日(土)

ところ：福岡朝日ビル会議室

令和4年9月24日(土)に、支部会員10人、来賓で大学から櫻木弘之副学長、大阪公立大学校友会から宮川庄一副会長にご出席いただき、3年ぶりに支部総会を対面型式にて開催しました＝写真＝。

藤本美佐子支部長の挨拶に続き、以下のことが決定されました。

- ① 大阪公立大学校友会福岡支部への名称変更と同時に会員資格を公立大学前身の教育機関全卒業生を対象とすること。
- ② SNSを利用した情報伝達の工夫について。
- ③ 現役学生の保護者を総会へ今後も継続して案内すること等。

来賓の櫻木副学長と宮川副会長からは、統合になった大

学と同窓会本部の近況をお聞きました。

大慈弥(おおじみ)悠子氏(医昭57)のキャリアスピーチでは、特技の裁縫が医師としての職業人生に役立った話をお聞きました。

お土産に大慈弥会員の手製の布袋、藤本進会員の帰省土産の昆布、北九州名物「ネジチョコ」を各自持ち帰りました。新規加入の会員にも今後は幹事を引き受けていただく予定です。

棟居秀信(商昭52卒)



大阪市立大学同窓会長崎支部総会が開催 ～新体制が発足しました～

とき：令和4年10月17日(月)

ところ：ホテルニュー長崎・錦茶房

長崎支部第2回支部総会が開催されました。令和元(2019)年4月に支部設立総会を開催、令和2(2020)年8月にセントヒル長崎で拡大幹事会を開催して以来、コロナ禍等により総会を開催できない状況が続いていました。

今回の総会では支部長の古河幹夫(経昭52卒)が福岡県に転出したことを受けて、新たに飯田清親氏(法昭51卒)が新支部長に就任されました。古河前支部長は今後も福岡支部で同窓会活動に参加します。

新体制となった長崎支部に、皆様からの一層のご協力をよろしくお願い致します。



古河幹夫(経昭52卒)

ジャカルタにてゴルフ三商戦が開催 ～近隣の皆様のご参加を待っています～

とき：令和4年11月20日(日)

ところ：ジャバベカゴルフクラブ

令和4年11月20日にジャバベカゴルフクラブで第7回ゴルフ三商戦が2年ぶりに開催されました。コロナ禍のため帰国された方も多く、今回の参加者は23人(大阪市大4人、一橋大12人、神戸大7人)のこじんまりしたイベントとなり

ました。

競技は技能賞対決、オリンピック対決等の五種目で行われ、我らが大阪市大チームは、谷内さんがオネストジョン対決、津田さんがオリンピック対決で活躍、またワーストボール対決でのくじ引きの強さを見せるなど、「金にシビアで、悪運の強い大阪市大のメンバー特性」をフルに発揮して奮戦致しました。

しかしながら結果は一橋大学が三回ぶり2度目の優勝を飾り、大阪市大は残念ながら2位に甘んじ、捲土重来を期しております。

次回開催は令和5年11月19日(日)です。ジャカルタ支部会員のみならず、近隣国に駐在されている同窓会員の方のご参加も歓迎いたしますので、奮ってご参加ください。

津田俊宏(商昭55卒)

荒鹿法律事務所

法学部 昭和45年卒 荒鹿 哲一
(有恒会監事)

法科大学院 平成19年卒 安藤 良平

法科大学院 平成19年卒 荒鹿 高行

事務所 〒530-0047

大阪市北区西天満4丁目11番23号 満電ビル7階

TEL. 06-6365-7155 (代) FAX. 06-6365-8131

E-mail: tetsuichi@arashika.com

URL: http://arashika.com

卒業生の皆様へ 最寄の支部にご加入をお願いします。

・氏名・卒業年・卒業学部・加入希望の支部名 明記のうえ下記アドレスまでメールにて申込をお願いします。

aalumni@osaka-cu.net 支部担当：世瀬

申込いただけましたら、各支部長より、入会案内のご案内させていただきます。

大阪公立大学同窓会・有恒会 支部連絡先一覧（国内・海外）

2022年10月現在

No.	国内・支部名	支部長・会長 幹事代行、事務局長など	学部卒年	No.	国内・支部名	支部長・会長 幹事代行、事務局長など	学部卒年
1	北海道支部	支部長 矢橋潤一郎	経平6	20	神戸支部	支部長 梅村 晋一 竹本 昌弘	法昭55 法昭53
2	東北支部	支部長 石橋 信勝 早川 公康	法昭44 生院平10	21	宝塚支部	支部長 原木 文吉	商昭43
3	埼玉支部	支部長 沖津由紀子 村岡 健治	理院昭51 経昭45	22	姫路しらさぎ支部	支部長 松浦 康裕 吉備 文昭	経昭50 商昭51
4	千葉支部	支部長 福田 和記	商昭46	23	奈良支部	支部長 高橋 敏朗 一柳 茂	菅修昭43 商昭49
5	東京支部	支部長 諏訪 頼久	理昭45	24	有恒会 和歌山支部	支部長 小佐田昌計 大岩 宏	法昭43 法昭59
6	横浜支部	支部長 森 聡彦	経昭59	25	有恒会 岡山支部	支部長 小野健太郎	商平 5
7	湘南支部	支部長 植嶋 平治	商昭51	26	有恒会 広島支部	支部長 井上 道 河合 直人	法平 3 法平11
8	静岡支部	支部長 山本 義彦	経博昭48	27	有恒会 福山支部	支部長 塚本 義政	法昭53
9	富山支部	支部長 栗島 憲治 齊藤 賢治	商昭52 商昭54	28	山口支部	支部長 吉田 慈孝	理修平11
10	石川支部	支部長 伊藤 光明 宮本 和美	経昭49 商昭56	29	山陰支部	支部長 梅林 広志	商昭49
11	福井支部	支部長 和田 龍三	経昭49	30	香川支部	支部長 高木 孝征	商昭51
12	愛知支部	支部長 滋野 公彦 奥田 篤志	経昭59 経平 1	31	徳島有恒会	支部長 大平 恒己 沢田 久志	経昭41 商平 6
13	三重支部	支部長 北村 純一 小川 秀幸	経昭46 法平2	32	愛媛支部	支部長 曲田 清維 浮田 泰昌	生院昭52 経昭54
14	有恒会 京滋支部	支部長 藤野 正純 上田 雅弘	商昭51 商昭59	33	福岡支部	支部長 藤本美佐子 棟居 秀信	生昭47 商昭52
15	有恒会 大阪北支部	支部長 小林 俊介 甘田 外成	法昭44 経昭40	34	大分支部		
16	大阪南支部	支部長 金村 福寿 崎山 光友	商昭56 商昭50	35	長崎支部	支部長 飯田 清親	法昭51
17	北摂支部	支部長 池上 隆彦 中尾 浩己	医昭40 商昭42	36	熊本支部	鳥飼香代子	生昭46
18	南大阪支部	支部長 頓花 修二 古下 政義	商昭54 法平 3	37	宮崎支部	支部長 橋口 律男	法昭49
19	北河内支部	支部長 梶巻 正男 濱中 嘉之	理昭45 創都修平26	38	鹿児島支部	支部長 平田 宗興 会 長 中村 俊久	医昭46 商昭47
				39	沖縄支部	支部長 天願 勇 支部長 目加田博史	医昭47 商昭53

海外・支部名	代表者	学部卒年
上海支部(上海友好会)	奥田 洋一	工平9
台湾支部	田村 圭介	商昭62
香港支部	森實 章	法昭55
バンコク支部	鈴木 裕介	法平16

海外・支部名	代表者	学部卒年
クアラルンプール支部	沼 裕子	経平7
シンガポール支部	岸本 亮	工博平21
ニューヨーク支部	天尾 嘉宏	経昭61
ホーチミン支部		

海外・支部名	代表者	学部卒年
ジャカルタ支部	津田 俊宏	商昭55
ハノイ支部		

会員のひろば



漕艇部OBマスターズ優勝!

全日本マスターズレガッタ特別大会が2022年5月28日、埼玉県戸田市で開催され、大阪公立大学OBクルー(エイト)が出場し、Bカテゴリで優勝しました。

府大、市大双方の漕艇部とOBOG会は、当初予定より前倒しで統合の準備を進めていましたが、「統合に弾みをつけることができれば」との思いから、双方のOBを募って大阪公立大学OBクルーとして参加しました。関東でも新大学を宣伝しようとユニフォームにも大きく大阪公立大学のロゴを入れました。

現役以来の1000m試合に私は死にそうでしたが、若手の4人のおかげでスタートダッシュからぐんぐん飛ばすことができ、良い試合ができました。現役時には獲得できなかった全日本での金メダルを大阪公立大学クルーとしていただくことができ非常に良かったです。ボートって楽しいと改めて実感しました。

漕艇部OB 奥田善久(商昭61卒)

市大、府大の漕艇部とOBOG会が統合 「紅臙会(こうえんかい)」が発足

2022年10月の新シーズンから旧府大と旧市大の漕艇部が統合されました。当初は2025年の森ノ宮新キャンパス誕生のタイミングで統合する案でしたが、現役部員の声もあり前倒しでの統合となりました。部員数はコロナ禍での新入部員獲得の難しさもあり42人(1~3回生)でのスタートです。練習は、双方の桜ノ宮と浜寺の2拠点を維持し、艇種やシーズンに応じてそれぞれの拠点メリットを最大限に活かしていきます。

また、同年11月20日にはOBOG会も統合されました(当日は設立総会、懇親レガッタ、祝賀会を開催)。新しい名称は「紅臙会(こうえんかい)」となります。双方漕艇部の象徴的なカラーである「紅」と「臙脂(えんじ)」に由来しています。旧市大のOBOG数は約700人、旧府大は約400人、合計1100人(内OGは約250人)の大所帯です。コロナ禍の3年間、試合観戦や激励行事等ができなくなり現役との接点を取り戻すべく「紅臙会」としてますます応援していきたいと思えます。特に今春は新入部員40人の獲得目標を「紅臙会」としても最大限支援していきます。



両大学の漕艇部とOBOG会が統合、設立総会で

そして統合の大きな変更点があるオールデザインです。これが素晴らしいのですが、他団体にはないゴールド一色のブレードです。双方伝統的なデザインはありましたが、新しいデザインはこれしかない、と思えるものになりました。大学ロゴにもあります銀杏(いちじょう)のゴールドです。現役にはこのゴールドオールで金メダル目指して大いにボートを楽しみながら果敢にチャレンジしてもらえればと思います。

漕艇部OB 奥田善久(商昭61卒)



大阪公立大学OBクルーとして優勝したメンバー



ゴールドオールで金メダル目指す



大阪公立大学 ゴールドブレイド

第20回香謡会有志の戸隠謡合宿報告

コロナ禍拡大により中断していた香謡会(能楽研究会OBOGの会)の戸隠謡合宿を2022年8月22日から24日まで、3年ぶりに再開しました。参加者は大阪6人、東京4人の計10人。

22日午後、東西から戸隠二澤旅館に集合。早速素謡「千手」、「葵上」の2曲謡う。23日は午前中、戸隠中社参拝、門前のうまい蕎麦屋で名物の「どぶろく」をも賞味しつつ談笑。宿帰還後、即席のお茶会を催す。午後、素謡「熊野」、「小督」の2曲。さらに参加者全員がそれぞれ独吟を披露しました。夕食後は自然にカラオケ大会となりました。

最終日の24日は素謡「井筒」、「紅葉狩」の2曲。来年の再会を期して解散しました。2年間もコロナに中断されただけに、自身の濃い合宿でした。 宮澤博臣(経昭37卒)



戸隠二澤旅館前で

開高健関西悠々会総会・講演会・交流会開催

とき:令和4年12月17日(土) ところ:大阪公立大学文化交流センターホール

総会に先立ち、開高健関西悠々会の作花済夫会長からの挨拶に引き続き、来賓の公立大学法人大阪の田中賢一理事より、「大阪公立大学学術情報総合センター3階(杉本キャンパス)に、開高健作品のほとんどが閲覧できる開高健コーナーがあるので、多くの学生に大先輩・開高健作品に触れていただきたい」等ご挨拶をいただいた。



開催された開高健関西悠々会総会・講演会・交流会

作花会長は、開高健とは旧制天王寺中学の同級生でかつ体操部同期でもあり終生の友人の間柄で、開高健との最後の会合は、1986年9月に開催された「天王寺中学50期生東京同窓会」であったとのこと。「ヨッシャ」「嫁はん辞めさせてスルスルト寿屋に入った」「俺に似て社会性がない」「宣伝文句に署名したい」「もう5年待ってくれ」「小説家のいうことを信じる馬鹿がおるか」など開高健が作花会長に語った11の語録エピソードを披露された。

特に1955年、開高健が24歳の時、愛娘道子さんが通う幼稚園での出来事語録「昨日父兄会で幼稚園に行ってきた。作花、お前わかるか。お遊戯の時間にみんなが輪になって歌っているのに、うちの娘一人こどもの輪から外れて黙って座っているのだ。俺に似て社会性がないんやな。恐ろしいもんや」との愛娘思いの開高健との思い出を昨日の出来事のように話していただけたのが印象的でした。

最後の懇親会では、開高健関西悠々会の創立10周年企画では、東京・開高健記念会の取り組みを参考するようにとの意見もあり、会員3人が今年1月7日茅ヶ崎にて開催された「くふるさとと文学2022」「開高健の茅ヶ崎」に参加した。恒例抽選会(景品:ウイスキー〈サントリー〉、開高健記念会〈書籍、開高健語録ファイル〉、大阪公立大学ビーフカレー〈市大同窓会・有恒会〉、オリジナルボールペン〈大阪公立大学〉、書籍〈たる出版〉、開高ゆかりの田辺大根)でお開きとなり、記念品にカメイチメロンパン(大阪市立大学文学部視覚文化資源実習で企画開発)が参加者全員に配布された。

(文責 開高健関西悠々会会員 上村修三)

銀座有恒会が恒例の行事を再開 ハイキングや新年食事会を開催

第22回銀座有恒会は2022年12月18日、好天に恵まれ2年半ぶりに三鷹市から武蔵野市へハイキング・昼食会を開催しました。コロナ禍で2年半の長きにわたり会としての活動を自粛してきましたが、このたび東京南濤会合唱団の定期演奏会が武蔵野市民文化会館で開かれるのに合わせて開催することになりました。

集合場所のJR三鷹駅改札口より移動して山本有三記念館を見学し、同館中庭で記念撮影後、三鷹駅前のカフェで11人の同窓生が久々に集い昼食と会話を楽しみました。西尾大次郎さん(経昭35卒)から出席者にフランス巡礼紀行の立派な冊子を贈られ、皆さん、その出来栄えに感動しました。昼食後、東京南濤会主催の定期演奏会で合唱団やプロの声楽家・ピアノ演奏家の素晴らしい演奏を楽しみました。

第23回銀座有恒会は今年1月28日、東京・銀座ライオン7丁目店で3年ぶりの新年食事会としてを開催し、12人の同窓生が集い旧交を温めました。開会に当たり、昨年および今年逝去された会員の山出恵一さん(商昭44卒)とたびたび会場でお世話になった銀座ライオン元社長山根義夫さん(経昭32卒)に対し黙



新年食事会で

祷を捧げました。

議事進行後、松本新太郎さん(経昭43卒)から専門の立場より『『新型コロナ感染症』雑感、コロナに関する最新の情報』について、一般人が知らないコロナ感染症問題や病気医療の真実に迫る貴重な講演があり、質疑応答が活発に行われました。続いて会より「大阪公立大学の現状と課題」の資料説明があり、母校の現状把握と課題の克服のための提案がありました。その後、会食に移り会員からの近況報告があり久々の仲間との歓談に楽しいひとときを過ごし、散会しました。

樋上晴雄(法昭45卒)

有恒会への寄付 ～生川ゼミナール・生川会～

商学部生川ゼミナール(金融論)では、生川栄治先生ご指導のもと、昭和34年から61年まで30年近くの間、300人を超えるゼミ生を輩出してきました。

生川会は、このゼミ生のタテ・ヨコの橋渡し役を図るための組織として活動し、昭和57年まで定例会を開催していましたが、それ以降は開催しておりませんでした。それを補うものとして関西に拠点を置く「関西生川会」と関東に拠点を置く「東京生川会」が開催されていました。

今般、生川会として過去に積み立てた基金や会費等の残高を一旦整理し、残余金の有効活用を東京生川会と関西生川会のメンバーと検討する中で、生川会の母体ともいべき有恒会に寄付させていただくことが最も相応しいという結論に至りました。

我々の出身母体である大阪市立大学が大阪公立大学として統合され、その同窓会組織も再編成された機会に、その一翼を担う有恒会の活動の一助となれば、まことに幸いなことであります。

なお、生川会は、今後とも「関西生川会」と「東京生川会」が引き続き連携を取りながら活動を行ってまいりますので、会員ならびに関係者の皆様のご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

幹事長：中原伸治(商昭36卒)

幹事(会計)：久保公雄(商昭40卒)

大阪市立大学交響楽団「第68回定期演奏会」応援参加

とき：令和4年12月27日(火)

ところ：ザ・シンフォニーホール(大阪市北区)

大阪南支部の年末恒例行事のひとつ音楽会鑑賞である大阪市立大学交響楽団「第68回定期演奏会」(於：ザ・シンフォニーホール)に、大阪南支部会員8人が参加した。今回が、大阪市立大学交響楽団最後の演奏であり、有終の美を飾るかごとく素晴らしい演奏会であった。

終了後は、演奏会の余韻に浸りながら現役団員、交響楽団OBOGに加えて大阪南支部会員も舞台にあがっての大記念撮影会があった。演奏会後は例年どおり交響楽団OBOG役員への激励、親交も兼ねて交響楽団OB、大阪南支部会員撮影会を予定していたが、交響楽団OBOG役員は、最後の演奏会後の始末、挨拶などで忙しく、一緒に記念撮影することができなかった。今年は、大阪府立大学交響楽団と統合し、大阪公立大学交響楽団として活動していくとのこと。今後とも交響楽団を応援していきたい。

上村修三(商昭53卒)



最後となる交響楽団旗が掲げられた会場

南漣会合唱団第22回定期演奏会

とき : 2022(令和4)年11月27日(日)
ところ: 東大阪市文化創造館大ホール

1940(昭和15)年に、大阪商科大学グリークラブOB会として設立された「南漣会(なんれいかい)」および「南漣会合唱団」が、創立80周年を迎える2020年に開催予定していた記念演奏会を、2年延期したうえで開催しました=写真=。会場は開設3年目の東大阪市文化創造館を選びましたが、ここは合唱団の毎土曜日午後の練習場でもあります。当日は、東京南漣会合唱団および大阪

公立大学グリークラブのステージも加わり、約2時間の賑やかな演奏会になりました。合唱曲の定番「水のいのち」「海鳥の詩」、アンコール曲「夕焼け小焼け」など演奏の様子はYouTubeでご覧いただけます。



大きな声でハーモニーを楽しむ合唱活動は、きっと皆さんの居場所を見つけられる場になります。同窓の皆様方の参加は大歓迎ですので、下記あてにご連絡ください。

連絡先: yogita@kcn.ne.jp 扇田 豊(法昭50卒)

コロナ、統合乗り越え「優勝」一番乗り 硬式野球部が近畿学生秋季リーグ戦で初



初優勝を飾った硬式野球部の菌佑海主将(左)と最優秀選手に選ばれた正中敦士投手(右)

硬式野球部は令和4年10月2日、近畿学生秋季リーグ戦で初優勝しました。9勝2敗、勝ち点4。大学統合後、体育会系クラブの公式戦「優勝」一番乗りです。投打がかみあい、国公立勢のライバル、神戸大、和歌山大も次々撃破して開幕6連勝。最後は勝ち点4で並んだ奈良学園大を勝率の差で振り切りました。

新型コロナウイルスによる部活動制限や、統合の不安と戸惑いを乗り越えて栄冠をつかんだナインは、小林隼矢監督(理平25卒)を胴上げして喜びを爆発させました。

「統合後半年で、ようやく全員一丸になれた。苦しいことが多かったが、それも報われた。貴重な経験ができた」とチームカラーの違う市大、府大の2つのチームをひとつにまとめる重責を見事に果たした菌佑海主将(生4年)は、喜びの中にもほっとした表情でした。

対戦した5校すべてから勝ち星を挙げた正中敦士投手(商3年)が最優秀選手に選ばれました。

出崎敦史(文昭58卒)



『信頼・価値観・知恵袋』……金属屋根工事
を得る の共有 としての立場

Sun Create System

サンクリエイテム工業株式会社

代表取締役 矢野 憲 治 (法S46卒)

〒299-0101 千葉県市原市青柳北4-2-5
 TEL. 0436-98-3777 FAX. 0436-98-3888
 携帯電話: 090-3314-8399 mail: yano@suncrtem.co.jp

山形会ゴルフ(山形休司先生三回忌追悼／第72回大会)を開催

とき : 令和4年10月22日(土)

ところ : 大阪ゴルフクラブ

大阪府で唯一のシーサイドゴルフコース、名門「大阪ゴルフクラブ」で、商学部山形ゼミ「山形会ゴルフ(第72回大会)」を開催しました＝写真＝。これは年2回36年間続いているものです。

今回は、山形休司先生の三回忌(昨年11月11日)も近かったことから、ゴルフ後、成績発表の際に、皆で先生の遺影に合掌しました。

天気も良く、海(大阪湾、紀伊水道)の横で、淡路島、友ヶ島、関空島もすぐ前に見える素晴らしいロケーションでした。次回、第73回大会は同じ「大阪ゴルフクラブ」で、今年5月20日(土)に開催予定です。 山形会幹事 田中哲雄(商昭55卒)



杉本クラブ令和5年新春例会開催

杉本クラブ令和5年新春例会は今年1月26日、下記の通り開催しました。

A) 散策(15時30分～)。全国通訳案内士有資格者の奥山さんによる「銀座七福神巡り」＝写真＝。普段は気に留めることもなく通り過ぎる路地にひっそりと鎮座坐したる七福神をワイワイと話しながら巡るだけでなく、奥山さんがその都度質問形式のガイドで皆を惹き付ける技量は、さすが全国通訳案内士の真骨頂。路地ばかりではなく、銀座三越、松屋、銀座SIX他屋上にも鎮座坐しましたる七福神には、日頃動じない面々も驚嘆の連発。



今回は、諸般の事情で銭湯体験は、出来なかったものの「金春湯」を外観から。

B) 第68回新春杉本クラブ会食。会場は新橋「東尋坊」(18時30分～)。3分間スピーチテーマは「近況並びに今年の計画」。司会進行は藤村さん、始めの言葉は若林さん、乾杯は橋本さん。和気藹々の雰囲気の中で今年の抱負・計画を語り合う2時間、最後は雲井さんの締めめの言葉でお開きとなりました。

前田寿雄(商昭49卒)

人と電気をつなぐ



ニシムラ株式会社

代表取締役会長 蔵岡一彦

(昭和40年 経済学部)

本社 / 〒601-8104 京都市南区上烏羽角田町32
TEL : 075-681-2331 FAX : 075-671-1041
営業所 : 京都府7 滋賀県5 東京都1 愛知県1 大阪府1
<http://www.nsmr.co.jp>

私たちは、分譲マンションの管理会社です。



ハートで
サポート、
うれしい
サービス。



sumizumi

マンションライフをすみずみまでサポートします。

すみずみ
澄住サポート株式会社

代表取締役 北野好浩(文・地理学専攻 平成2年(1990年)卒)

〒177-0042 東京都練馬区下石神井1-9-21 TEL 03-3904-6980

E-mail info@sumizumi.co.jp

ホームページ [澄住サポート](http://www.sumizumi.co.jp/) 検索 <http://www.sumizumi.co.jp/>

読者の声

続・指学問

前回は「指折り数える」をテーマに、指を折って数えるのは日本人だけで、中国を初めインドなど他民族は指を開いて数えると言いました。今回は続編ですが全く違ったテーマ、指の「呼称」がテーマです。

英語圏では親指はサム、人指し指は「ポイント、フィンガー」と呼びます。同様に中指は「ミドル、フィンガー」です。日本語で薬指は「紅差し指」と言う高貴な？呼び方をしますが、このような例は他国では見られません。多くの国で「呼称はなし」という回答がありました。国によっては「名前のない指」と呼んでいました。大相撲でモンゴル出身の力士が優勝した時、薬指に水をつけて上向きに水をはじき飛ばしている場面がありましたが、日本とモンゴルの関係は蒙古斑だけではないようです。

ウ露戦争が始まって民族間の争いが急に激しくなっていますが、それを論じる前にビジネスで体験した異文化について語りしたいと思います。東南アジアで体験した事例です。日本人はできるだけ問題を大きくしないた

め、解決する前に「問題ない」と発言することがあります。東南アジアでも現地人が「問題ない」を頻繁に使うようになった時、日本人の間で流行った解釈がありました。現地人が「問題ない」と言ったら次のように解釈することになりました。

問題ない その①

問題あるがそのうちに解決する。

問題ない その②

問題あるが大したことはない。

問題ない その③

問題あるが何とかなる。

以上の事例は現地で本当に体験したことで記憶が確かではありません。さて、この事例はその②にしましょう。

2千年前に帰ろう

世界は決して良くなる方向に進歩していません。原爆、ミサイル等の化学兵器は人類を滅ぼす方向に向かっているが、平和に貢献することはない。ますます破壊に貢献しています。

私は長年徐福伝説を研究してきましたが、中国の史記によると清時代の始皇帝は暴君であったが、2千年前に五穀及び1500人の童男、童女等を船に積んで平和の国を求めて東渡させた、と記録されている。東渡した目的地は現在の日本で、その証拠に九州、和歌山、八丈島等日本の24カ所に徐福東渡伝説が語り継がれています。

千年前の日本については万葉集『指折り数えて秋の七草』を読むと、

平和であったことが良く分かります。電気、ガスもありませんでしたがこの時代に戻すことを全世界を対象に国連で討議することも有意義です。大阪公立大学内でも討議することをお勧めします。

人類学部の創設を切念

大阪公立大学が歴史的な船出をしたこと、大変うれしく思います。発足にあたって世界遺産「仁徳天皇陵」を始め、「キトラ古墳」を抱える大阪公立大学に研究部門の設置を提案しましたが、人類学部が創設されることを切念しています。私は縁あって日本人類学会に入会しました。「縁あって」と言うのは日本人類学会の発起の一人の鳥居龍蔵は私の先祖になります。独学が認められて東大標本整理係から初めて東大教授、中国燕京大学（米国ハーバード大学北京大学前進）で教鞭を取ったほか、フランスソルボンヌ大学から叙勲される等国際的に活躍しました。出身地徳島市の名誉市民です。

鳥居貞義(商昭34卒)



未来を拓く創造力

SANTECH
Since 1913

主要生産品目

- ・世界中の自動車に使われる**鍛造部品**
- ・水素ステーション用**高圧水素タンク**

サムテック株式会社 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-18 TEL:072-977-8851(代) http://www.samtech.co.jp

森下会計事務所

所長 税理士 **森下 豊**
(商学部 昭和 47 年卒)

事務所 _____
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目12番8号
新大阪ローズビル 303
TEL. 06-6308-2802 FAX. 06-6308-2151
E-mail : morisita@apricot.ocn.jp

読者の作品

作者:中島裕司(ナカジマヒロシ)法昭55卒
日本美術家連盟会員・博士(絵画)

タイトル:『道』

油彩画

サイズ:F100号(1303mm×1621mm)

人間は、生まれてから死ぬまで、道を歩む。他の生物と違って、人間は何らかの意識をもって歩む。まっすぐ順調な人生行路もあるだろうが、ほとんどの場合は人生途中で迷ったり、挫折しながら前を向いて歩むだろう。わが母校に寄贈したこの『道』という作品は、自分が目指した未来の道である。長い人生、不安を抱えながらも最終的には幸せな人生であって欲しい、との思いを込めて制作した。道の真ん中に描いた木は、構図的には無くていいが、やはり人生はスムーズにはいかない、というメッセージでもある。



作者:福田新之助(耕治)創平25修

作品名:『ヤンマ』

2022年7月個展ギャラリー白・案内状写真

作品サイズ:1167cm×910cm(F50号)

素材:キャンバスにアクリル

制作年:2021年

80年代から現代美術のジャンルで制作を発表しています。近年平面作品が多いですが、立体を含めたインスタレーションも多数発表しています。コロナ渦で閉塞した世の中に、「勝ち虫で未来へ」との想いでこの作品を描きました。※徳島県立近代美術館、兵庫県立美術館などに作品が収蔵されている。

同窓生の図書紹介

ドーバー海峡トンネルを掘れ

仲元俊二(ペンネーム=仲俊二郎・経昭40卒)

1980年代は昭和最後の時代にあたる。日本はジャパン・アズ・ナンバーワンと称賛され経済力・技術力の絶頂期にあった。本書はその頃の熱きビジネスマンたちの物語だ。

ドーバー海峡トンネル建設は20世紀最後のビッグプロジェクトと言われた。それを実現させたのは日本の金融機関の進取の気性と、メーカーの技術であろう。筆者は川崎重工の営業のプロジェクトマネージャーとして激しい受注競争を制し、その後の工事遂行を成功させた。本書はその経験を基にノンフィクション風の小説として書き下ろしたものである。

川崎重工のドーバートンネル工事はNHKテレビのプロジェクトXで二度放映された。どちらもいかに技術的な困難に立ち向かい、工事を完成させたか、その奮闘する姿を感動的に描いている。しかし受注活動についての言及はない。筆者はその両方を包括した物語を著したいと考えた。

(エコハ出版、2022年10月、2200円+税)

筆者記



ぼくは、切り株げんた

土江松美(理院平17卒)

『げんた』は、震災後のJR六甲道駅北側に沿って、無造作に間隔をあけて植えられた苗木の1本でした。たまたま駅の西に育った3本は、今も元気に木陰を提供している一方、真ん中から東側に植えられた木々は皆命を落としました。月日が流れて人の流れに邪魔との判断か、駅入り口近くに育った木は根こそぎ取り除かれました。私は、その東側で切り倒され切り株になった『げんた』に心打たれ、当時写したiPhoneの写真をもとにこの絵本を作りました。みけみわ子さんがやさしい絵を描いてくださいました。

この絵本の中で、「今」を受け入れ、また前を向いて生きようとした『げんた』の姿から、読者の方が、ひとが「共生」して生きる意味、そしてやさしい心と勇気を感じてもらえたら幸いです。

(文芸社、2022年10月、1200円+税)

著者記



日本人が学んだ中国語と旧満洲 1906-1945年

川村邦夫(経済学研究科客員研究員)

本書は、日中近現代史を新発掘の資料を基に論じたものである。20世紀初頭、中国東北部を占拠したロシアに対して、日本は国家存亡の危機を感じ、日露戦争が勃発した。南満洲からロシアを撤退させることだけを考慮しており、戦勝の結果に得た南満洲鉄道は、当初、日本の重荷であり30年間無為無策、満鉄の運行だけを行っていた。多民族から成る中国東北部で、遅れて来たマイノリティーである日本人とその学童にとっては、中国語の修得は必須であった。

1930年代初頭以降、世界はブロック経済圏形成に動いており、孫文の影響を受けた汪兆銘、駐奉天総領事吉田茂の影響を受けた関東軍は、日満ブロック経済圏を形成した。在満日本人中等学校生は「孫文の『大亜州主義』」を原文で学び、また、1946年の『対日賠償調査報告書』には満洲の重工業が世界に類を見ない高度であった事が記されている。これは、日本人には中国語を、満洲人には日本語を、というバイリンガル教育の成果であった。

(丸善出版、2022年7月、2200円+税)

筆者記



SDGsとCSRがひらく未来

足立辰雄(商昭51卒)

本書は8人の執筆者からなる共同研究の成果です。地球温暖化などのグローバルな危機が「持続不可能な資本」の利己的な経営行動にあることを見極め、持続可能な社会への移行には石田梅岩の心学(日本的商人道の真髄)を現代的に再評価・導入し、CSRなど西欧型のモラルあるビジネスの仕組みと融合させて合理的な運用を提唱しています。その際、企業価値を自然価値、社会価値、経済価値の3つの側面から説明しそれぞれの価値の関係性を論じて「持続可能な資本」を定義づけています。

国連のSDGsを企業が有効に実践するためには、社会貢献型の経営理念の再構築やCSRの推進体制などマイクロ(個別企業レベル)の改革と「社会的責任推進法」の制定などマクロ(制度的基礎)の改革をも併せて提唱しています。オーガニックコットンで作られたタオル・メーカーや地域の職人との技術提携や町おこしに貢献した靴メーカーの成功事例も交えて「持続可能な資本」とは何かをわかりやすく考えることができます。

(晁洋書房、2021年5月、2400円+税)

共編著者記





思いつくまま、歴史の旅 —王寺まち歩き100話

岡島永昌(文平11修)

私は奈良県の王寺町役場で文化財を担当しています。王寺町の月刊広報誌『王伸』で平成25(2013)年6月号から続けてきた連載が100回を超えたことを記念して、それまでの記事をまとめ直して執筆しました。100の話題を達磨寺、鉄道、聖徳太子、明神山、大和川、信仰など王寺町の歴史文化を知るのに最適なテーマごとに並べています。



基本的に1話につき見開きの2ページで構成し、詳しく説明しながらも読みやすさを意識し、歴史の知識がない人や小中学生でも興味を持ってもらえるようにと歴史用語にルビをふり、ワンポイントの解説文も付けました。王寺町に住む人も王寺町を観光する人も、王寺町をまったく知らない人にも手に携えていただきたい1冊に仕上がりました。

(なら文化交流機構、2022年11月、1200円+税)

筆者記

文明と野蛮が交錯するとき

青木育志(法昭46卒)

本書はユーラシア大陸文明(ヨーロッパ文明、中東文明、インド文明、中国文明を含む)と日本文明を比較する文明論の続編であります。この前者は「敵対型文明」であり、後者は「温和型文明」であります。



「温和型文明」の日本では、軍事アレルギーが強く、戦略的に考えることが日常化していません。外交的には、敵対型国家が多用する軍事力を背景とした外交を駆使できないのです。このために国際場裡では、常に損をしています。

他方「敵対型文明」ではイギリス、アメリカを中心とする「民主政治志向型」と、ロシア、中国を中心とする「独裁政治志向型」の二つがあります。今まで前者が主導して「文明」を進展させて来ましたが、ここにきて後者が台頭し「野蛮」な面が剥き出しになってきました。本書ではこういうことの原因を考えています。

(アジア・ユーラシア総合研究所、2022年11月、1800円+税)

筆者記

オメガをみつめて—死と死後の生を考える

大内 一(工昭49修)

著者は大阪市立大学大学院工学研究科修了後、大林組に入社。2006年から大阪市大・大学院教授を務めた。

本書第1章の「地球と生命」では地球上の生命である生物の死に方と死の意味に着目、2章「死後の世界に関する研究」では臨死体験者が語る体験内容や、研究者が語る臨死体験の意味、「死」に対する考え方が着目点となっている。



3章「先人たちの死観」では経典や聖典に語られる死者の葬り方や『死』に対する教えを述べ、4章「仏教とキリスト教にみる死観」は仏教経典と聖書に語られる死観を訪ねている。聖書では永遠の命と神の国をどのように語っているのか、最後には歎異抄も取り上げて聖書と並べるようにして浄土真宗の教えとキリスト教の教えに耳を傾ける。終章では何を学んだか、学んでみたどうだったのかを記した。

(シャローム、2022年11月、1800円+税)

著者記

異和共生のまちづくり

筋原章博(商昭60卒)

著者は大阪市役所に長らく勤務し、2010年大阪市大正区の区長に就任した。大正区は人口の4分の1を沖縄出身者が占めており、沖縄に親しみを持つ市長にとって、大正区は理想の地のはずだった。しかし実際には、残り4分の3を占める大阪文化と激しくぶつかる状況に直面する。



当時、人口流出や高齢化で「大正区は都心の限界集落」とまで言われていた。沖縄の文化をPRしたいのに、大っぴらに魅力を発信できないジレンマが続く。そうした中、「無理に心の壁は崩さずとも、お互いに異なったままで、和やかに、共に生きる」つまり「異和共生」を唱える先人に出会う。

大阪、沖縄文化の双方の面白いところを取り出して各種イベントを開催すると、大正区の空気が変わり、人口も流入増へと転換した。本書は町の衰退を止めるにはどのような手順でどう対応すべきかを、これまでの経験をベースに明らかにする。

(セルバ出版、2017年10月、1600円+税)

世瀬義久(経昭53卒)

追悼のことば

石黒・前北海道支部長を悼む

矢橋潤一郎(経平6卒)

石黒直文北海道支部長が8月14日、逝去されました。91歳でした。

北海道拓殖銀行で代表取締役専務。退任後は酪農学園大学で教授のほか、NPO法人を立ち上げ、ロータリークラブでは奉仕活動も。著書も多数。男声



合唱団長として市大グリーンで鍛えた美声を披露。若手音楽家育成にも尽力され、演奏が終わるや「ブラボー！」と真っ先に立ち上がるのは札幌名物でした。偲ぶ会では北海道知事が弔辞を。傍らでは4月に出演したBS朝日が映し出されました。晩年まで道内経済界のご意見番で「金貸しが言うのも何だが」との前置きから石黒節を展開、財界お偉方が聞き入っていたものです。

故磯村隆文先生と同級生で、大阪市長在任中に札幌へ来られた際、お迎えするよう指示されたことも。文理問わず道内同窓生で集まろうと発案、30年以上前には全学同窓会の形にされました。20年間、幹事長として支えましたが相談後、締め口癖「頼んだよ」が聞けなくなるのも寂しいです。

合掌

偉大な末弟「建部和弘」を偲んで!

建部好治(経昭28卒)



末弟「建部和弘」は、大阪市大の経済学研究科(指導者は故名和統一教授)を経て、岡山大学経済学部の教授(定年後は名誉教授)をしていた。

各自己の専門分野以外の諸問題については視野が狭い学者が多い

中で、とにかく自分の専門分野(日・米等の国際金融政策)を越え、弁証法をわきまえて視野が広い上に深く知悉していたことが驚異であった。

実務(信託銀行業務)に携わる小生は、学問研究につき、市大の経済学部を卒業後は月に1度の「川合研究会」を細々と続けていたが、還暦から甲南大学の非常勤講師を始めたときに、学会や著書・論文等を書くルールについて末弟(男兄弟4人ーただし長兄は既に他界ーの一番下で二番目の小生とは一番うまがっていた)がいたお陰で、詳しく教えて貰うことができていた。

小生がそのルールに従って書いた著書・論文等については、そのたび毎に忙しい時間をさいて全部に眼を通したうえ、それぞれのものに適切なコメントを頂いていた。それ故それらのコメントにより一部を手直し(加筆と削除)してよりよい著書・論文等に仕上げるのができていたことも何度かあつた。

そのような次第であるから、末弟が83歳(小生は91歳)で彼岸に行ってしまったことによる喪失感については、非常に大きいものがある。

自然に帰り、安らかに休んでほしい 合掌!

小生も次記等のように、負けずに頑張っている。

1953年卒には、法学部卒「開高健」(芥川賞受賞者)や商学部卒「高原慶一郎」(元ユニチャーム社長:母校への莫大な寄付者)がいる。経済学部卒の小生は、たとえば高原氏と比べて少額な寄付ではあるが、「文化交流センター」の書棚と、そこへの図書購入財源の寄付等をしている。そして(市)公立大大学院経済学研究科で創科以来、全国でも珍しくしかも重要な「不動産経済論」を自己の著書と論文により教え続けている。その他学界活動の傍らで、卒業2~3年後から始めた「川合(一郎)研究会」を主催して今日に至っている。(令和4年10月11日ご逝去)





謹んでご冥福をお祈りいたします(敬称略)

物故者氏名	学部卒年	逝去月日	物故者氏名	学部卒年	逝去月日
伊藤 光野	西華昭21	令和04年02月07日	渡邊 康郎	商昭35	平成24年
政友 弘	学昭22	令和04年10月09日	秋山 守	商昭35	平成26年
田中 勝子	女専昭24	平成28年10月	齊藤 節生	商昭35	令和04年05月22日
松村 與一	高昭25	令和04年09月18日	前田 佳稔夫	商昭35	令和04年08月04日
岡崎 良治	学昭26	令和04年04月25日	藤井 義昭	商昭35	令和04年09月07日
小谷 博之	商昭28	令和04年03月28日	松尾 末万	商昭35	令和04年11月16日
久我 一郎	経昭28	令和04年08月04日	秋田 育宏	商昭35	
今村 直昌	経昭29	令和03年12月	北河 泰	文昭36	令和04年11月09日
金岡 徹	経昭29	令和04年10月12日	平山 昇	商昭36	
前島 吉郎	経昭29	令和04年12月31日	木村 秀雄	文昭36	
松本 英男	商昭30	令和04年05月10日	建部 和弘	経修昭40	令和04年10月11日
岡田 喜三郎	経昭30	令和04年08月30日	石原 浩司	商昭40	
山田 定信	商昭31	令和04年12月	別府 三郎	法修昭41	令和02年05月03日
太田 勇	経昭31	令和04年07月05日	松岡 芳昭	商昭43	令和04年12月12日
山口 善吉	経昭31	令和04年07月12日	山田 稔	法昭43	令和04年06月27日
加藤 芳英	経昭31	令和04年09月12日	川上 満男	法昭43	令和04年11月18日
山根 義夫	経昭32	令和05年01月02日	小市 敏文	法昭43	
山下 ふさ子	生昭32		厚見 健司	商昭45	令和04年09月17日
石田 和之	法昭33	令和04年07月	湯口 靖孝	経昭45	令和04年10月04日
西坂 友宏	商昭34	令和04年08月15日	簡野 早苗	理修昭45	令和04年03月23日
高田 直彦	経昭34	令和04年07月25日	老田 誠克	法昭49	令和02年12月
野口 昌三	文昭34	令和04年03月07日	正殿 博章	法昭50	令和04年09月04日
藤田 一郎	理昭34	令和03年03月04日	安 一鎬	法昭55	令和4年
碓井 正一郎	商昭35	平成23年	岡野 浩	経修昭60	令和04年07月13日
木村 正治	商昭35	平成23年	院内 健一	文平03	



これからの行事予定

- 海外支部ブロック会議【Zoon会議】
令和5年5月13日(土) 10:30～
- ホームカミングデー
令和5年11月4日(土) 詳細未定
於:中百舌鳥・杉本キャンパス
※5月のポート祭は中止

各同窓会総会

- 大阪公立大学校友会総会
令和5年6月10日(土) 詳細未定 於:中百舌鳥キャンパス
- 大阪市立大学同窓会総会
令和5年5月27日(土) 11:00～ 於:学情センター10階
- 有恒会総会
令和5年5月27日(土) 14:00～ 於:学情センター10階
- 理学部同窓会
令和5年11月4日(土) 詳細未定 於:杉本キャンパス
- 医学部医学科同窓会・仁滯会総会
令和5年6月17日(土) 15:00～ 於:阿倍野キャンパス
- 生活科学部同窓会・講演会
令和5年11月4日(土) 詳細未定 於:杉本キャンパス
- 看護系同窓会よつば会総会
令和5年11月 詳細未定 於:阿倍野キャンパス
- 経友会総会
令和5年5月27日(土) 13:00～ 於:学情センター 1階

●令和5年度 有恒会総会案内
有恒会は5月27日(土) 14時から、杉本キャンパス・学術情報総合センター10階・大会議室で令和5年度定期総会を開催します。議事としては令和4年度活動・決算報告及び令和5年度事業・予算計画の承認などを予定しております。また議案審議の前に講演会を開催、講師は大澤研一・大阪歴史博物館館長にお願いしております。

進取と共創。ガスで未来を拓く。
The Gas Professionals



大陽日酸

日本酸素ホールディングスグループ

大陽日酸株式会社

東京都品川区小山 1-3-26 www.tn-sanso.co.jp

Straight to the Future



角島大橋(山口県)



オリエンタル白石株式会社 www.orsc.co.jp

〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番52号
TEL:03-6220-0630(代表) FAX:03-6220-0634

掲載広告一覧

(株)阪急交通社 表2
 (株)アシックス 表2
 (株)京都銀行 P20
 大小路法律事務所 P27
 山口法律会計事務所 P32
 (株)杉村倉庫 P32
 一般社団法人大阪女子大学同窓会斐文会結婚相談室
 P36
 ツカキグループ P38
 三重交通グループホールディングス(株) P39
 協和綜合法律事務所 P44
 すばるスチール(株) P44
 医療法人 福寿会 P45
 荒鹿法律事務所 P49
 サンクリエイテム工業(株) P54
 ニシムラ(株) P55
 澄住サポート(株) P55
 サムテック(株) P56
 森下会計事務所 P56
 太陽日酸(株) P62
 オリエンタル白石(株) P62
 東亜建設工業(株) P63
 (株)iTest P64

(株)日本プリンティング P64
 (株)Cominix 表3
 小野薬品工業(株) 表3
 阪和興業(株) 表4

会報広告料金表 (消費税込み)

全ページ W181×H260(単位:mm)	
記事中(カラー)	180,000円
表4(カラー)	230,000円
表2(カラー)	220,000円
表3(カラー)	200,000円
半ページ W181×H130(単位:mm)	
記事中(カラー)	90,000円
1/4ページ W181×H68・W86×H130(単位:mm)	
記事中(カラー)	50,000円
1/8ページ W86×H68(単位:mm)	
記事中(カラー)	25,000円

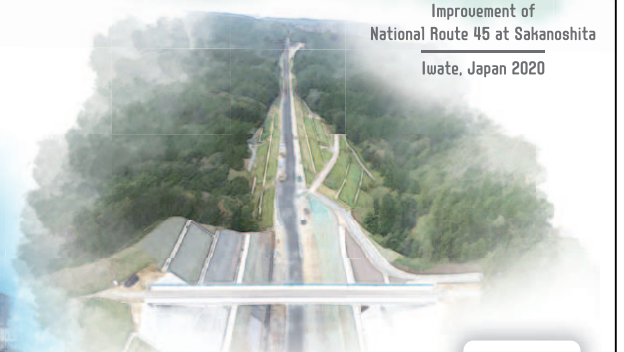
※本件についてのお問い合わせ
 大阪市立大学同窓会 会報誌編集委員会 広告担当:吉原(商昭49卒)
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 Tel:06-6605-2113 Fax:06-6605-2088

私たちの今が、社会の未来を創る
 Create Value, Build the Future

社会情勢の変化に対応する「しなやかさ」、激しい時代の潮流を掴む「俊敏さ」
 志を持って自身の成長を求める「自分らしさ」、地に足をつけて着実に前進する「一歩先へ」
 これらは私たちが実践する行動スローガンです。
 私たちは今、この時の行動ひとつひとつを大切に、
 これからの社会に新たな価値を創造し、ステークホルダーのみならずともに
 未来の社会に貢献し続けることを約束します。



Toyo Suisan Ishikari
 Distribution Center
 Hokkaido, Japan 2020



Improvement of
 National Route 45 at Sakanoshita
 Iwate, Japan 2020



代表取締役 社長
早川 毅 1989年(平成元年)
 大阪市立大学 工学部卒

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

コーポレート
 メッセージを
 策定しました。



1. 投稿の種類等 原稿には、執筆者の氏名・学部・卒業年次、住所を明記して投稿をお願いします。

種類	説明やお願い等	字数
1 論壇・随想	「表題」は付けて下さい。(関連及び顔写真)	1,200字以内
2 同窓短信	近況や思い出など。(顔写真)	400字以内
3 支部だより	支部関係の活動や諸行事。(関連写真)	400字以内
4 会員の広場	同期会、ゼミ研究科OBOG会、クラブOBOG会、同好会等の諸行事。(関連写真)	400字以内
5 図書紹介	原則、会員および大学関係者に限りです。紹介する図書1部のご提供をお願いします。	400字以内
6 追悼のこぼ	故人の思い出など。(故人の顔写真)	400字以内
7 読者の声・作品	読者のご意見・読者の作品(絵画・写真・書・俳句・アート等)。(顔写真)	400字以内

※「図書紹介」を除き、原稿には原則として写真の添付をお願いします。

2. 原稿と写真等の採否および加筆・修正・削除など

- (1)原稿および写真等は、編集委員会に一任をお願いします。
- (2)原稿の字数は厳守をお願いします。オーバーした場合は、削除する場合があります。
なお、支部だより、会員のひろばへの投稿はHPにて全文掲載します。

3. 原稿の作成、提供と掲載について

- (1)原稿及び写真は出来る限りメールにてお願いします。
写真ファイル(.jpg)をメール添付にて送信してください。
- (2)個人情報保護のため、詳細な住所は同窓会報誌に掲載しません。
- (3)参加者(「支部だより」と「会員の広場」)の「氏名・学部・卒業年次」はスペースの関係で同窓会報誌には代表者のみ掲載し、全員の情報はHPにて掲載します。

4.原稿の締め切り

- (1)4月発行・・・1月末日締め切り
- (2)10月発行・・・7月末日締め切り

5.投稿方法と投稿先

- (1)メールアドレス
Kaiho-b@osaka-cu.net (会報誌専用)
- (2)郵便
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪公立大学内 田中記念館3階
大阪市立大学同窓会 会報誌編集委員会宛


編集委員 (太字編集責任者)				
奥山正昭 (経昭44卒)	山本 孝 (工昭45卒)	藤山純一 (法昭51卒)	栗原政二 (府経昭52卒)	中村祐子 (文平27卒)
小林俊介 (法昭44卒)	野田忠男 (工昭45卒)	亀梨祐司 (商昭52卒)	村上芳子 (商昭58卒)	安藤根八 (創院平30修)
田中祐尾 (医昭44卒)	吉原純一 (商昭49卒)	上村修三 (商昭53卒)	長瀬りか (生平1卒)	
曾我部健 (理昭45卒)	竹中敏実 (経昭49卒)	世瀬義久 (経昭53卒)	辻野美由紀 (看院平22修)	

編集後記

新大学発足2年目を迎え、大阪公立大学のブランドも定着しつつあり、同窓会としても大学への協力や在学生へのサポートを進め、同窓生への更なる情報発信に努めていきます。コロナへの対応も変化する中、各支部総会や同窓生の集まりも増えてきています。今号では各同窓会

復活の年として総会記事や、各方面で活躍されている方々を特集しています。皆様の周りの方でユニークな方やご意見等ございましたら、ぜひとも投稿いただきたくよろしく願います。なお、投稿アドレスが上記のように変更されていますので、ご確認願います。(編集人)

発行：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3-138 大阪公立大学内 大阪公立大学有恒会 電話 06 (6605) 2087
制作・印刷：〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目13-17 株式会社 日本プリンティング



株式会社 iTest

検証技術を核とした研究開発型企业


2023年1月23日に設立20周年、ステークホルダーに感謝！！

改正電帳法・インボイス対応の文書管理システムソフト
Secure文探/Light 世界に羽ばたけ！！

国税庁推奨商品 "JIIMA (ジーマ)" 2022年認証取得

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目8番3号 新大阪サンアールビル北館605号
株式会社 iTest 代表取締役社長 上島 健二
(創院平22修)

TEL : 06-6838-7127 URL : <https://www.itest.co.jp/>



美術印刷・企画デザイン・フォト **NP**

ご提案・創造 それが私共の商品です。
Presentation & Creation

株式会社 日本プリンティング

代表取締役 **大西基勝** (商昭52卒)

〒537-0002
大阪市東成区深江南2丁目13番17号
TEL (06) 6981-5566 FAX (06) 6981-5083
<http://www.nihonprinting.co.jp>

株式会社 Cominix

お客様の生産性向上に貢献する高度専門商社



証券コード：3173

株式会社 Cominix

代表取締役社長 柳川 重昌

工学部 応用物理学科 1969年(S.44)3月24日卒

届けたいのは、
夢、希望、
いつもの日々。



誰もが病と隣り合わせで生きている。
もしものときも、
変わらない日常がつづくように。
新薬で、すこやかな未来を届けたい。
独創的なアプローチで、
私たちは挑戦をつづけます。

Only Ono

小野にしかできない挑戦がある。

ONO 小野薬品工業株式会社



Run up to HANWA 2030 ～いまを超える未知への挑戦～

ハートを動かす、商社へ。

鉄鋼を中心に、金属原料、非鉄金属、食品、
エネルギー、生活資材、木材、機械など。
私たちは、世界中の「モノ」を動かしながら、
その先にある感動をうみだすことを心がけています。

 **HANWA**
阪和興業株式会社